

カ 航海速力ニテ一晝夜航行スル場合ニ於ケル燃料其ノ他ノ消費高

石炭

重油

内部油

外部油

汽罐補給清水

一七 設備

イ 無線電信機ノ方式及力量

ロ 白熱燈ノ數

ハ 探照燈ノ數

ニ 旅客室及豫備船員室

室數

床數

「ソーフア」數

旅客定員

ホ 公室

名稱

長サ

幅

容積

ヘ 病室

長サ

幅

幅

容積

床數

ト 浴室ノ數

チ 便所ノ數

リ 端艇ノ數及容積

發動機附救命艇

救命艇

普通機艇

普通端艇

傳馬

× 端艇鉤ノ組數

ル 救命具ノ數

救命筏

救命浮器

救命胴衣

ヲ 舷梯ノ數及幅

ロ 炊米具

種類及數

一回ニ炊キ得ル總量

一回ノ炊米ニ要スル時間

カ 冷藏庫ノ容積

ヨ 石炭庫ノ容積



- タ 燃料油庫ノ容量
- レ 二重底及水艙
- 名稱
- 容量
- 常用目的
- 必要ニ應ジ他ノ目的ニ供シ得キ装置ノ有無
- 一八 積載力
- イ 載貨容積
- ロ 載貨重量
- ハ 揚貨装置
- 揚貨機ノ種類、力量及數
- 動臂ノ長サ、力量及數
- ニ 上甲板暴露部
- 甲板ノ材料
- 艙口ノ數
- 甲板面積
- 搭載シ得ル特殊艇舟ノ數
- ホ 各甲板上船艙
- 舷窓ノ數
- 載貨門ノ數
- 通風管ノ數
- 排水孔ノ數

上甲板上船艙、第二甲板上船艙、第三甲板上船艙等ニ區別シ記載スベシ

- 甲板ノ材料
- 直上甲板ノ材料
- 甲板間ノ内高
- 上下艙口縁材間ノ内高
- 直上甲板ノ艙口ノ數並ニ其ノ長サ及幅
- 容積
- 甲板面積
- 出入口ノ數並ニ其ノ高サ及幅
- ハ 艙内
- 通風管ノ數
- 各艙内ノ直上甲板下最小内高
- 直上甲板ノ艙口ノ數並ニ其ノ長サ及幅
- 容積
- 底面積
- ト 艙梁上ニ假甲板ヲ張リ得ル場合ニ記載スベキ事項
- 艙梁上面及直上甲板梁下端間ノ高サ甲板面積
- 一九 船圖
- イ 船體一般配置圖

汽船新ニ製造セラレ又ハ日本船舶ト爲リタルトキニ限ル内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(一)艙裝(二)滿載吃水線ノ位置(三)各甲板及艙内ニ於ケル室、艙、庫等ノ配置(四)各甲板ニ於ケル諸設備ノ配置並ニ動臂ノ力量及最大使用範圍等ヲ記載シ作製スベシ



船舶容積圖

船舶部諸管配置圖

機關一般配置圖

電線裝置圖

通信裝置圖

通風裝置圖

乙 總噸數二十噸以上五百噸未満ノ汽船

一 船名

二 所有者及借受人ノ住所及氏名又ハ名稱

三 船籍港

四 船舶番號及信號符字

五 噸數

イ 總噸數

ロ 登簿噸數

六 速力

イ 最強速力

ロ 航海速力

七 資格

内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(一)各甲板及艙内ニ於ケル室、  
艙、庫等ノ容積及配置(二)空荷吃水及滿載吃水間ノ各吃水ニ  
於ケル載重量、排水重量、單位吃水差、浮沈重量及單位傾  
斜力率ヲ示ス尺度並ニ滿載吃水線標示等ヲ記載シ作製スベシ  
内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ水管、油管、汽管、氣管  
及附屬唧筒ノ配置等ヲ記載シ作製スベシ  
内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ機關室内諸機關及附屬諸  
管ノ配置等ヲ記載シ作製スベシ  
内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ發電機、電動機、配電盤、  
白熱電燈、電線等ノ裝置ヲ記載シ作製スベシ  
内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ傳令機、回轉通信機、回  
轉方向指示機、舵角指示機、傳聲管、電話等ノ裝置ヲ記載  
シ作製スベシ  
内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ電動及汽動通風裝置並ニ  
自然通風管ノ裝置ヲ記載シ作製スベシ

八 航路定限

九 製造ノ時及場所

イ 進水年月日

ロ 主汽罐製造年月日

ハ 主機製造年月日

ニ 製造所ノ名稱及所在地

船體

主汽罐

主機

一〇 最近定期検査終了年月日

一一 現有航行期間

一二 最近出渠又ハ下架シタル年月日

一三 使用航路

一四 用途

一五 船體

イ 材料

ロ 構造種類

ハ 尺度

ニ 吃水

ホ 甲板ノ層數

ヘ 支水隔壁ノ數

ト 橋ノ高さ

一六 機械



- イ 主汽機
  - 種類及數
  - 汽壓制限
- ロ 主機
  - 種類及數
  - 最強速力ニ於ケル馬力
- ハ 推進器
  - 材料
  - 種類
  - 數
- ニ 發電機
  - 電壓
  - 容量
  - 數
- ホ 操舵機ノ數
  - 手動
  - 汽動又ハ電動
- ヘ 航海速力ニテ一晝夜航行スル場合ニ於ケル燃料其ノ他ノ消費高
  - 石炭
  - 重油
  - 輕油
  - 汽機補給清水
- 一七 設備

- イ 無線電信機ノ方式及力量
- ロ 旅客定員
- ハ 端艇ノ數及容積
  - 救命艇
  - 普通端艇
  - 傳馬
- ニ 石炭庫ノ容量
- ホ 燃料油庫ノ容量
- ヘ 清水貯量
  - 飲用水
  - 汽機補給清水
- 一八 積載力
  - イ 載貨容積
  - ロ 載貨重量
  - ハ 揚貨裝置
    - 揚貨機ノ種類、力量及數
    - 動臂ノ長サ、力量及數
  - ニ 船艙容積
  - 一九 船體一般配置圖

總噸數百噸以上ノ汽船新ニ製造セラレタルトキ又ハ日本船  
 舶ト爲リタルトキニ限リ内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ  
 (一) 構造 (二) 滿載吃水線ノ位置 (三) 各甲板及艙内ニ於ケル室、艙、  
 庫等ノ配置 (四) 各甲板ニ於ケル諸設備ノ配置並ニ動臂ノ力量  
 及最大使用範圍等ヲ記載シ作製スベシ  
 總噸數二十噸以上ノ汽船ニ付甲及乙ニ掲グル事項ニ著シキ  
 變更ヲ生ジタルトキ及沈没、解撤又ハ國籍喪失シタルトキ  
 ニ限ル



<p>一 船名及船舶番號</p> <p>二 異動ノ事實</p> <p>三 異動發生ノ時期</p> <p>四 船圖</p>	<p>丁 總噸數二十噸以上ノ汽船乗組員</p> <p>一 職務別數</p> <p>二 兵役關係者數</p>	<p>總噸數百噸以上ノ汽船（總噸數五百噸未滿ノ汽船ニシテ本令施行前ニ製造セラレ又ハ日本船舶ト爲リタルモノヲ除ク）ニ付甲及乙ニ掲ケル船舶ニ記載スル事項ニ著シキ變更ヲ生ジタルトキニ限リ變更ノ狀況ヲ知ルニ必要ナル事項ヲ記載シタル船舶ト爲リタルモノニ付電線裝置圖、通信裝置圖又ハ通風裝置圖ニ記載スル事項ニ著シキ變更ヲ生ジタルトキハ此ノ限ニ在ラズ</p> <p>平水航路ヲ航路定限トスル汽船ノ乗組員ヲ除キ記載スベシ甲板部、機關部及事務部ニ區別シ更ニ職務ニ依リ細別シテ記載スベシ</p> <p>内務省調査報告事項中警察職員兵役關係者ノ例ニ依リ職務ニ依リ區別シテ記載スベシ</p>	<p>一月末</p> <p>四月末</p> <p>七月末</p> <p>十月末</p>
<p>運航狀況</p> <p>甲 總噸數千噸以上ノ汽船ノ配船狀況</p> <p>一 船名及總噸數</p> <p>二 所有者及借受人又ハ期間傭船者ノ住所及氏名又ハ名稱</p> <p>三 其ノ月一日正午ニ於ケル位置及狀態</p> <p>四 前三月間ニ於ケル運航狀況</p>	<p>港名、經緯度又ハ位置ヲ推定シ得ベキ其ノ他ノ事項及航行、碇泊、繫船、入渠等ノ狀態ヲ記載スベシ</p> <p>前月末ヨリ起算シ前三月間ノ航路ヲ列明セシムベキ航路（起點地、終點地及主要寄港地名並ニ其ノ入港及出港ノ月日）及繫船、入渠等運航障害ノ有無及其ノ期間ニ付記載スベシ</p>	<p>一月末</p> <p>四月末</p> <p>七月末</p> <p>十月末</p>	

第一三八號 (一一三)

<p>乙 内閣總理大臣ノ指定スル汽船ノ運航見込</p> <p>一 船名及總噸數</p> <p>二 所有者及借受人又ハ期間傭船者ノ住所及氏名又ハ名稱</p> <p>三 翌月一日ニ於ケル見込位置及狀態</p> <p>四 翌月中ノ運航及運航障害ノ見込</p>	<p>甲第三號ニ準シ記載スベシ</p> <p>豫定航路（起點地、終點地及主要寄港地名）及其ノ順路並ニ繫船、入渠等運航障害ノ見込アルモノハ其ノ事項及見込期間ヲ記載スベシ</p> <p>總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ使用スルモノニ限り記載スベシ</p>	<p>十月末</p> <p>十二月末</p> <p>日 各月末</p>
<p>造船所（軍用ノモノヲ除ク）</p> <p>一 名稱及所在ノ場所</p> <p>二 工場主ノ住所及氏名又ハ名稱</p> <p>三 船舶ノ製造及修理設備</p> <p>イ 船渠</p> <p>開渠年月日</p> <p>船渠ノ種類及構造</p> <p>船渠ノ長さ、幅及深サ</p> <p>附屬唧筒ノ種類及能力</p> <p>入渠シ得ル船舶ノ最大ノ長さ、幅及吃水</p> <p>船臺</p> <p>竣工年月日</p>	<p>總噸數百噸以上ノ汽船ノ製造、入渠又ハ上架設備ヲ有スルモノニ付記載スベシ</p>	<p>十二月末</p> <p>翌年五月十五日</p>



航路標識	電氣供給事業(軍用ノモノヲ除ク)	水先免狀受有者水先區別數	燈臺、船舶通航信號、潮流信號、立標、浮標等ニ付名稱、位置其ノ他ノ重要ナル事項ヲ記載スベシ	五月末日	五月末十月末日
發電所及變電所名稱	發電所及變電所名稱簿				
一名稱	一名稱				
所在ノ場所	所在ノ場所				
事業者ノ氏名又ハ名稱	事業者ノ氏名又ハ名稱				
出力	出力				
主要ナル設備及機械	主要ナル設備及機械				
送電線路圖	送電線路圖				
<p>内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(一)發電所(名稱及出力ヲ附記スベシ)(二)變電所(名稱及出力ヲ附記スベシ)(三)閉閉所(四)送電線(最大電壓二萬ボルト以上ノ送電線ニ付回線數、最大電壓及周波數ヲ附記スベシ)ヲ記載シ事業者ノ氏名又ハ名稱ヲ附記シテ作製スベシ</p> <p>ハ名稱ヲ附記シテ作製スベシ</p> <p>第二回以後ノ報告ハ異動報告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ妨グズ</p> <p>逓信局管轄區域別ニ記載スベシ</p>					

發電所ニ於ケル燃料種類別年使用額	從業者	回線圖	回線能力(内閣總理大臣ノ指定スルモノ)	回線名	一 回線名	二 接續局所名	三 通信方式	四 負擔標準通數	五 一日ノ平均取扱通數	六 一日ノ平均回線餘力通數	七 一日最大及最小取扱通數	豫備機材在庫數
	一 職員職務別數 二 職工數 三 兵役關係者數											
	事業者別ニ記載スベシ 發電所、變電所、閉閉所及送電線ノ現業ニ従事スル者ニ限リ記載スベシ											
	職務別ハ事務職員及技術職員ニ區別スベシ 事務ト技術トヲ兼務スル者ニ付テハ其ノ主タル職務ニ依リ何レカ一方ノミニ記載スベシ											
	内務省調査報告事項中警察職員兵役關係者ノ例ニ依リ事務職員、技術職員及職工ニ區別シテ記載スベシ											
	内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(一)局所(二)回線(三)主要通信機器ヲ記載シ作製スベシ											
	第二回以後ノ報告ハ異動報告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ妨グズ											
	十二月翌年十月末日											
	十二月翌年十月末日											
	五月末日											
	五月末十月末日											
	三月末六月末日											
	三月末七月末日											
	三月末六月末日											
	三月末六月末日											



無線電信電話 (軍用ノモノヲ除ク)	有技者		電信ノ現業ニ従事スル者ニ限り遞信局別ニ記載スベシ 通信及検査ニ従事スル者並ニ其ノ他ニ區別シテ記載スベシ 内務省調査報告事項中警察職員兵役關係者ノ例ニ依リ職務ニ依リ區別シテ記載スベシ
	一 職務別數	二 兵役關係者數	
局所	甲 陸上無線電信局所及陸上無線電話局所	乙 船舶無線電信局所及船舶無線電話局所	三月末 六月末
一	局所名又ハ施設者名	一〇 取扱業務	
二	裝置場所	一一 對手局名	
三	呼出符號又ハ呼出名稱	一二 所轄遞信局名	
四	裝置方式	一三 使用開始年月日	
五	空中線電力	一四 船舶無線電信局所及船舶無線電話局所	
六	使用周波數	一五 使用開始年月日	
イ	持續	一六 航空機無線電信局所及航空機無線電話局所	
ロ	可聴	一七 有技者(他ノ省所屬ノ者及私設ノ無線電信電話ニ従事スル者ヲ除ク)	
七	空中線ノ高さ及形狀		
八	有線聯絡設備		
九	其ノ他ノ設備		

無線電信電話 (軍用ノモノヲ除ク)	有技者		電信ノ現業ニ従事スル者ニ限り遞信局別ニ記載スベシ 通信及検査ニ従事スル者並ニ其ノ他ニ區別シテ記載スベシ 内務省調査報告事項中警察職員兵役關係者ノ例ニ依リ職務ニ依リ區別シテ記載スベシ
	一 職務別數	二 兵役關係者數	
局所	甲 陸上無線電信局所及陸上無線電話局所	乙 船舶無線電信局所及船舶無線電話局所	三月末 六月末
一	船舶名	一〇 取扱業務	
二	施設者名	一一 對手局名	
三	呼出符號又ハ呼出名稱	一二 所轄遞信局名	
四	裝置方式	一三 使用開始年月日	
五	空中線電力	一四 船舶無線電信局所及船舶無線電話局所	
六	使用周波數	一五 使用開始年月日	
イ	持續	一六 航空機無線電信局所及航空機無線電話局所	
ロ	可聴	一七 有技者(他ノ省所屬ノ者及私設ノ無線電信電話ニ従事スル者ヲ除ク)	
七	方位測定機		
八	自動緊急器		
九	補助裝置		
イ	裝置方式		
ロ	空中線電力		
ハ	電源設備		
一〇	所轄遞信局名及定繫港名		
一一	通達距離		
一二	就航方面		
一三	船舶總噸數		
一四	船舶ノ種類		
一五	使用開始年月日		



航空機名簿 (軍用ノモノヲ除ク)	航空機數		道府縣別ニ記載スベシ	種類、型式、發動機ノ型式及馬力並ニ用途ニ依リ區別シテ記載スベシ
	航空機名簿	航空機數		
一 所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	一 施設者名	二 有技者數	道府縣別ニ記載スベシ	種類、型式、發動機ノ型式及馬力並ニ用途ニ依リ區別シテ記載スベシ
二 堪航證明書番號	二 機器裝置場所	二 兵役關係者數		
三 國籍及登録番號	三 呼出符號	内務省調査報告事項中警察職員兵役關係者ノ例ニ依リ記載スベシ		
四 種類及型式	四 空中線電力			
五 發動機	五 使用周波數			
六 用途	六 放送區域			
七 積載量	七 放送區域内聴取者數			
八 有效期間			三月末	三月末
九 使用上ノ制限			五月末	五月末
豫備發動機所有者別、所在地別、型式別及馬力別數			各月	各月

七月末  
八月十  
九月末  
十月十  
十一月十五  
十二月末

一月末  
二月十  
三月末  
四月十  
五月末  
六月十

航空設備		第二回以後ノ報告ハ異動報告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ妨ケズ	陸上機用、水上機用又ハ水陸兩機用ノ別ヲ記載スベシ	構造、幅、入口ノ高さ及有效幅並ニ附屬設備ヲ記載スベシ	作業ノ種類及程度並ニ主要設備ヲ記載スベシ
一 飛行場	イ 名稱及所在ノ場所				
ロ 經營者ノ住所及氏名又ハ名稱	給水設備、給油設備、起重機、滑走臺等ノ設備ノ内容及能力ヲ記載スベシ				
ハ 設置ノ目的	内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(-)飛行場内ノ建築物(-)庫、棧橋、起重機等ノ水陸關係設備(=)飛行場ノ境界ノ外方五百米ノ區域内ニ於テ航空ノ障害ト爲ルベキモノヲ記載シ				
ニ 種類	内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(-)位置(=)用途(=)種類(能カヲ附記スベシ)ヲ記載シ作製スベシ				
ホ 設置ノ期間	内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(-)位置(=)用途(=)通信聯絡設備ヲ記載シ作製スベシ				
ヘ 恒風	内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(-)位置(=)用途(=)通信聯絡設備ヲ記載シ作製スベシ				
ト 格納庫	川、運河及港灣トノ聯絡ノ狀況(=)附近一帶ノ地勢ヲ記載シ				
チ 附屬工場					
リ 通信設備					
ヌ 観測設備					
ル 飛行場夜間著陸又ハ著水設備					
ヲ 其ノ他航空ニ關スル重要設備					
ロ 飛行場平面圖					
カ 飛行場夜間著陸又ハ著水設備圖					
ヨ 飛行場建物配置圖					
ヌ 飛行場附近一般圖					



二 不時著陸場 三 通信聯絡ノ狀況 四 航空氣象觀測系統ノ概要 五 航空路照明設備 六 航空路標示燈 七 飛行場位置標示燈 八 航空無線標識設備 九 航空地上標識 十 其ノ他ノ航空ニ關スル重要設備 十一 航空路圖	飛行場ニ準ジ記載スベシ 航空無線電信電話局所、航空機無線電信電話局所及有線電信電話局所間ノ聯絡ノ狀況ヲ記載スベシ 位置、種類及能力ヲ記載スベシ 右ニ同ジ 位置及種類ヲ記載スベシ 内閣總理大臣ノ指定スル所ニ依リ(-)飛行場(二)不時著陸場(三)航空無線電信電話局所(四)航空氣象觀測所(五)航空路照明設備(六)航空標識(七)主要航空路(八)航空禁示區域ヲ記載シ作製スベシ	航空機乘員種類別、性別及年齢別數 航空士ハ一等航空士及二等航空士ニ、操縦士ハ一等操縦士、二等操縦士及三等操縦士ニ區別シテ記載スベシ 航空士、一等操縦士及機關士ハ三十五歳未満及三十五歳以上三十五歳未満ニ、二等操縦士ハ性別ニ別ニ十九歳以上三十五歳未満及三十五歳以上ニ、三等操縦士ハ性別ニ區別シテ記載スベシ	十二月 日 十五年一
		五月一 日 五月末	
船員無 料職業 紹介所	紹介所名稱 一 名稱 二 所在ノ場所 三 經營者ノ氏名又ハ名稱 取扱成績 一 職務別各月末職者數 二 職務別各月求人數	職業紹介所別ニ記載スベシ	各月末 日 翌月

鐵道省 國有鐵道 一 内閣總理大臣ノ指定スル區間ノ線路容量 二 一列車最大連結實車數 三 一列車最大牽引換算車數 四 旅客列車 五 混合列車 六 貨物列車 七 最大列車回數 八 列車運行實數 九 旅客列車 十 混合列車 十一 貨物列車 十二 機關車牽引定數	其ノ省所屬ノ技能者養成機關 三 職務別各月就職者數 四 職務別各月就職未済數	文部省調査報告事項中技能者養成機關ノ例ニ依リ記載スベシ 第二回以後ノ報告ハ圖面、線路容量及機關車牽引定數ノ場合ニ於テハ異動報告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ妨グズ 上リ及下リニ區別シ十五噸積貨車ヲ標準トシテ算定スベシ 當該區間ニ於ケル線路、停車場設備等ノ狀態ニ基キ現行列車以外ニ増加シ得ベキ列車數ヲ急荷貨物列車速度又ハ混合列車速度ニヨリ設定シ之ニ現行列車數ヲ加算スベシ 當該線路上ヲ常時實際ニ運行スル定期及不定期列車數ノ合計ヲ記載スベシ 各線路區間毎ニ機關車型別及速度種類別ニ記載スベシ 速度ノ種類ハ急行旅客列車、旅客列車、混合列車及貨物列車ニ依リ區別スベシ 客貨車換算輛數ヲ附記スベシ 上リ下リ列車ニ依リ牽引定數ヲ異ニスル場合ニ於テハ其ノ區別ニ依リ記載スベシ	三月末 日 六月末
			十二月 日 翌年六
十一月 日 翌年十	三月末 日 十月末	十一月 日 翌年十	三月末 日 十月末











無料紹介 業(船業) 員(船業) 紹介所 (除ク)	紹介所名簿 一 名稱 二 所在ノ場所 三 經營者ノ氏名又ハ名稱 四 取扱種目 五 取扱數(求職、求人、紹介及就職數)	取扱成績 一 職業別及性別各月求職者數 二 職業別及性別各月求人數 三 職業別及性別各月紹介數 四 職業別及性別各月就職者數	道府縣別ニ記載スベシ	
			道府縣別ニ記載スベシ	十二月翌年十月末日
朝鮮總督府、臺灣總督府、關東軍司令部、南滿洲鐵道、及	內閣總理大臣ニ於テ別段ノ定ヲ爲スモノヲ除クノ外各省ニ付規定スル所ニ準シ調査報告スベシ		道府縣別ニ記載スベシ	十二月翌年十月末日

第二七九號

資源調査令別表ニ基ク指定

(昭和四年十一月二十日) 內閣告示 第五號

【沿革】 昭和五年三月告示第二號、同年十二月同第五號、同六年三月同第二號、同七年三月同第一號、同八年三月同第一號、同十年十一月同第六號、同十一年七月同第五號、同十二年二月同第六號、同十二年十二月同第七號、同十三年二月同第一號、同十五年三月同第一號、同年十月同第一號、同第一二號、同十六年一月同第一號

資源調査令別表ノ定ムル所ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

- 第一 港灣
  - 一 北海道
    - 稚内、遠別、苫前、留萌、石狩、小樽、岩内、函館、室蘭、釧路、厚岸、根室、網走
  - 二 本州
    - 青森、船川、土崎、酒田、新潟、伏木、七尾、敦賀、小濱、舞鶴、宮津、境、濱田、下關、宇部、三田尻、室積、廣島、竹原、糸崎、尾道、鞆、玉島、日比、宇野、牛窓、飾磨、明石、洲本、神戸、大阪、堺、和歌山、串本、鳥羽、四日市、名古屋、清水、二見、横濱、東京、小名濱、鹽竈、石巻、釜石、宮古、八戸
    - 三 四國
      - 高松、坂田、丸龜、多度津、詫間、川之江、新居濱、今治、三津濱、八幡濱、宇和島、須崎、高知、小松島
    - 四 九州及沖繩縣
      - 門司、小倉、若松、博多、唐津、伊萬里、郷ノ浦、勝本、嚴原、平戸、長崎、島原、三池、大牟田、三角、本渡、鹿兒島、名瀬、

五十五ノ三ノ四十七

(別記様式)

第 號 年 月 日 交付

資源調査證票

官 職 企畫院印 氏 名

資源調査法摘要

第二條 當該官吏又ハ吏員ハ人的及物的資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ必要ナル資源調査ノ爲ニ必要ナル場所ニ立入り、検査ヲ爲シ、調査資料ノ提供ヲ求メ又ハ關係者ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第六條 第二條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ職務執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ、調査資料ノ提供ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ調査資料ヲ提供シ又ハ質問ニ對シ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

日本標準規格第九十二號B列七番(91mm×128mm)中央線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス



古仁屋、平良、與那原、那覇、船浮、細島、白杵、佐賀關、大分、別府、中津、東吉富、荻田

五 朝鮮

鎮南浦、海州、仁川、群山、木浦、麗水、馬山、釜山、元山、城津、清津、羅津、雄基

六 臺灣

基隆、淡水、高雄、花蓮港

七 關東州

旅順、大連

八 樺太

真岡、本斗、大泊

第二 港灣全圖

圖例第一號ニ依リ一萬分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第三 繫船岸壁及其ノ隣接地域平面略圖、棧橋及其ノ隣接地域平面略圖、浮棧橋及其ノ隣接地域平面略圖並ニ物揚場及其ノ隣接地域平面略圖

圖例第二號ニ依リ作製スベシ

第四 繫船岸壁斷面略圖及棧橋斷面略圖

圖例第三號ニ依リ作製スベシ

第五 國道、府縣道及自動車専用道路圖

圖例第四號ニ依リ沿道ノ樞要地ノ名稱ヲ表示スル地圖上ニ記載作製スベシ

第六 上水道

小樽市、函館市、室蘭市、青森市、仙臺市、東京市及其ノ附近、横濱市及其ノ附近(川崎市ヲ含ム)、新潟市、名古屋市、京都市、大阪市及

其ノ附近(堺市ヲ含ム)、神戸市及其ノ附近(尼崎市及西宮市ヲ含ム)、廣島市、下關市、高知市、福岡市、若松市(福岡縣)、八幡市、大牟田市、小倉市、門司市、長崎市、鹿兒島市、京城府、仁川府、釜山府、大邱府、平壤府、鎮南浦府、元山府、新義州府、臺北市、基隆市、高雄市並ニ大連市ニ給水スルモノ

第七 上水道圖

圖例第五號ニ依リ市、區、町、村等ノ位置ヲ表示スル地圖上ニ記載作製スベシ

第八 警察官署配置圖

圖例第六號ニ依リ市、區、町、村等ノ位置ヲ表示スル地圖上ニ記載作製スベシ

第九 警察電話回線圖

圖例第七號ニ依リ作製スベシ

第十 消防

小樽市、函館市、室蘭市、青森市、仙臺市、東京市及其ノ附近、横濱市及其ノ附近(川崎市ヲ含ム)、横須賀市、新潟市、名古屋市、京都市、大阪市及其ノ附近(堺市ヲ含ム)、神戸市及其ノ附近(尼崎市及西宮市ヲ含ム)、廣島市、吳市、下關市、高知市、福岡市、若松市(福岡縣)、八幡市、大牟田市、小倉市、門司市、長崎市、佐世保市、鹿兒島市、京城府、仁川府、釜山府、大邱府、平壤府、鎮南浦府、元山府、新義州府、臺北市、基隆市、高雄市並ニ大連市ニ於ケルモノ

第十一 消防機關配置圖

圖例第八號ニ依リ市、區、町、村等ノ位置ヲ表示スル地圖上ニ記載作製スベシ

製スベシ

第十二 農産物

一 生産額ノ調査ヲ行フモノ

米、大麥、稗麥、小麥、燕麥、大豆、小豆、サツマイモ(甘藷)、ジャガイモ(馬鈴薯)、ラクカセイ(落花生)、ナタネ、タイマ(大麻)、ラミー(苧麻)、アマ(亞麻)、アマ種子、イチビ(黃麻)、コンニャク芋、ミワタ(實棉)

二 作付段別ノ調査ヲ行フモノ

米、大麥、稗麥、小麥、燕麥、大豆、小豆、タイマ(大麻)、ラミー(苧麻)、アマ(亞麻)、イチビ(黃麻)

第十三 家畜

牛、馬、豚、綿羊

第十四 畜産物

牛乳、煉乳、粉乳、鶏卵、鶯卵、生皮、獸鳥肉罐詰

第十五 用材

スギ、ヒノキ、マツ、カラマツ、サハラ、モミ、エゾマツ、トドマツ、カシ、ケヤキ、シホダ、ヤチダモ、ホウノキ、クルミ、サクラ、シラカバ、ナラ、ブナ、キリ

第十六 林野産物

フシ(五倍子)、マツヤニ、醋酸石灰、木炭

第十七 食用水産養殖物

コヒ、ウナギ、ボラ、マス

第十八 水産製造物

第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査

第十九 工場及鑛山ノ生産品

左ニ掲グル生産品ニシテ其ノ出來得ル限リ細別シタルモノ

- 一 紡織工業生産品
- 二 金屬工業生産品
- 三 機械工業生産品
- 四 窯業生産品
- 五 化學工業生産品
- 六 製材及木製品工業生産品
- 七 食料品工業生産品
- 八 前各號ニ掲ゲザル工業生産品
- 九 鑛産物
- 第二十 工場及鑛山ノ原料、材料及燃料
  - 一 工場ノ原料及材料
    - 棉花、羊毛、府毛、生絲、紡績絹絲、綿絲、毛絲、銑鐵、銅塊及銅錠、鋼材、銅塊及銅錠、銅材、鉛、アルミニウム、硫酸、硝酸、苛性曹達
  - 二 鑛山ノ材料
    - 火藥、爆藥、坑木
  - 三 工場及鑛山ノ燃料
    - 石炭、コークス、石油、瓦斯、薪、木炭
- 第二十一 工場平面圖



圖例第九號ニ依リ作製スベシ

第二十二 船體一般配置圖、船體容積圖、船體部諸管配置圖、機關一般配置圖、電線裝置圖、通信裝置圖及通風裝置圖

圖例第十號乃至第十六號ニ依リ機關一般配置圖ハ五十分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ其ノ他ハ二百分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第二十三 送電線路圖

圖例第十七號ニ依リ二十萬分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ市、町、村等ノ位置ヲ表示スル地圖上ニ記載作製スベシ

第二十四 有線電信電話回線圖

圖例第十八號及第十九號ニ依リ作製スベシ

第二十五 有線電信電話回線能力

左ノ區間ノ電信回線能力

- 一 東京千葉間、東京小笠原島間、東京横須賀間、東京新潟間、東京金澤間、東京敦賀間、東京舞鶴間、東京名古屋間、東京大阪間、東京神戸間、東京岡山間、東京廣島間、東京吳間、東京徳山間、東京下關間、東京門司間、東京小倉間、東京八幡間、東京長崎間、東京佐世保間、東京鹿兒島間、東京青森間、東京札幌間、東京小樽間、東京室蘭間、東京宗谷間、東京京城間、東京大連間、東京奉天間
- 二 大阪金澤間、大阪敦賀間、大阪由良間、大阪松江間、大阪廣島間
- 三 松江元山間
- 四 廣島神戸間、廣島小松島間、廣島嵯峨間、廣島須崎間、廣島吳間、廣島宇品間、廣島徳山間、廣島下關間、廣島小倉間
- 五 小倉佐賀間、小倉久留米間、小倉熊本間、小倉郷ノ浦間、小倉

嚴原間、小倉釜山間

- 六 久留米嚴原間
- 七 長崎臺北間、長崎大連間、長崎上海間
- 八 佐世保長崎間、佐世保鹿兒島間、佐世保鎮海間、佐世保大連間
- 九 郷ノ浦嚴原間
- 一〇 鹿兒島久慈那霸間
- 一一 那霸八重山淡水間、那覇「ヤップ」間
- 一二 西表島八重山宮古間
- 一三 青森大湊間
- 一四 札幌厚岸間、札幌根室間、札幌豐原間
- 一五 京城仁川間、京城釜山間、京城鎮海間、京城大邱間、京城安東間、京城平壤間、京城鎮南浦間、京城元山間、京城清津間、京城羅南間、京城雄基間
- 一六 鎮海永興間
- 一七 清津會寧間、清津慶興間、清津雄基間
- 一八 會寧慶源間、會寧龍井間
- 一九 慶源琿春間
- 二〇 臺北臺中臺南間、臺北高雄間、臺北屏東間、臺北東港間
- 二一 鶯鶯鼻高雄間
- 二二 馬公高雄間
- 二三 大連旅順間、大連營口間、大連鞍山站間、大連撫順間、大連奉天間、大連四平街長春間、大連本溪湖間、大連安東間
- 二四 旅順奉天間

二五 奉天長春間

二六 大泊豐原間、大泊豐原久春間、大泊豐原眞岡間

圖例第二十號ニ依リ五千分ノ一ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第二十七 飛行場夜間著陸又ハ著水設備圖

圖例第二十一號ニ依リ五千分ノ一ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第二十八 飛行場建物配置圖

圖例第二十二號ニ依リ千分ノ一ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第二十九 飛行場附近一般圖

圖例第二十三號ニ依リ五萬分ノ一ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第三十 航空路圖

圖例第二十四號ニ依リ百萬分ノ一ノ縮尺ヲ以テ作製スベシ

第三十一 國有鐵道ニ準シ調査報告ヲ爲スベキ地方鐵道及軌道並ニ南滿洲鐵道

一、内地

- 美唄鐵道、夕張鐵道、北海道鐵道、定山溪鐵道、岩手輕便鐵道、釜石鐵道、浦原鐵道、長岡鐵道、常總鐵道、東武鐵道、岩鼻輕便鐵道、上信電氣鐵道、秩父鐵道、西武鐵道、武藏野鐵道、鶴見臨港鐵道、富士身延鐵道、名古屋鐵道、各務原鐵道、湖南鐵道、近江鐵道、南海鐵道、加太輕便鐵道、宇治川電氣株式會社鐵道、播丹鐵道、中國鐵道、井笠鐵道、藝備鐵道、阿南鐵道、九州產業鐵道、博多灣鐵道汽船株式會社鐵道

二 朝鮮

- 南滿洲鐵道、朝鮮鐵道、朝鮮京南鐵道、朝鮮京東鐵道、新興鐵道、朝鮮平安鐵道、西鮮中央鐵道、京春鐵道、端豐鐵道、平北鐵道、

多獅島鐵道、北鮮拓殖鐵道

三 臺灣

- 帝國製糖株式會社鐵道、新高製糖株式會社鐵道、鹽水港製糖株式會社鐵道、明治製糖株式會社鐵道、臺灣製糖株式會社鐵道、大日本製糖株式會社鐵道

四 關東州

- 南滿洲鐵道、金福鐵道

五 樺太

第三十二 線路容量ノ調査報告ヲ爲スベキ鐵道及軌道ノ線路區間

一 國有鐵道

函館本線、函館長萬部間、長萬部小樽間、小樽岩見澤間、岩見澤旭川間

長輪線、長萬部輪西間

室蘭本線、岩見澤室蘭間

留萌線、深川留萌間

根室本線、瀧川帶廣間、帶廣釧路間、釧路根室間

富良野線、旭川下富良野間

宗谷本線、稚内旭川間

石北線、新旭川遠輕間

天鹽線、音威子府稚內間

網走本線、網走池田間

東北本線、青森盛岡間、盛岡黑澤尻間、黑澤尻一ノ關間、一ノ關仙臺間、仙臺福島間、福島白河間、白河宇都宮間、宇



都宮田端間、田端東京間  
 大湊線 野邊地大湊間  
 横黒線 黒澤尻横手間  
 常磐線 岩沼平間、平水戸間、水戸我孫子間、我孫子日暮里間  
 水戸線 友部小山間  
 兩毛線 小山高崎間  
 高崎線 大宮高崎間  
 奥羽本線 青森秋田間、秋田大曲間、大曲新庄間、新庄山形間、山形米澤間、米澤福島間  
 羽越本線 秋田鶴岡間、鶴岡新津間  
 磐越西線 郡山會津若松間、會津若松喜多方間、喜多方新津間  
 磐越東線 郡山平間  
 陸羽東線 新庄小牛田間  
 陸羽西線 新庄余目間  
 信越本線 高崎横川間、横川輕井澤間、輕井澤篠ノ井間、篠ノ井直江津間、直江津新津間、新津新潟間  
 上越本線 宮内越後湯澤間、越後湯澤水上間、水上新前橋間  
 總武線 兩國橋千葉間、千葉佐倉間、佐倉銚子間、佐倉我孫子間、千葉安房北條間、安房北條大網間、大網蘇我間  
 中央線 新宿八王子間、八王子甲府間、甲府鹽尻間、鹽尻名古屋間  
 古屋間  
 篠ノ井線 鹽尻篠ノ井間  
 北陸本線 敦賀敦賀港間、米原敦賀間、敦賀福井間、福井金澤間、金澤直江津間  
 飛越本線 富山越中八尾間、越中八尾高山間

小濱線 敦賀新舞鶴間  
 東海道本線 東京品川間、品川國府津間、國府津沼津間、沼津靜岡間、靜岡濱松間、濱松豐橋間、豐橋名古屋間、名古屋大垣間、大垣米原間、米原京都間、京都大阪間、大阪神戸間、鶴見橫濱港間、江尻清水港間、名古屋名古屋港間、大阪櫻島間  
 横須賀線 大船横須賀間  
 高山線 岐阜燒石間、燒石高山間  
 關西本線 名古屋龜山間、龜山奈良間、奈良湊町間、今宮大坂港間  
 參宮線 龜山津間、津鳥羽間  
 和歌山線 王寺和歌山間  
 城東線 大阪天王寺間  
 福知山線 神崎福知山間  
 山陰線 京都福知山間、福知山鳥取間、鳥取濱田間、濱田石見益田間  
 見益田間  
 舞鶴線 新舞鶴綾部間  
 山陽本線 神戸姫路間、姫路岡山間、岡山糸崎間、糸崎廣島間、廣島小郡間、小郡下關間、廣島宇品間  
 播但線 和田山姫路間  
 宇野線 岡山宇野間  
 吳線 海田市吳間  
 伯備線 伯耆大山倉敷間  
 山口線 小郡山口間、山口石見益田間  
 讚豫線 高松多度津間、多度津松山間、多度津阿波池田間  
 德島線 阿波池田德島間、德島小松島間

朝鮮

高知線 土佐山田須崎間、阿波池田土佐山田間  
 鹿兒島本線 門司鳥栖間、鳥栖熊本間、熊本鹿兒島間  
 肥薩線 吉松八代間  
 長崎本線 鳥栖早岐間、早岐長崎間  
 佐世保線 早岐佐世保間  
 日豐本線 小倉大分間、大分宮崎間、宮崎都城間、都城吉松間  
 筑豐本線 若松直方間、直方上山田間  
 伊田線 中泉伊田間  
 田川線 伊田添田間  
 咸鏡本線 元山咸興間、咸興輪城間、輪城會寧間、會寧上三峰間  
 會寧炭礦線 會寧新鷄林間  
 清津線 清津港輪城間  
 白茂線 開通區間  
 惠山線 吉州白岩間、白岩惠山鎮間  
 東海北部線 開通區間  
 東海中部線 慶州浦項間  
 東海南部線 釜山鎮慶州間  
 京義本線 京城新幕間、新幕平壤間、平壤定州間、定州安東間  
 平南線 平壤鎮南浦間  
 平壤炭礦線 大同江勝湖里間  
 兼二浦線 黃海黃州兼二浦間  
 滿浦本線 順川熙川間、熙川滿浦間  
 平元東部線 開通區間

臺灣

平元西部線 開通區間  
 京元線 龍山元山間  
 京慶北部線 開通區間  
 京慶南部線 開通區間  
 京釜本線 釜山三浪津間、三浪津大邱間、大邱大田間、大田京城間  
 京仁線 南京城仁川間  
 慶北線 金泉慶北安東間  
 大邱線 大邱永川間  
 湖南本線 大田裡里間、裡里木浦間  
 群山線 裡里群山港間  
 光州線 光州潭陽間  
 慶全南部線 三浪津晉州間  
 慶全西部線 順天松汀里間  
 鎮海線 昌原鎮海間  
 全羅線 裡里順天間、順天麗水港間  
 縱貫線 基隆臺北間、臺北竹南間、竹南彰化間、彰化二水間、二水嘉義間、嘉義高雄間  
 宜蘭線 基隆蘇澳間  
 臺東線 花蓮港臺東間  
 淡水線 臺北淡水間  
 臺中線 竹南彰化間、王田追分間  
 集集線 二水外車埕間  
 阿里山線 嘉義眠月間  
 潮州線 高雄溪州間  
 樺太



泊榮線 大泊榮濱間  
豐原線 豐原手井間  
西海岸線 野田本斗間  
川上線 小沼川上炭山間  
二 地方鐵道及軌道並ニ南滿洲鐵道  
イ 内地

美唄鐵道 美唄美唄炭山間、美唄炭山常盤臺間  
夕張鐵道 栗山新夕張間  
北海道鐵道 苗穂沼ノ端間、沼ノ端邊富内間  
定山溪鐵道 苗穂篠舞間  
岩手輕便鐵道 花卷仙人峠間  
釜石鐵道 釜石大橋間  
蒲原鐵道 五泉村松間  
長岡鐵道 來迎寺寺泊間  
常陸鐵道 取手石下間  
東武鐵道 池袋小川町間、北千住粕壁間、粕壁木崎間  
岩鼻輕便鐵道 倉賀野上州岩鼻間  
上信電氣鐵道 高崎下仁田間  
秩父鐵道 羽生寄居間  
西武鐵道 東村山國分寺間、所澤東村山間  
武藏野鐵道 池袋所澤間  
鶴見臨港鐵道 濱川崎辨天橋間  
富士身延鐵道 富士甲府間  
名古屋鐵道 布袋新津島間  
各務原鐵道 岐阜市長住町東鶴沼間  
湖南鐵道 新八日市近江八幡間

近江鐵道 八日市彦根間  
南海鐵道 和歌山市葛葉間、葛葉難波間  
加太輕便鐵道 和歌山口加太間  
宇治川電氣株式會社鐵道 姫路明石間  
播丹鐵道 加古川播鐵社間  
中國鐵道 岡山津山間、岡山西總社間  
井笠鐵道 笠岡井原間  
藝備鐵道 廣島備後庄原間  
阿南鐵道 中田古庄間  
九州產業鐵道 起行赤坂間、赤坂赤坂炭坑間  
博多灣鐵道汽船株式會社鐵道 宇美西戶崎間、新博多福岡間  
朝鮮  
南滿洲鐵道  
北鮮線 上三峰羅津間  
朝鮮鐵道  
黃海線 沙里院上海間、上海長淵間、上海東海州間、東海州海州港間、土城慶津間  
忠北線 鳥致院忠州間  
朝鮮京南鐵道  
京畿線 天安長湖院間  
忠南線 天安長項間  
朝鮮京東鐵道 水原驪州間、水原仁川港間  
新興鐵道 咸興泗水間、五老赴戰湖畔間、西咸興西湖里間  
朝鮮平安鐵道 鎮南浦龍岡溫泉間  
西鮮中央鐵道 開通區間  
京奉鐵道 城東春川間

端豐鐵道 端川洪君間  
平北鐵道 定州水豐間、富豐青水間  
多獅島鐵道 開通區間  
北鮮拓殖鐵道 古茂山茂山間  
臺灣  
新高製糖株式會社鐵道 新高彰化新高鹿港間、新高大林新高  
新巷間  
明治製糖株式會社鐵道 嘉義港墘間、番子田二重港間  
大日本製糖株式會社鐵道 嘉義烏麻園間  
關東州  
南滿洲鐵道  
本線 大連普蘭店間  
旅順線 周水子旅順間  
金福鐵道 金州城子驛間  
樺太  
樺太鐵道 落合知取間

第三十三 線路一覽略圖  
第三十四 停車場平面圖ヲ作製スベキ停車場  
一 國有鐵道  
イ 内地

函館線 函館棧橋、函館、長萬部、俱知安、南小樽、札幌、苗穂、岩見澤、美唄、砂川、上砂川、瀧川、深川、近文、旭川、幌內、幾春別、神威、手宮  
室蘭線 苫小牧、輪西、御崎、室蘭、鹿ノ谷、夕張、登川、留萌線 留萌  
根室線 下富良野、落合、新得、帶廣、止若、釧路、厚岸、根室、宗谷線 名寄、稚內、稚内港  
第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査

名寄線 渚滑、中湧別  
東北線 秋葉原、田端、王子、赤羽、浦和、大宮、久喜、栗橋、古河、間々田、宇都宮、白河、郡山、本宮、福島、長町、仙臺、小牛田、石越、一ノ關、水澤、黑澤尻、花卷、盛岡、北福岡、三戸、尻内、野邊地、青森、大湊、澁谷、大塚、板橋、隅田川、金町、松戶、取手、土浦、神立、高濱、水戸、助川、高萩、南中郷、磯原、關本、勿來、植田、湯本、綴、平、原ノ町、上尾、箱川、鴻ノ巢、熊谷、深谷、倉賀野、高崎、栃木、足利、伊勢崎、前橋、足尾、結城、新治、鹿沼  
奧羽線 米澤、山形、新庄、院內、湯澤、大曲、秋田、土崎、大館、碓ヶ關、弘前、寒河江、船川、能代  
羽越線 新發田、村上、鶴岡、酒田、羽後本莊  
磐越線 赤井、會津若松、喜多方、五泉  
陸羽線 石卷  
信越線 安中、輕井澤、吉田、高田、柏崎、長岡、新津、新潟、彌彦  
總武線 兩國橋、錦糸町、龜戶、市川、下總中山、船橋、津田沼、幕張、稻毛、千葉、四街道、佐倉、銚子、安房勝山、岩井、安房北條、江見  
中央線 飯田町、新宿、中野、國分寺、立川、八王子、甲府、上諏訪、下諏訪、岡谷、辰野、鹽尻、木曾福島、中津川、勝川、松本  
北陸線 長濱、敦賀、敦賀港、武生、鯖江、福井、金澤、高岡、富山、直江津、七尾、伏木、新湊、小濱  
東海道線 沙留、品川、川崎、新鶴見操車場、東神奈川、橫濱、程ヶ谷、大船、藤澤、平塚、山北、駿河、三島、沼津、靜岡、燒津、藤枝、濱松、豐橋、岡崎、大府、大高、熱田、



名古屋、名古屋港、枇杷島、稻澤、尾張一ノ宮、岐阜、大垣、米原、彦根、近江八幡、守山、馬場、大津、山科、京都、梅小路、向日町、高槻、茨木、吹田、梅田、神崎、蘆屋、東灘、神戸、淡川、神戸港、小野濱、長津田、逗子、田浦、横須賀、武豐、各務原、美濃太田、尼崎、神崎(福知山線)、塚口、池田、三田、篠山、櫻島、安治川口、關西線、彌富、四日市、龜山、加太、木津、奈良、王寺、天王寺、今宮、淡町、浪速、大阪港、津、山田、鳥羽、桃山、木幡、宇治、片町、放出、津田、住道、淀川、玉造、高田、和歌山、山陰線、丹波口、龜岡、八木、綾部、福知山、和田山、鳥取、安來、松江、出雲今市、濱田、石見益田、境港、新舞鶴、中舞鶴、舞鶴、宮津、山陽線、明石、土山、加古川、寶殿、姫路、那波、和氣、岡山、福山、糸崎、海田市、廣島、柳井津、島田、德山、三田尻、小郡、宇部、厚狹、下關、和田岬、飾磨、生野、大元、茶屋町、八濱、宇野、津山、宇品、吉浦、吳、山口、讚線、高松、丸龜、多度津、善通寺、詫間、新居濱、伊豫西條、松山、德島線、德島、中田、小松島、高知線、須崎、鹿兒島線、門司、小倉、戸畑、八幡、折尾、古賀、吉塚、博多、二日市、鳥栖、久留米、荒木、矢部川、大牟田、高瀬、植木、熊本、川尻、八代、人吉、吉松、川内町、鹿兒島、篠栗、薩摩大川、長崎線、神崎、佐賀、北方、武雄、早岐、大村、長崎、岩屋、相知、唐津、西唐津、岸嶽、伊萬里、佐世保、日豐線、城野、西大分、幸崎、延岡、宮崎、都城、香春、川崎、添田、後藤寺、第一大任、第二大任、宮床、筑豐線、若松、中間、新入、直方、芳雄、飯塚、新平恒、白井、大

潮州線 屏東、溪州  
樺太  
泊榮線 大迫、豐原、落合、榮濱  
豐真線 手井  
西海岸線 野田、本斗、眞岡  
川上線 小沼、川上炭山  
二 地方鐵道及軌道並=南滿洲鐵道  
内地  
北海道鐵道 上野幌  
長岡鐵道 寺泊  
常總鐵道 石下  
東武鐵道 越ヶ谷、武州大澤、武里、粕壁、鷺宮、加須、館林、太田  
岩鼻輕便鐵道 上州岩鼻  
上信電氣鐵道 下仁田  
秩父鐵道 行田  
西武鐵道 川越、南大塚  
武藏野鐵道 豐岡町、所澤  
名古屋鐵道 新津島、布袋  
各務原鐵道 一聯隊前、二聯隊前、長住町  
湖南鐵道 新八日市  
近江鐵道 八日市  
南海鐵道 堺、濱寺公園、葛葉、貝塚、尾崎、和歌山市  
加太鐵道 加太  
播丹鐵道 播鐵社  
井笠鐵道 井原、笠岡  
藝備鐵道 三次  
阿南鐵道 古庄  
博多灣鐵道汽船株式會社鐵道 志免、新原、西戸崎

朝鮮  
第十九類 國勢調查及統計報告 第一編 國勢調查

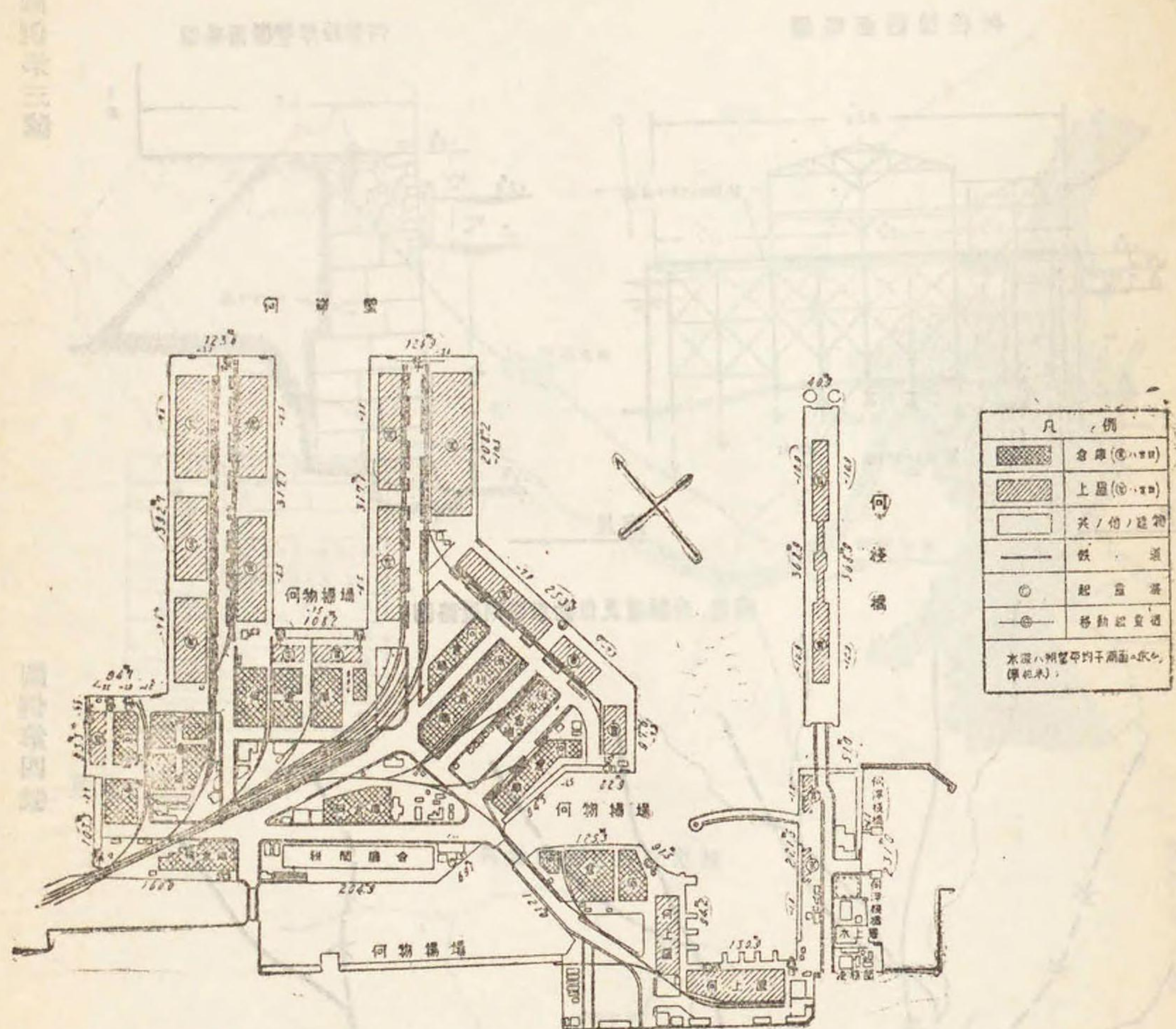
朝鮮  
咸鏡線 龍潭、高原、咸興、西湖津、端川、城津、吉州、羅南、輪城、古茂山、會寧、遮湖、清津、清津港  
惠山線 白岩、惠山鎮  
東海線 慶州、浦項、鶴山、蔚山  
京義線 開城、土城、新幕、沙里院、黃海黃州、平壤、西浦、新安州、孟中里、定州、宣川、新義州、兼二浦、寺洞、勝湖里、鎮南浦、滿浦線 价川、熙川、滿浦  
平元線 順川  
京元線 東京城、硯村、鐵原、安邊、元山  
京慶線 永川  
京釜線 釜山、棧橋、釜山、草梁、釜山鎮、三浪津、大邱、金泉、大田、鳥致院、天安、水原、南京城、龍山、京城、仁川、慶北安東  
湖南線 裡里、松汀里、木浦、群山、群山港  
全羅線 昌原、馬山、晉州、慶和、鎮海、光州  
慶全線 麗水、麗水、順天、南原、全州  
臺灣  
縱貫線 基隆、八堵、臺北、新竹、竹南、彰化、王田、二水、嘉義、番子田、臺南、高雄  
宜蘭線 蘇澳  
臺東線 花蓮港、玉里、臺東  
淡水線 淡水  
臺中線 臺中  
集集線 濁水、外車埕  
阿里山線 眠月

南滿洲鐵道 上三峰、潼關、南陽、礮城、訓戎、新阿山、阿吾地、雄基、羅津  
朝鮮鐵道 沙里院、上海、長淵、東海州、海州、魏津、海州、港、土城、鳥致院、清州、忠州  
朝鮮京南鐵道 天安、長湖院、長項  
朝鮮京東鐵道 水原、驪州、仁川港  
新興鐵道 咸興、西咸興、五老、泗水、赴戰湖畔、西湖里  
朝鮮平安鐵道 鎮南浦、龍岡溫泉  
西鮮中央鐵道 勝湖里、平南江東  
京春鐵道 城東、硯村、春川  
端豐鐵道 端川、洪君  
平北鐵道 定州、水豐、富豐、青水  
多獅島鐵道 新義州、楊市、多獅島港  
北鮮拓殖鐵道 古茂山、茂山  
臺灣  
新高製糖株式會社鐵道 新高彰化、新高鹿港、新高大林  
明治製糖株式會社鐵道 番子田、二重港、港墘  
大日本製糖株式會社鐵道 嘉義、烏麻園  
關東州  
南滿洲鐵道 大連埠頭、大連、沙河子、周水子、旅順  
金福鐵道 金州、貔子窩、城子驛  
樺太  
樺太鐵道 落合、知取  
第三十五 停車場平面圖  
第三十六 列車運行圖表  
第三十七 依り作製スベシ  
第三十七 各驛旅客貨物發著及通過數量圖表  
圖例第二十八號=依り作製スベシ



何港何繫船岸壁、何棧橋、何浮棧橋及何物揚場及其ノ隣接地域平面略圖

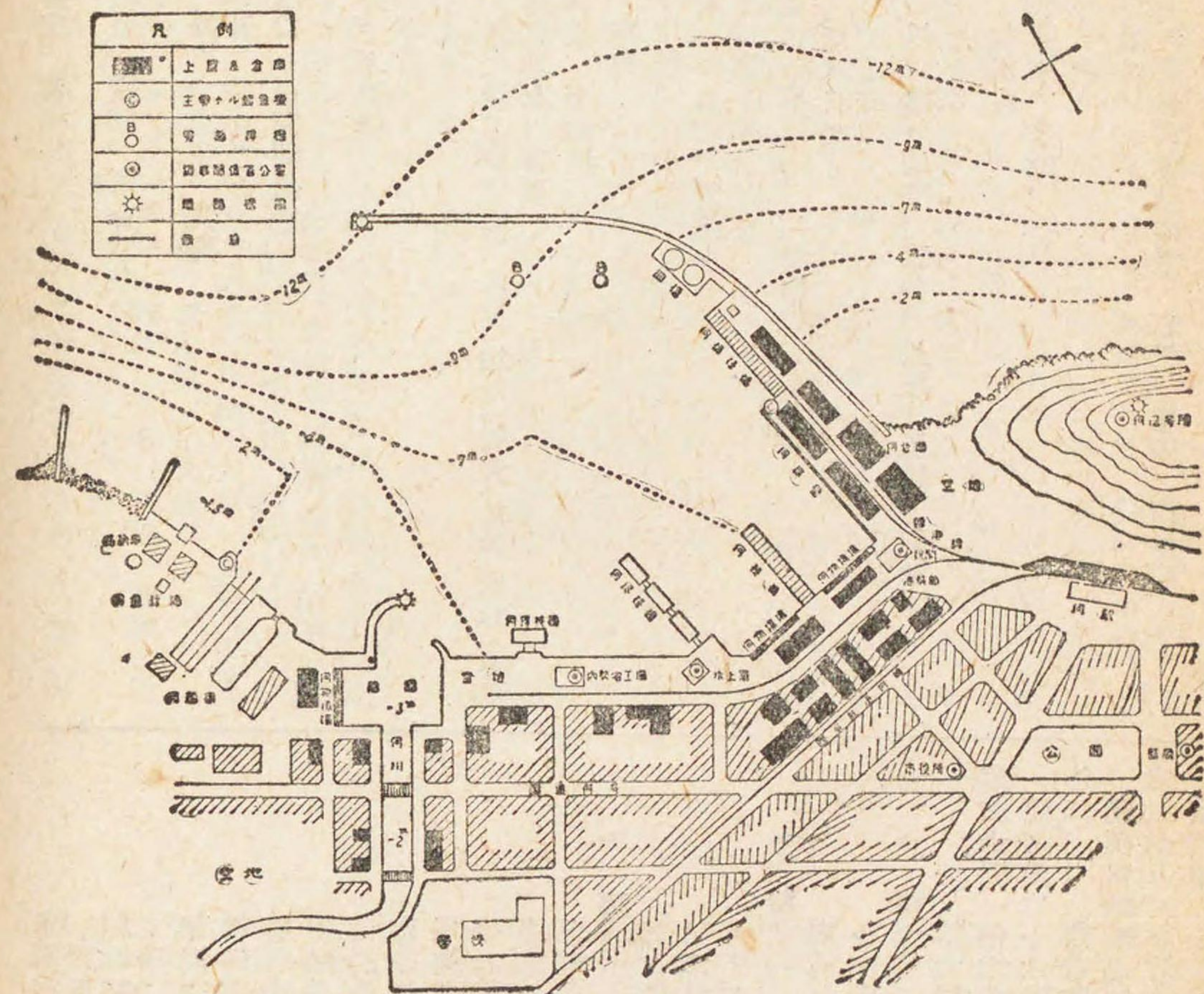
圖例第二號



縮尺

何港全圖

第十九類 國勢調查及統計報告 第一編 國勢調查 圖例第一號



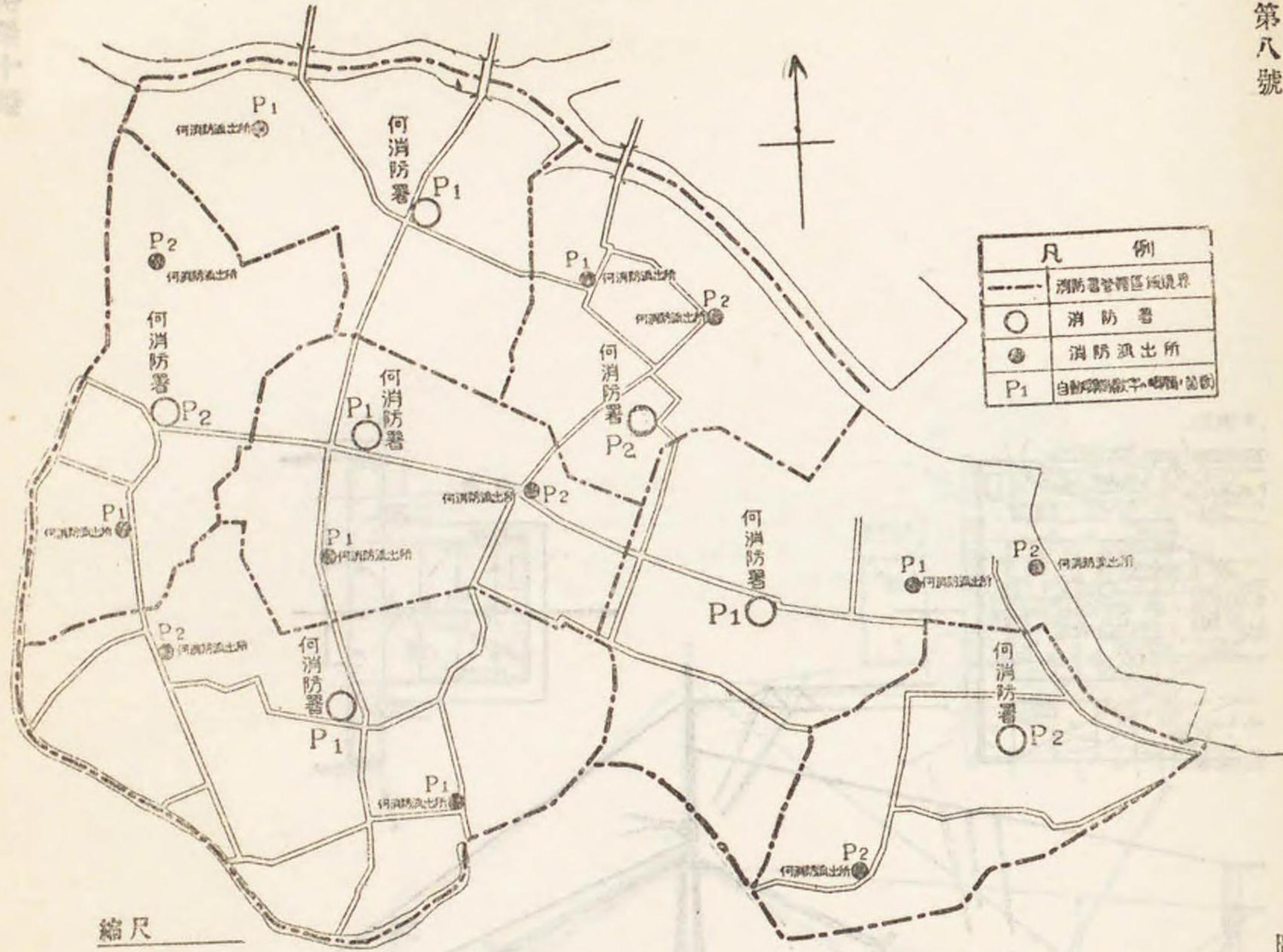
縮尺





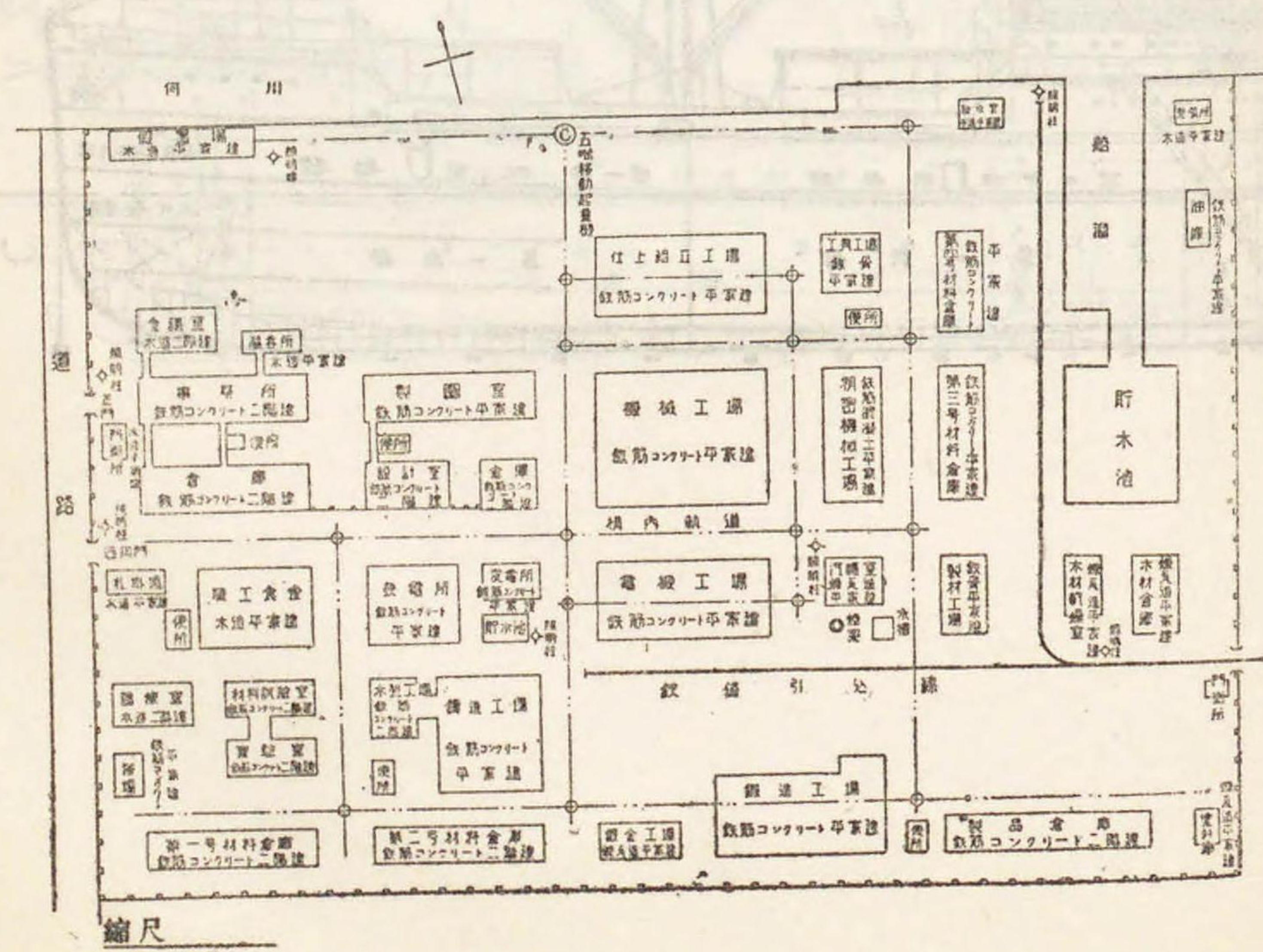


何市消防機關配置圖



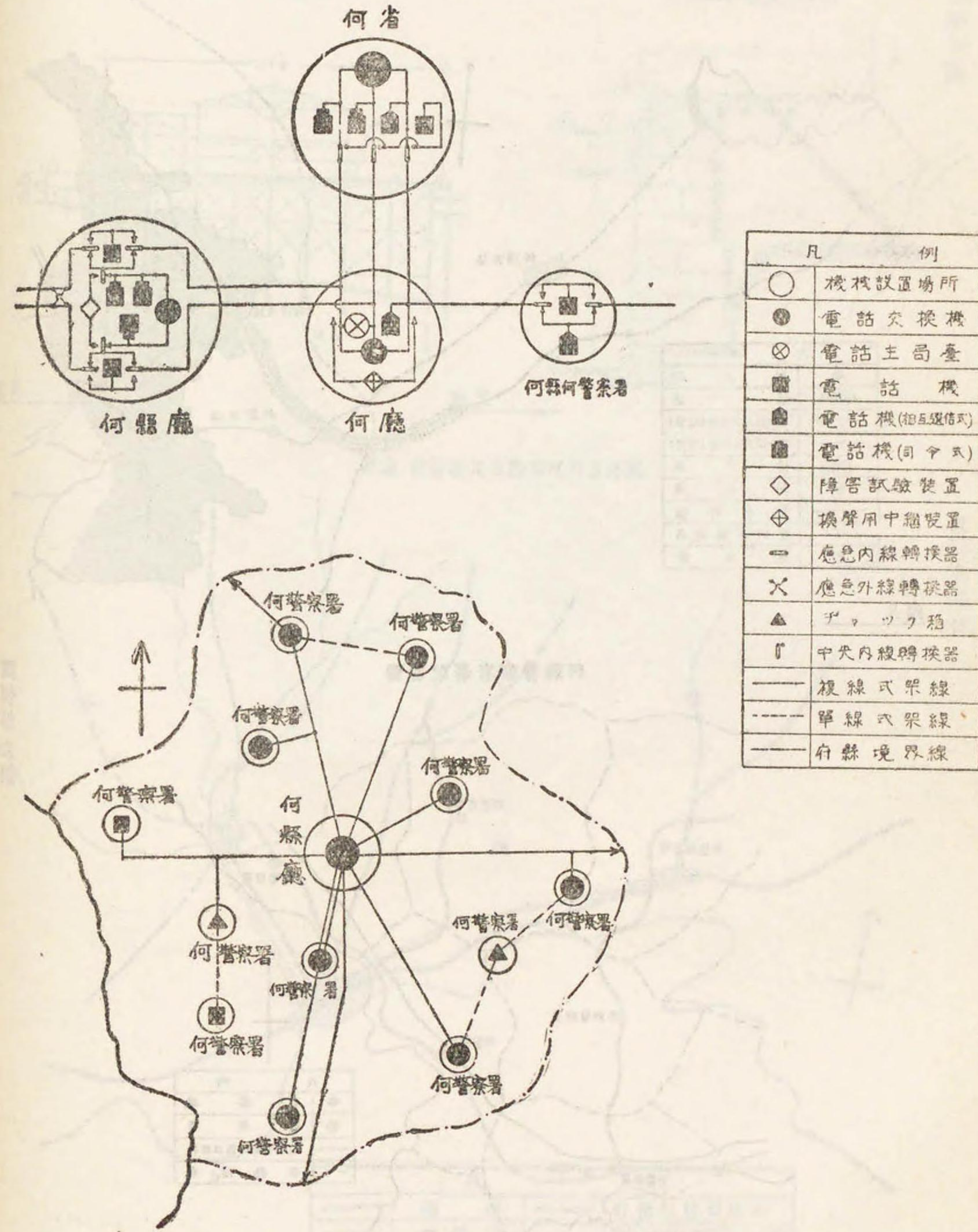
圖例第八號

何工場平面圖



圖例第九號

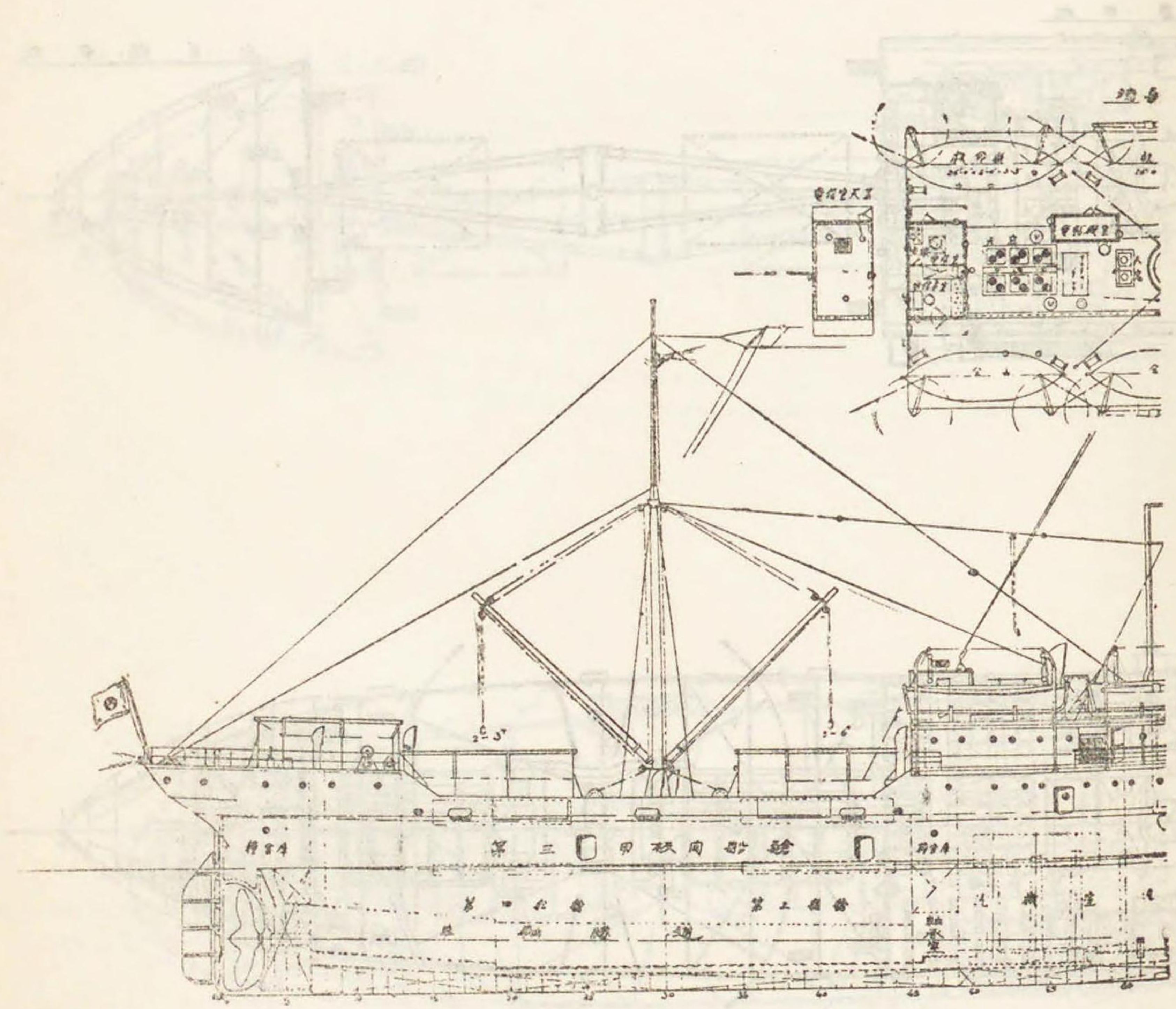
警察電話回線圖



圖例第七號



何丸船體

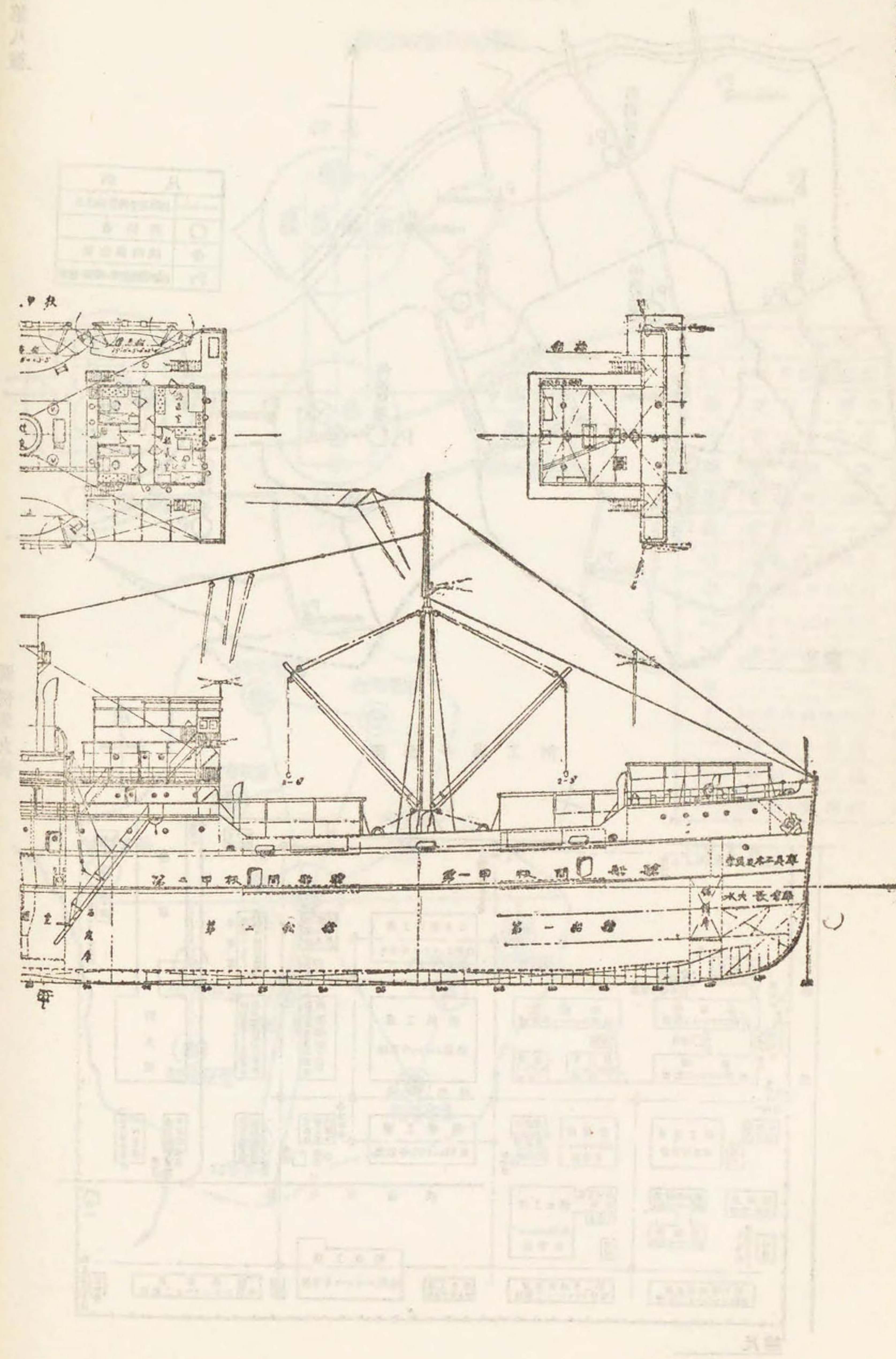


第十九類 國勢調查及統計報告 第一編 國勢調查

五十五ノ三ノ六十五

第一三八號 (二二八)

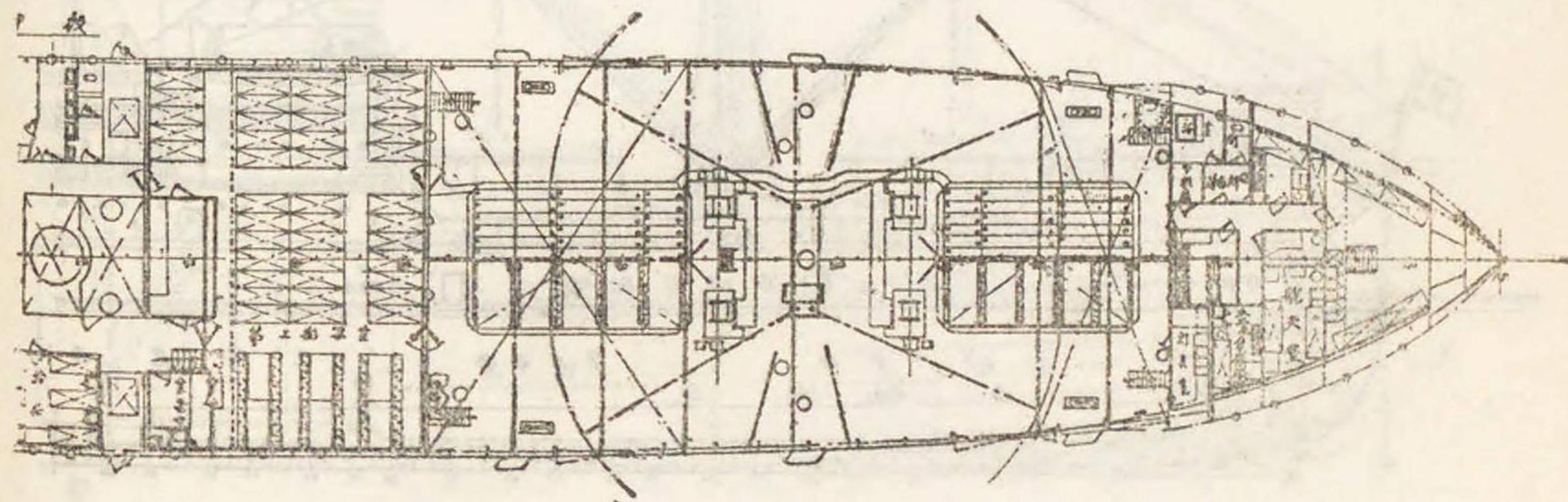
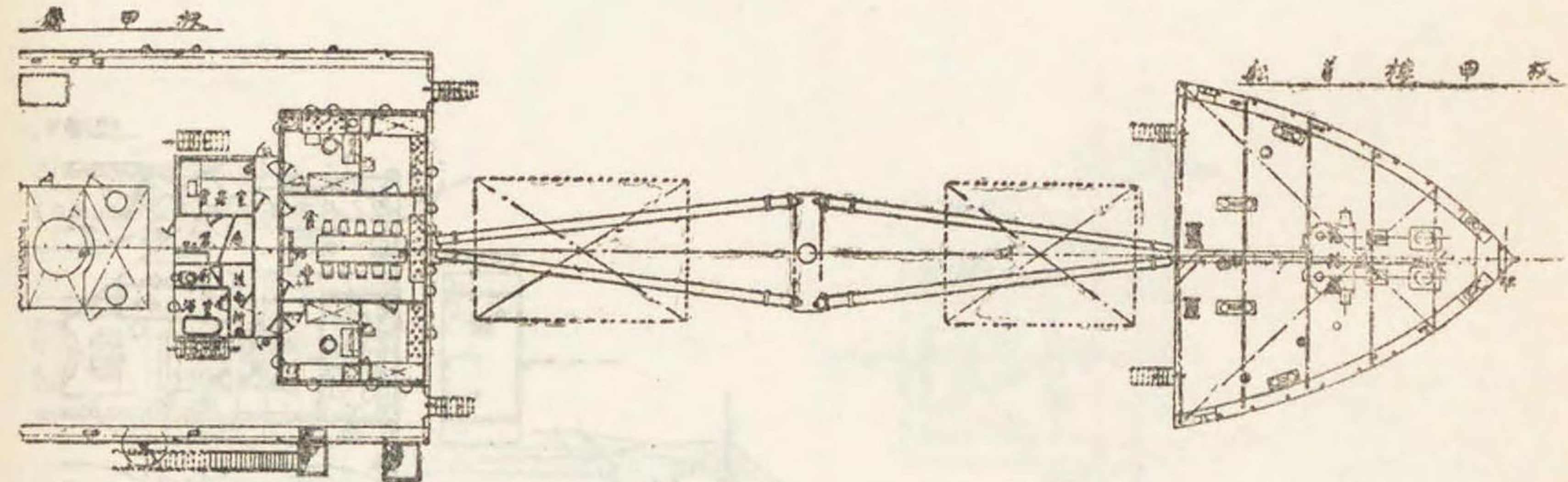
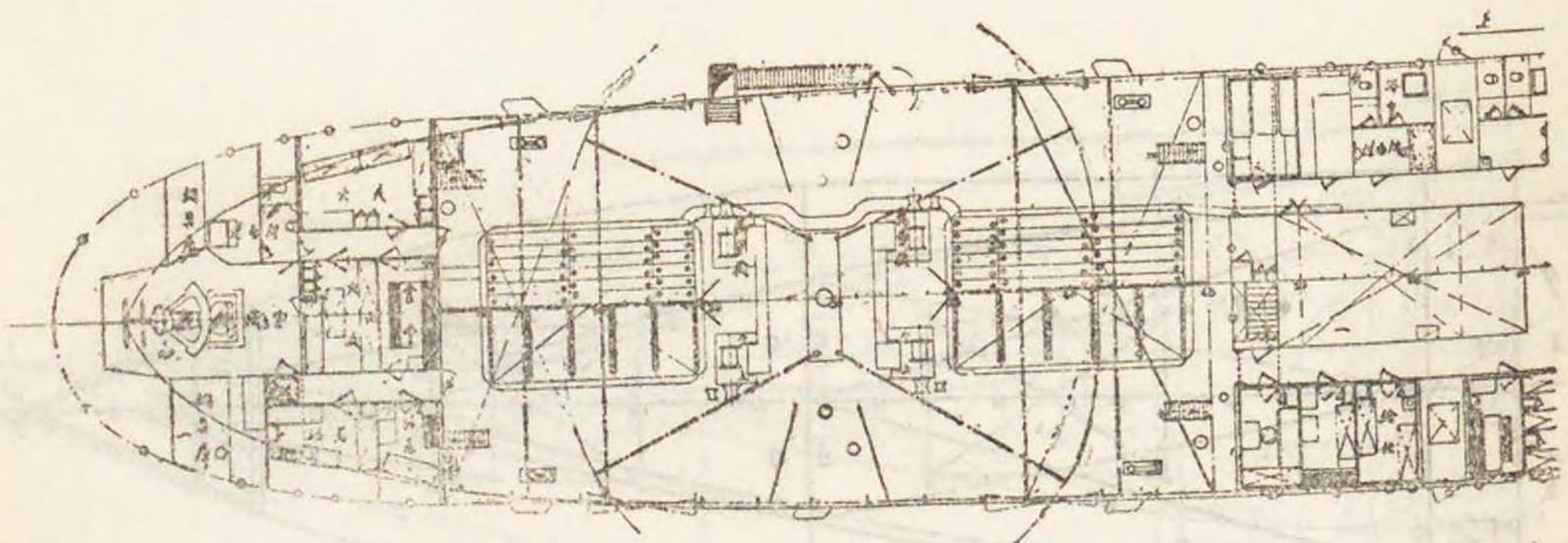
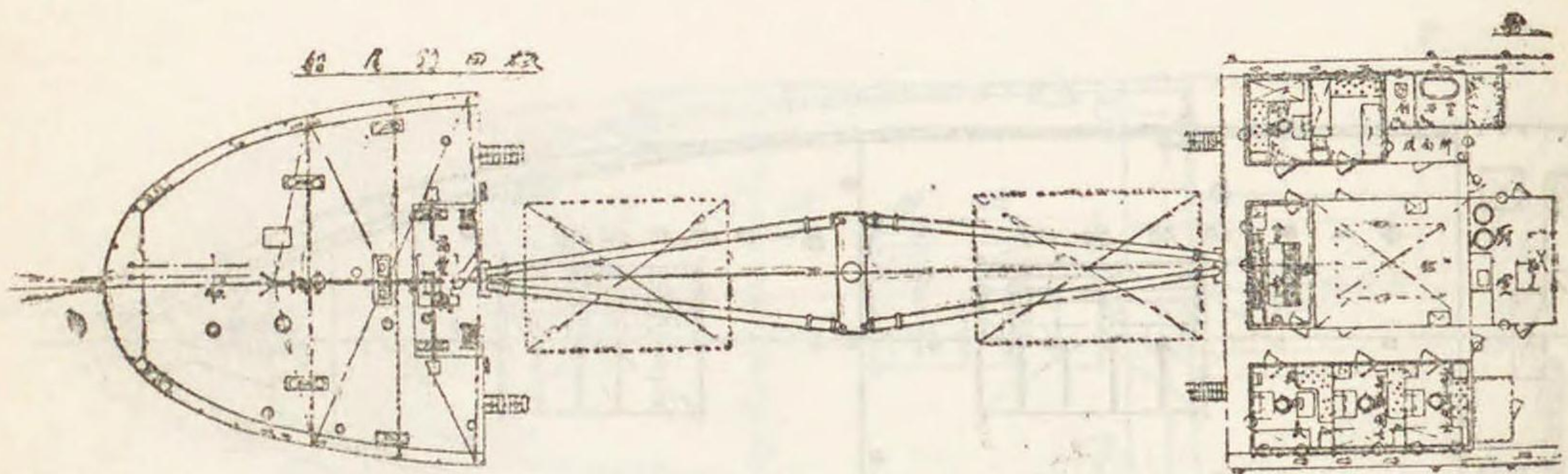
一般配置圖



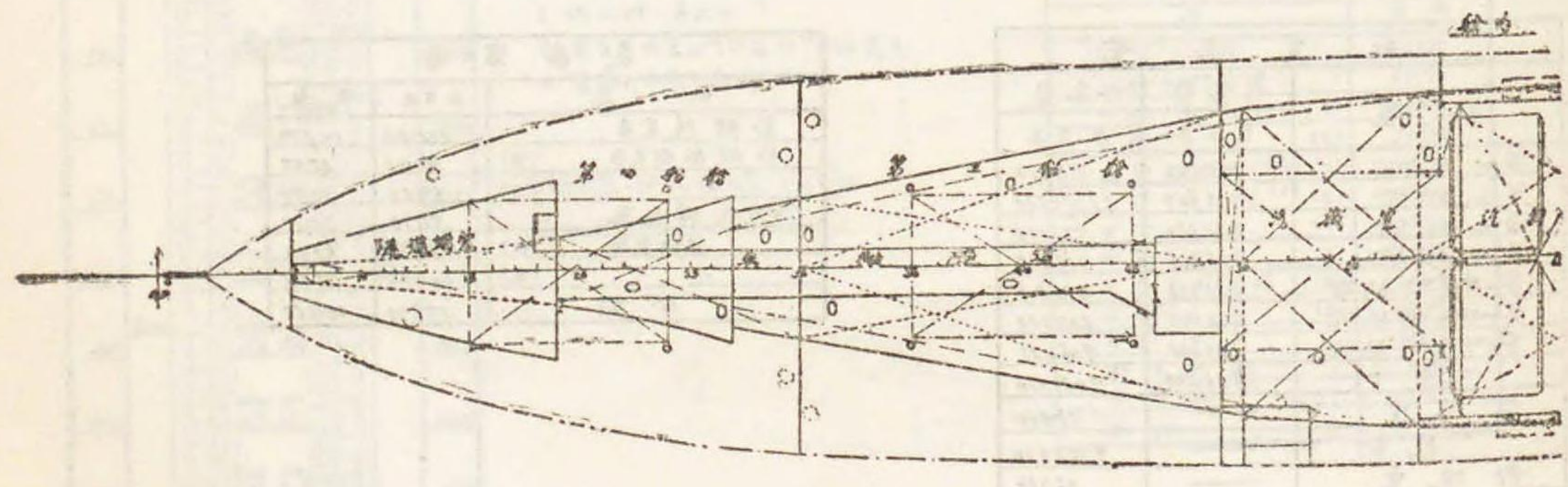
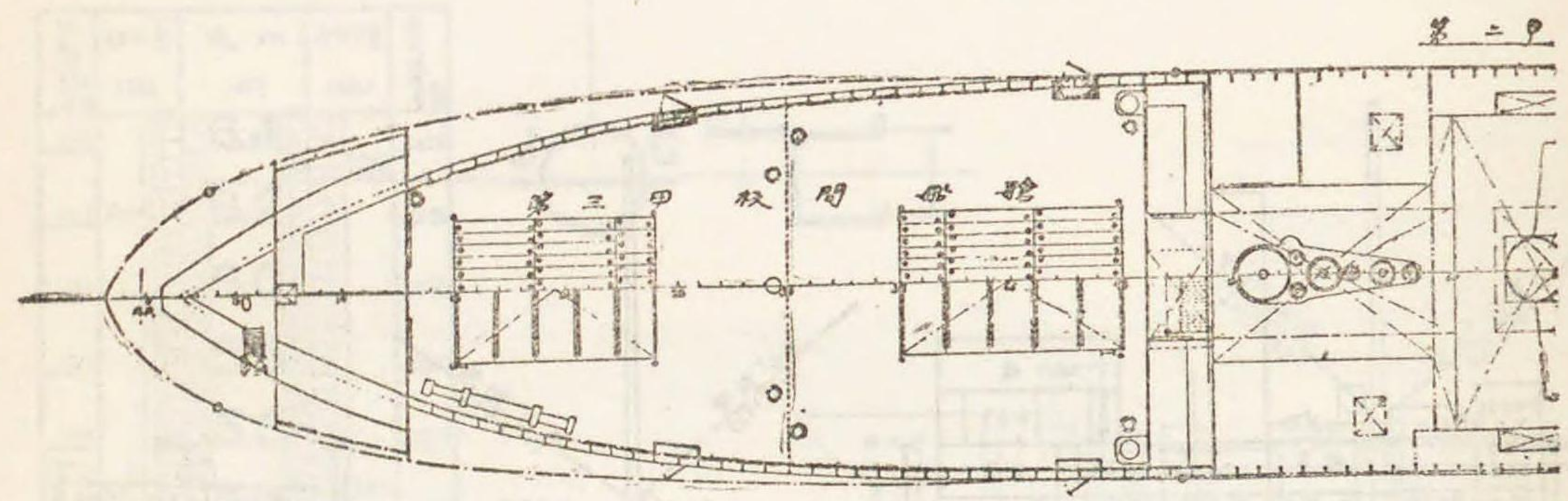
第十九類 國勢調查及統計報告 第一編 國勢調查 圖例第十號

五十五ノ三ノ六十四



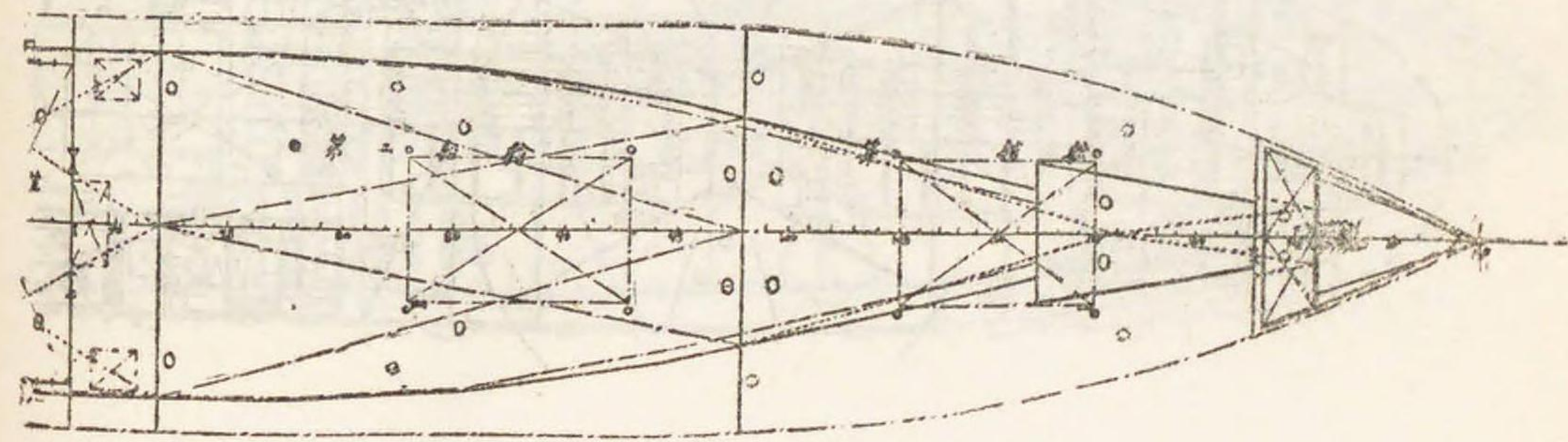
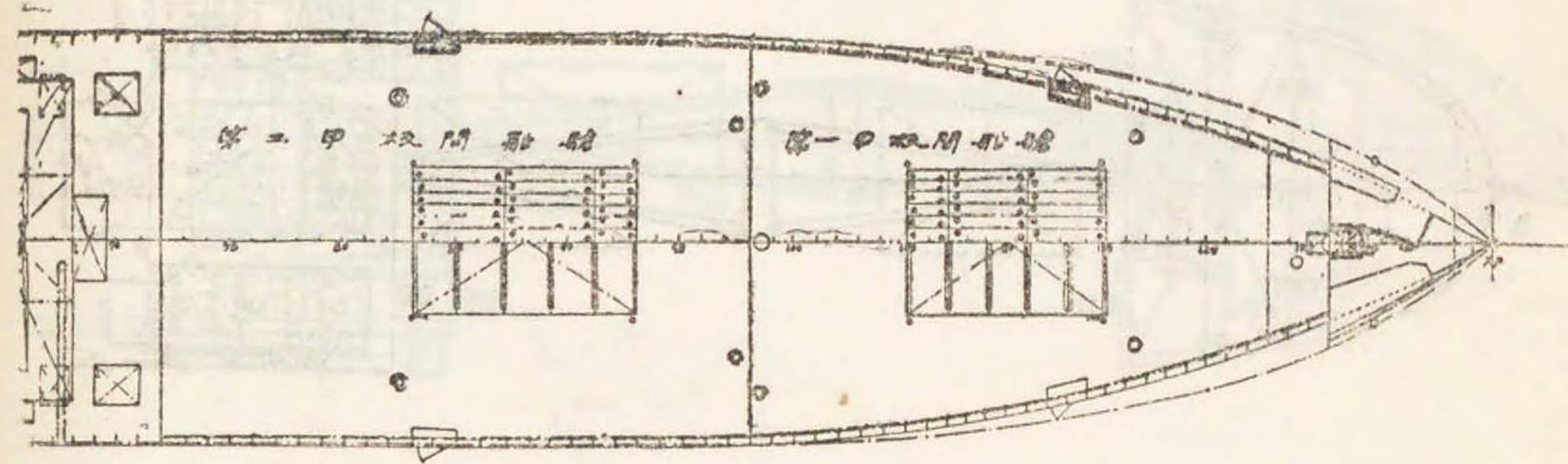






縮尺

五十五ノ三ノ六十九

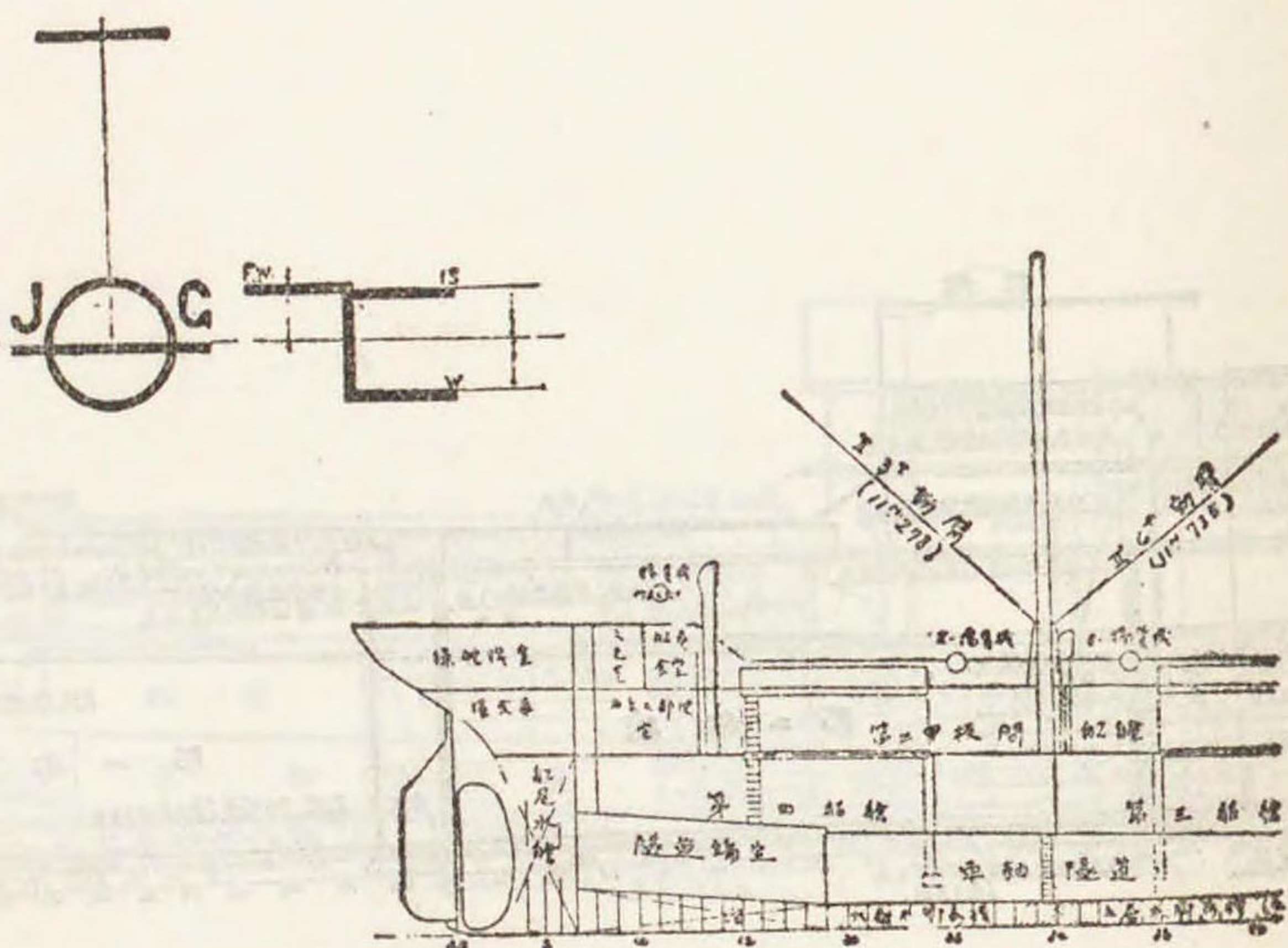


五十五ノ三ノ六十八

第一三八號 (二三〇)



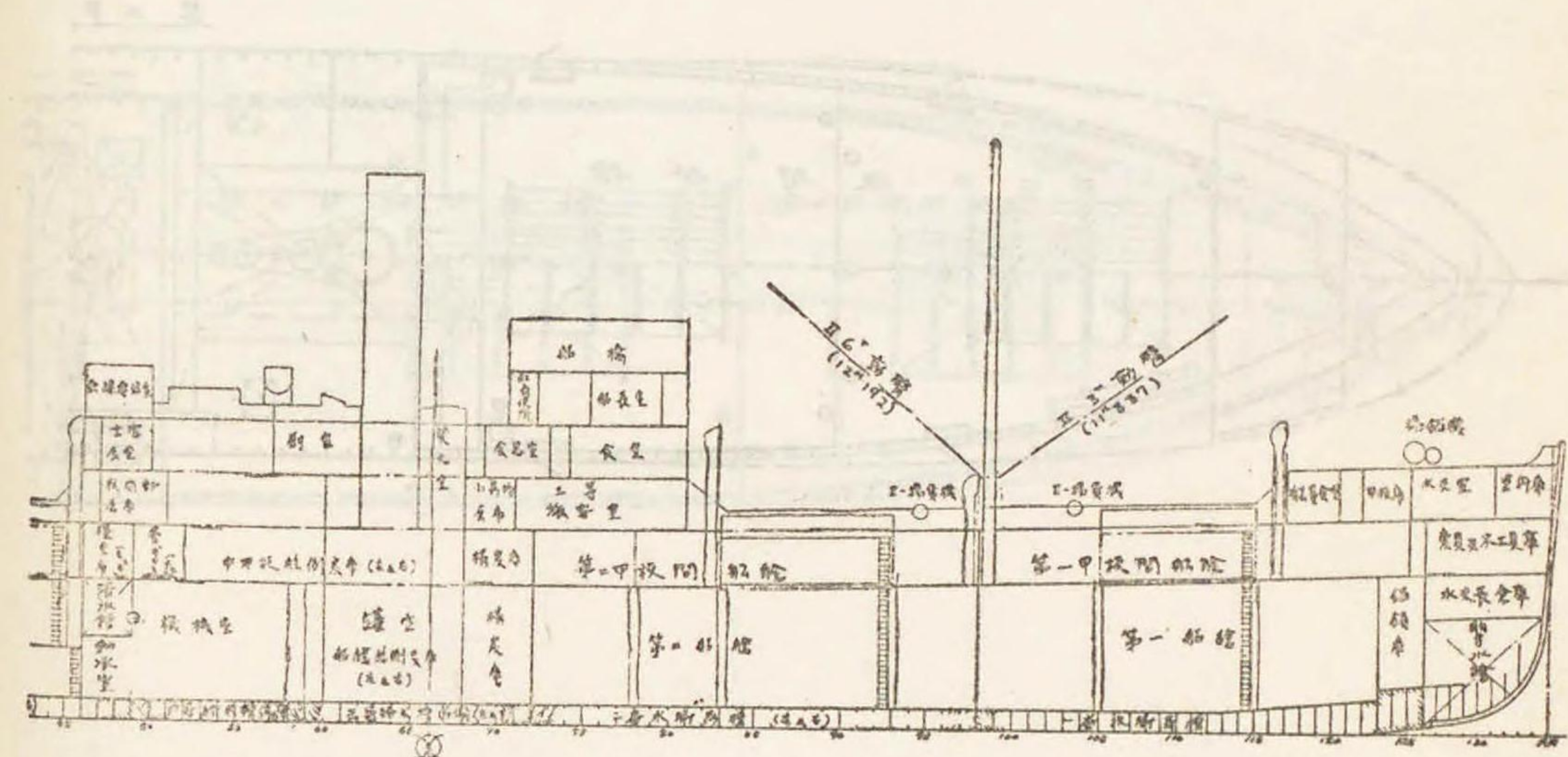
標尺量 (尺)	比水 (尺)	水櫃量 (噸)
64	11.8	11.8
62	11.7	11.7
60	11.6	11.6
58	11.5	11.5
56	11.4	11.4
54	11.3	11.3
52	11.2	11.2
50	11.1	11.1
48	11.0	11.0
46	10.9	10.9
44	10.8	10.8
42	10.7	10.7
40	10.6	10.6
38	10.5	10.5
36	10.4	10.4
34	10.3	10.3
32	10.2	10.2
30	10.1	10.1
28	10.0	10.0
26	9.9	9.9
24	9.8	9.8
22	9.7	9.7



空艙狀況  
 1. 儲備品、燃料品、食料油等  
 2. 淡水、使用水、海水等  
 3. 海水、副淡水、海水等  
 4. 海水、副淡水、海水等  
 5. 海水、副淡水、海水等  
 6. 海水、副淡水、海水等

種	數量 (噸)
第一中艙	20777
第二中艙	61134
第三中艙	82756
第四中艙	82756
第五中艙	42735
第六中艙	42735
第七中艙	26725
第八中艙	26725
第九中艙	41820
第十中艙	41820
第十一中艙	21555
第十二中艙	21555
第十三中艙	18117
合計	61771

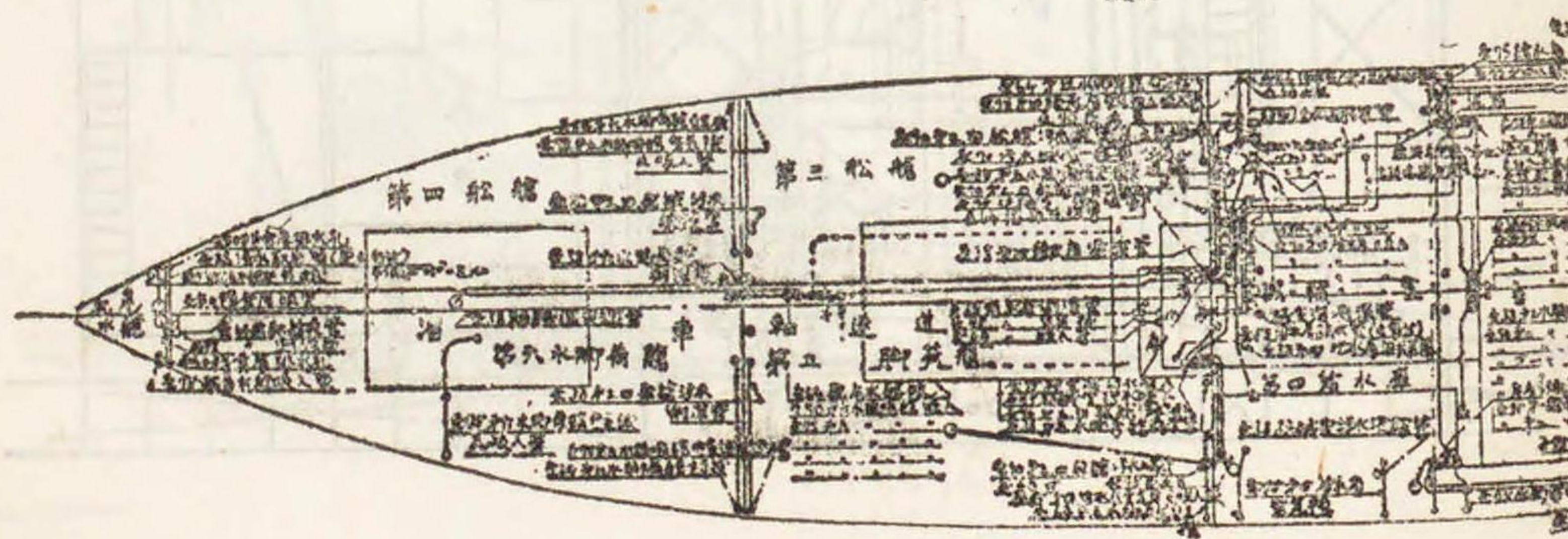
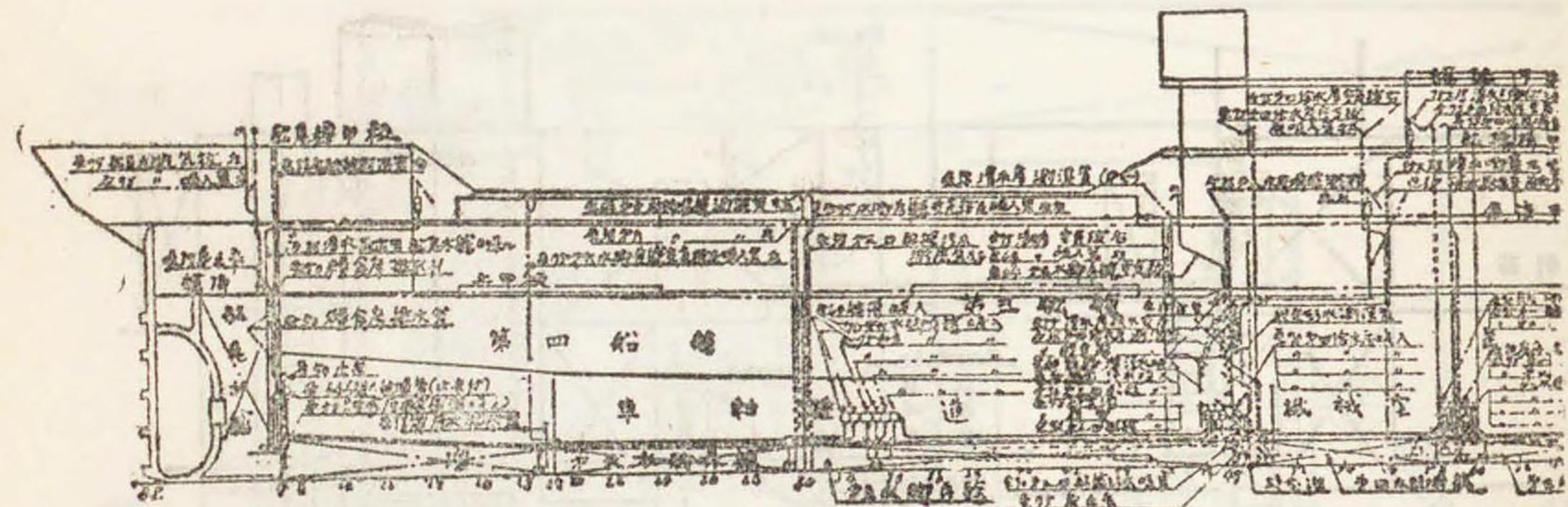
縮尺



位置	容量 (噸)	
	外容量	內容量
第一中艙	278532	218216
第二中艙	1829227	1215611
第三中艙	832820	711568
第四中艙	678689	412328
第五中艙	521211	422222
第六中艙	422222	422222
第七中艙	422222	422222
第八中艙	422222	422222
第九中艙	422222	422222
第十中艙	422222	422222
合計	5221220	3222220

位置	容量 (噸)
船艙	20222
第一中艙	2222
第二中艙	2222
第三中艙	2222
第四中艙	2222
第五中艙	2222
第六中艙	2222
第七中艙	2222
第八中艙	2222
第九中艙	2222
第十中艙	2222
合計	22222



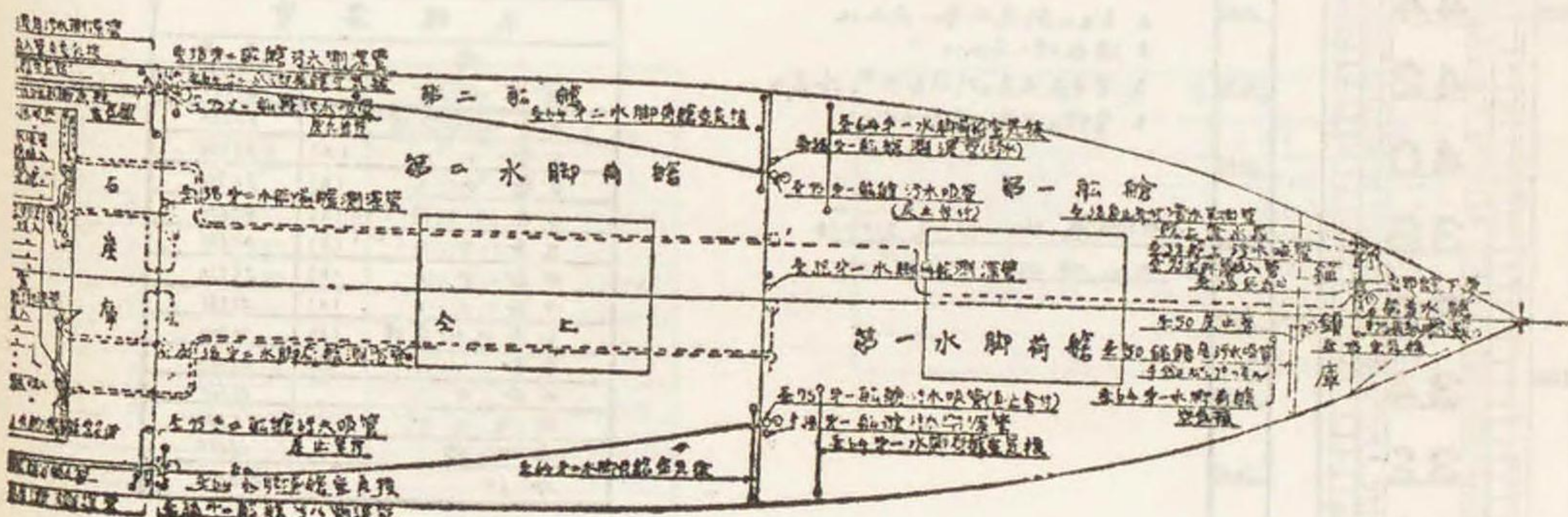
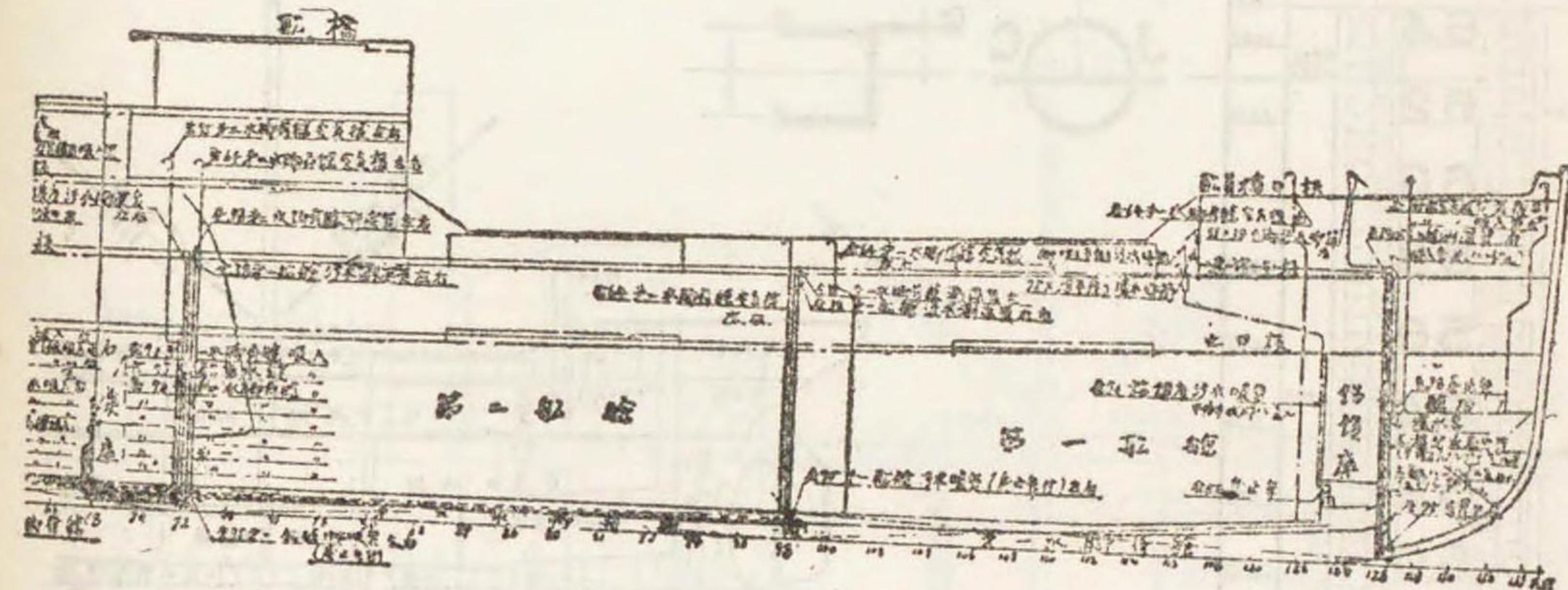


縮尺

五十五ノ三ノ七十三

河丸船體部

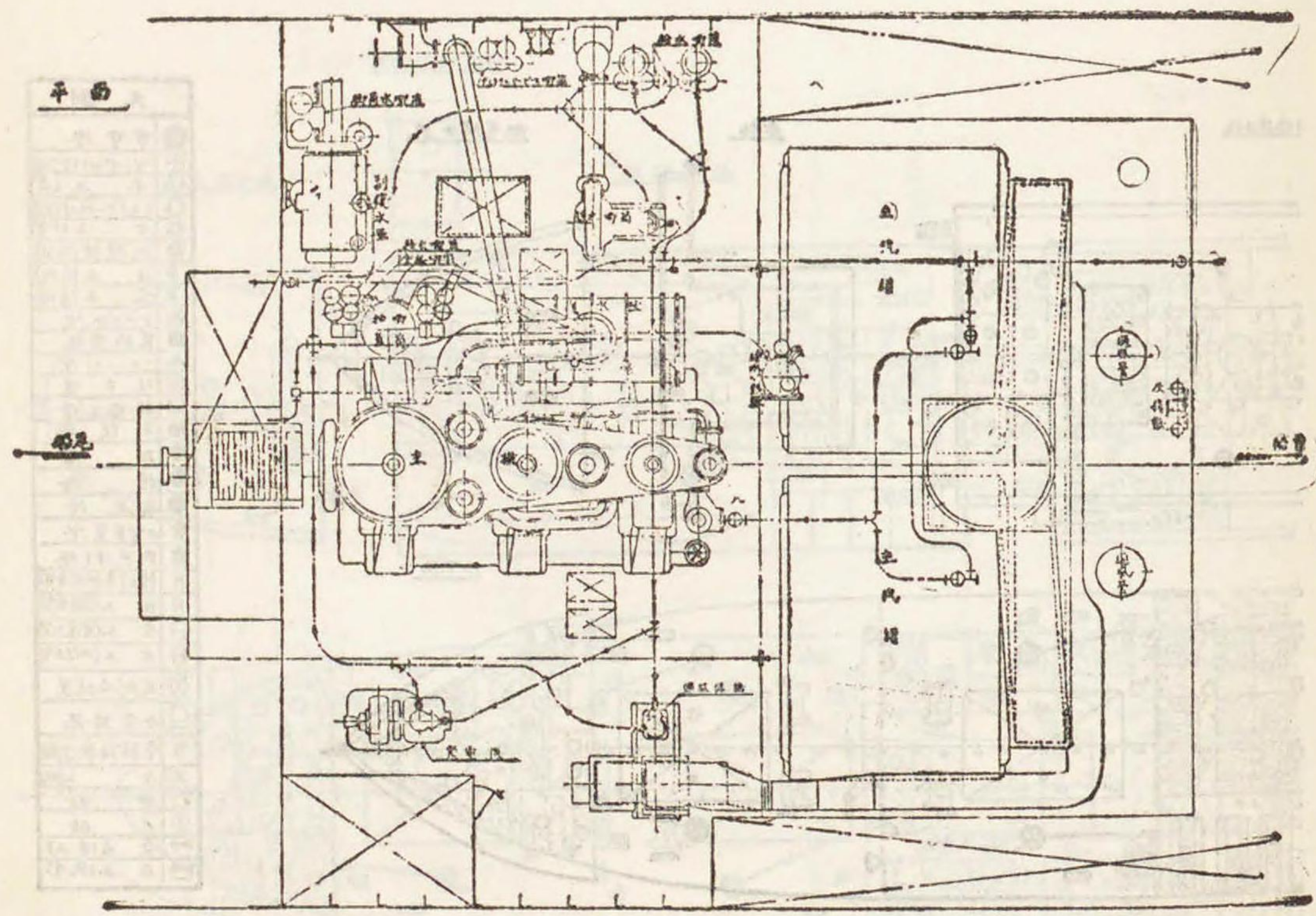
管配置圖



五十五ノ三ノ七十二

第一三八號 (三三三)



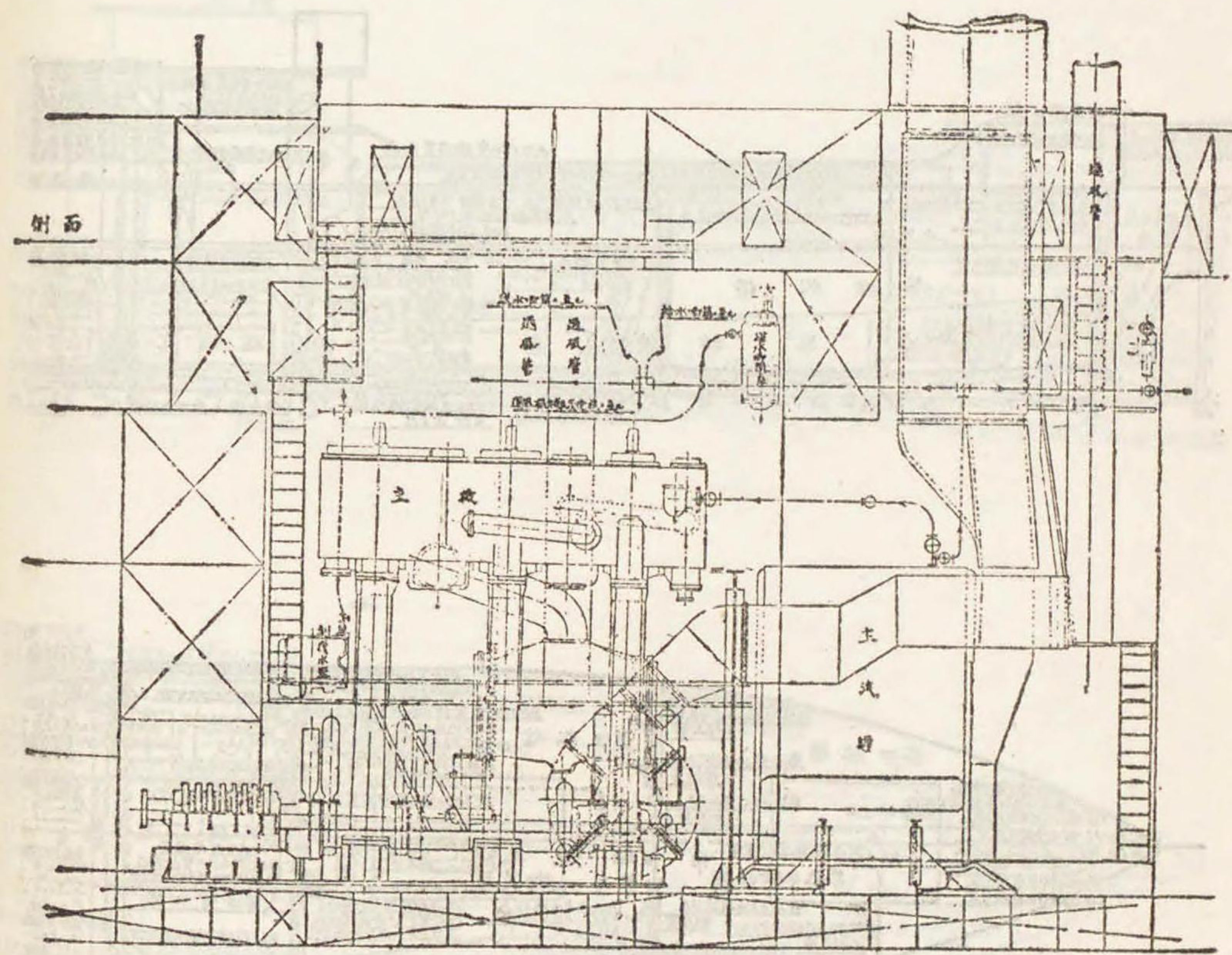


縮尺

五十五ノ三ノ七十五

第一三八號 (二五三三)

何丸機關一般配置圖

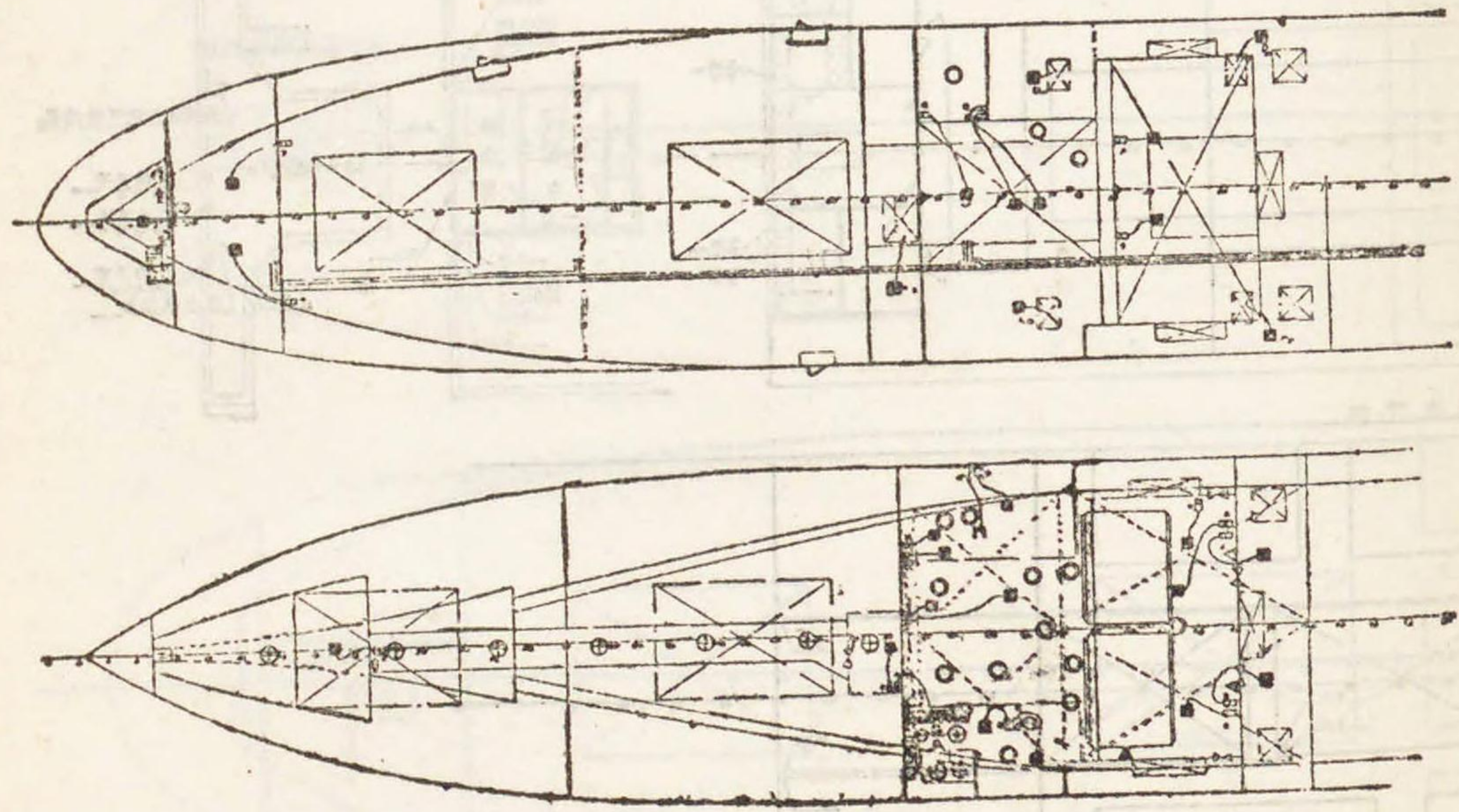


五十五ノ三ノ七十四

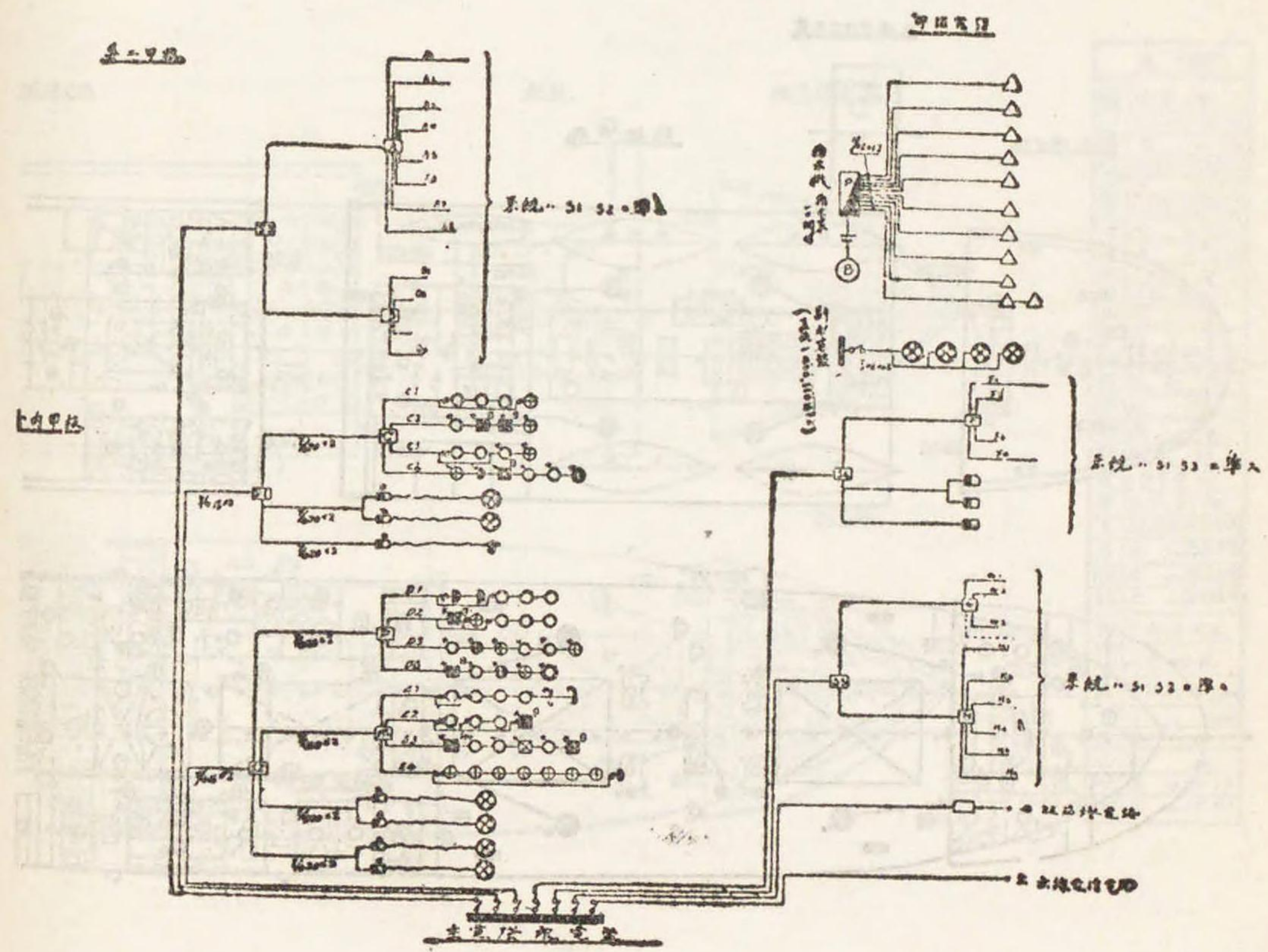








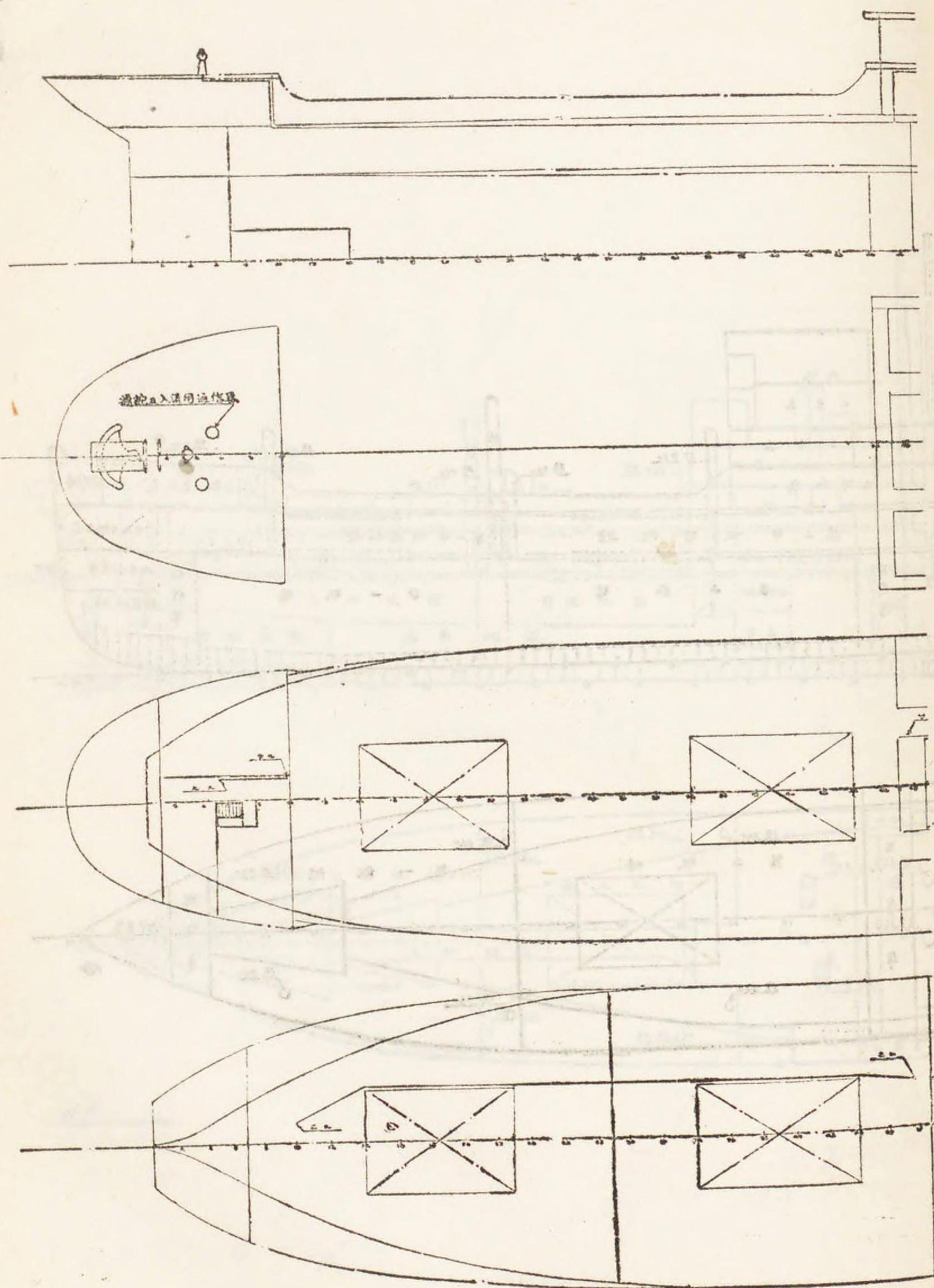
縮尺





何丸通信

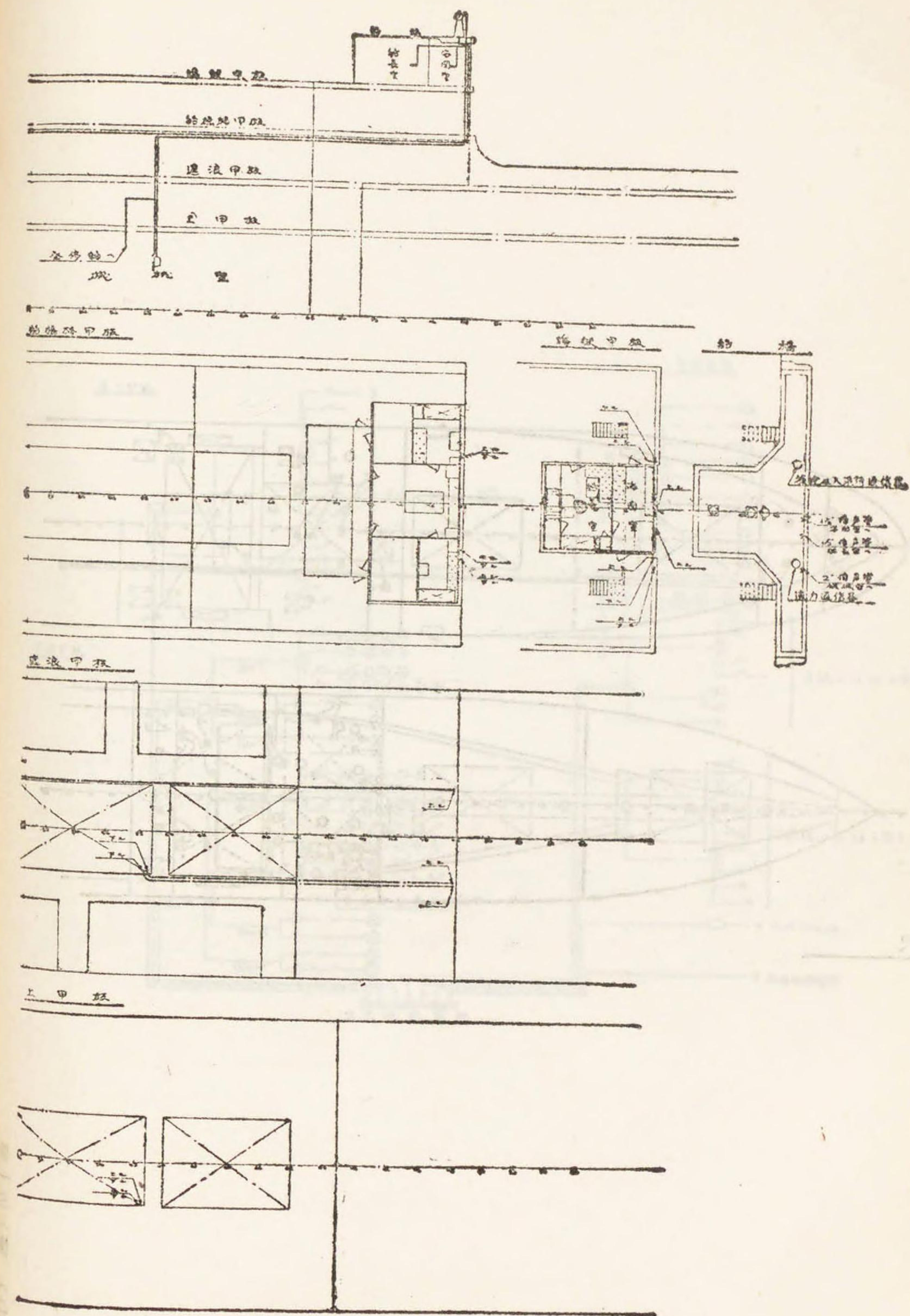
第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査



五十五ノ三ノ八十一

裝置圖

第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査 圖例第十五號

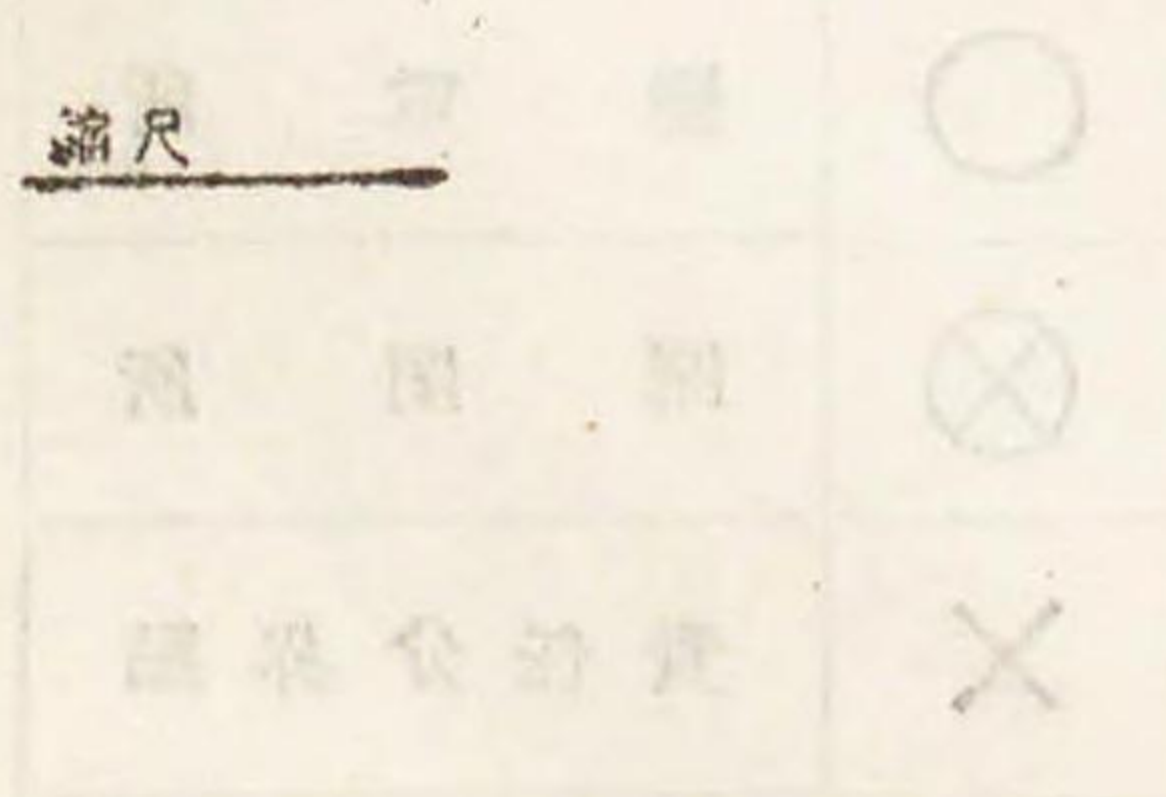
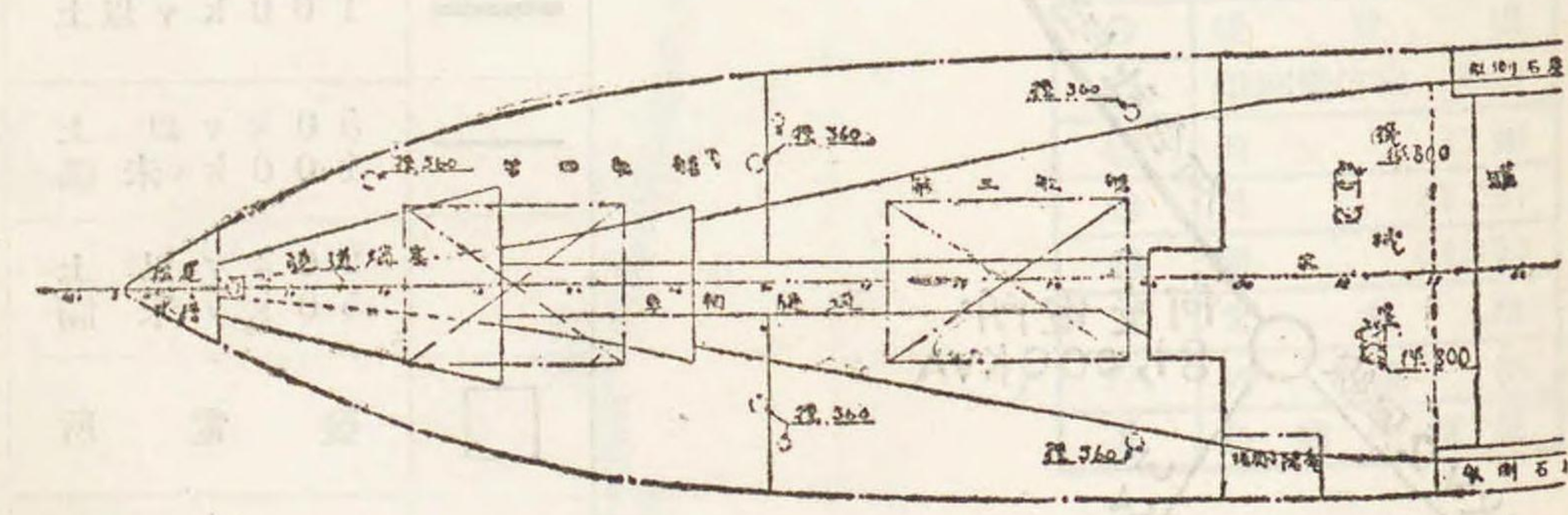
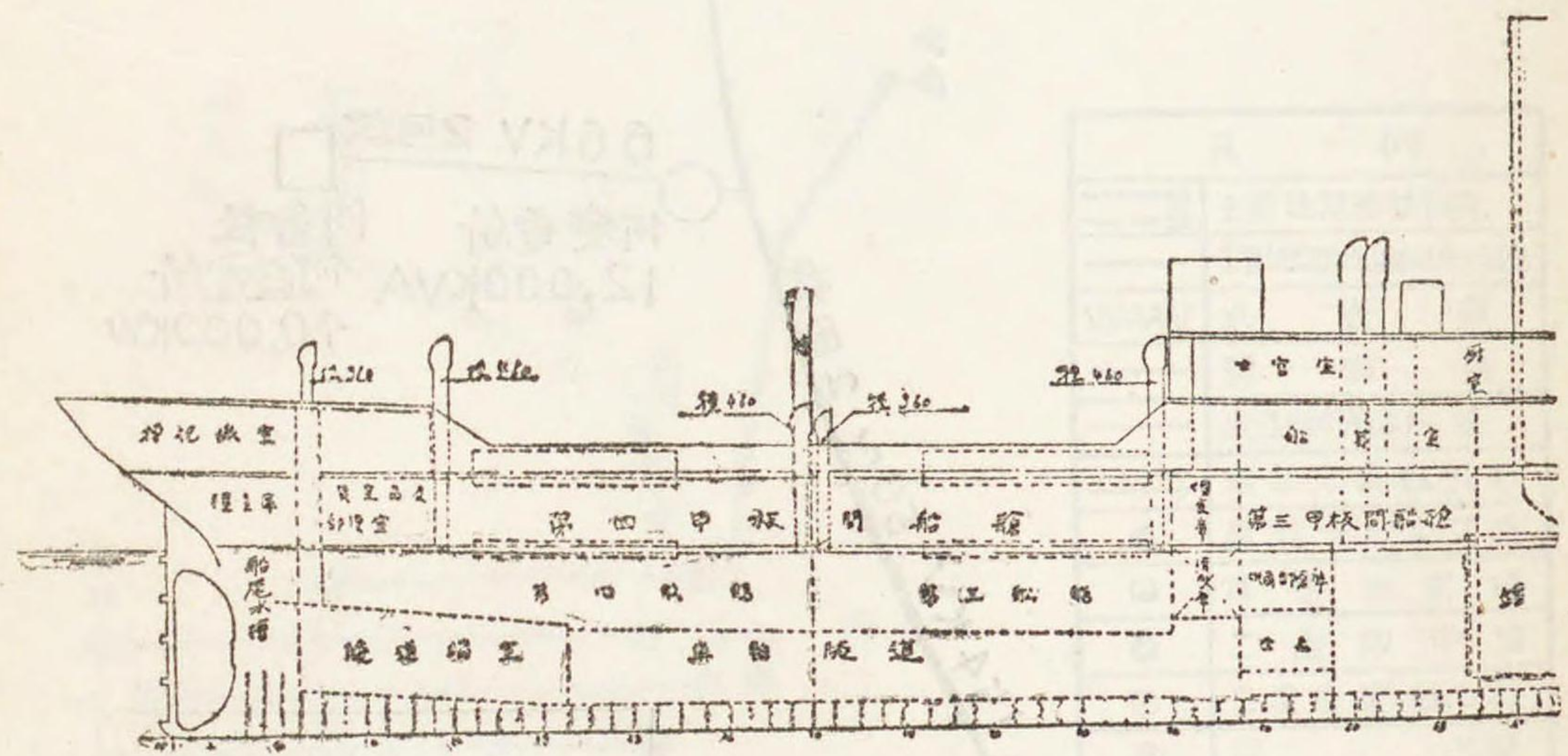


五十五ノ三ノ八十

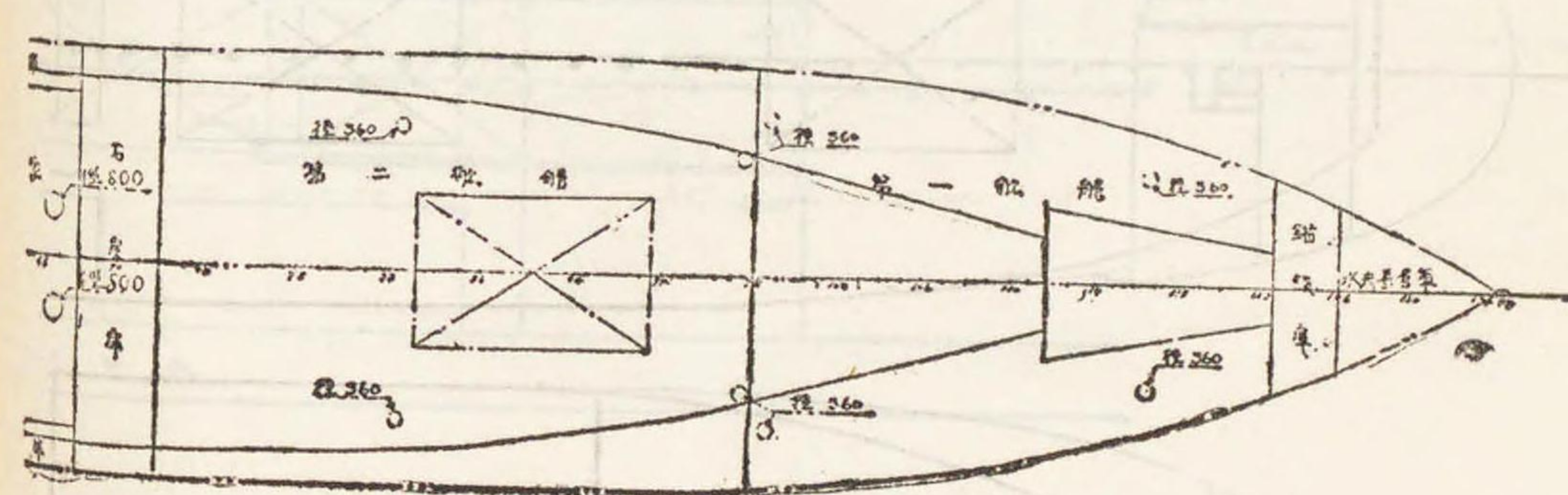
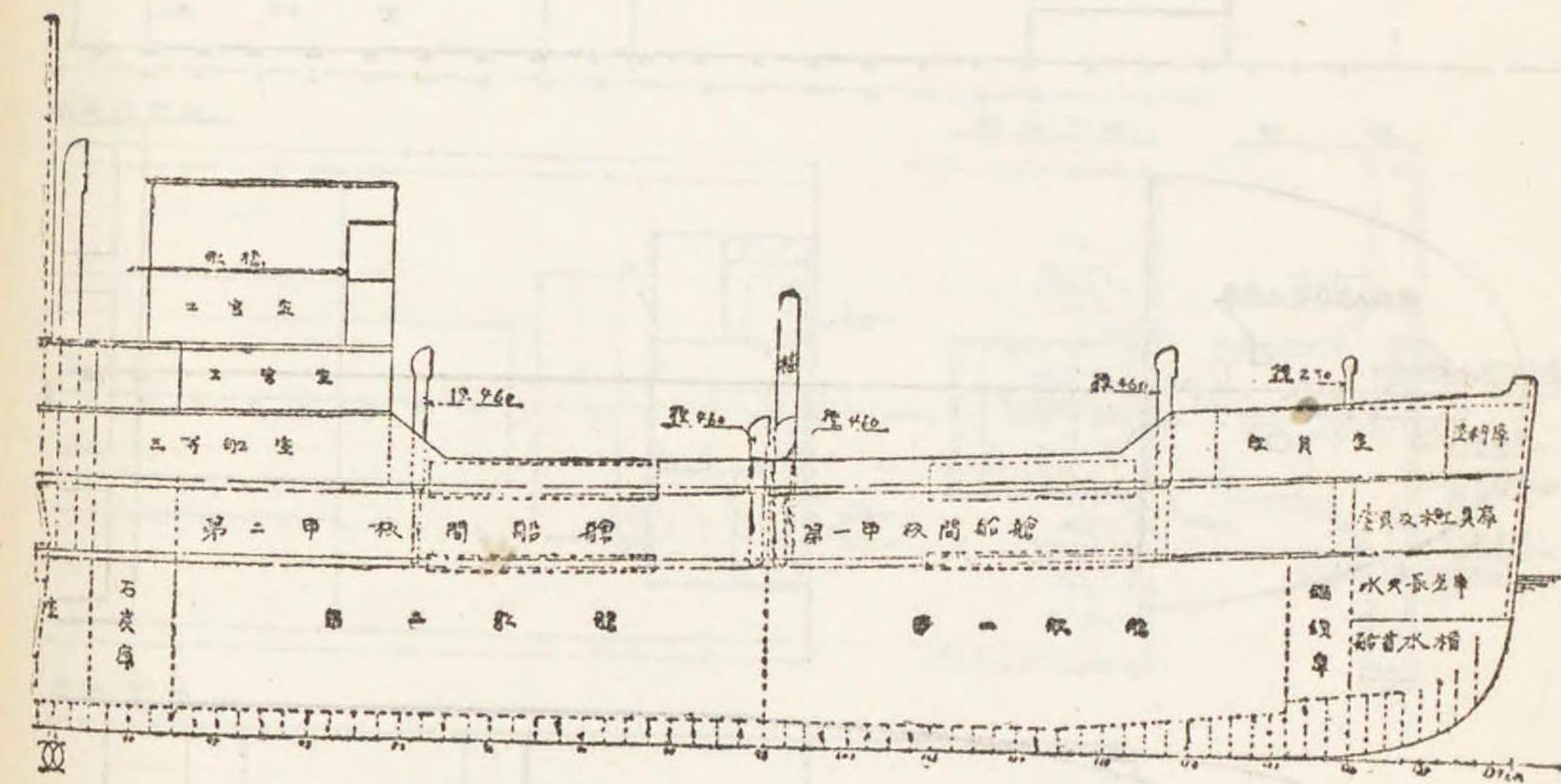
第一三八號 (二三六)



何丸通風



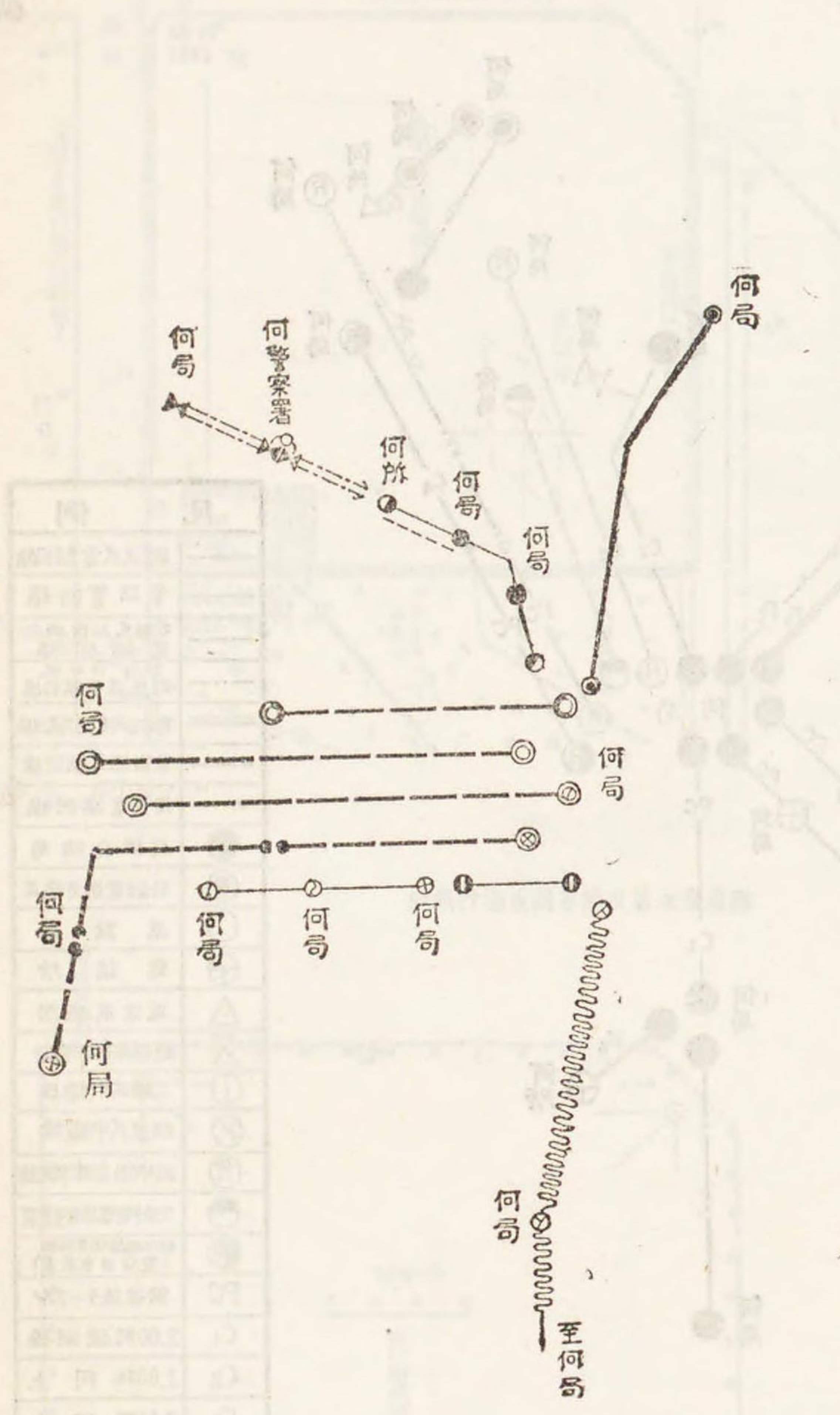
裝置圖





電信回線圖

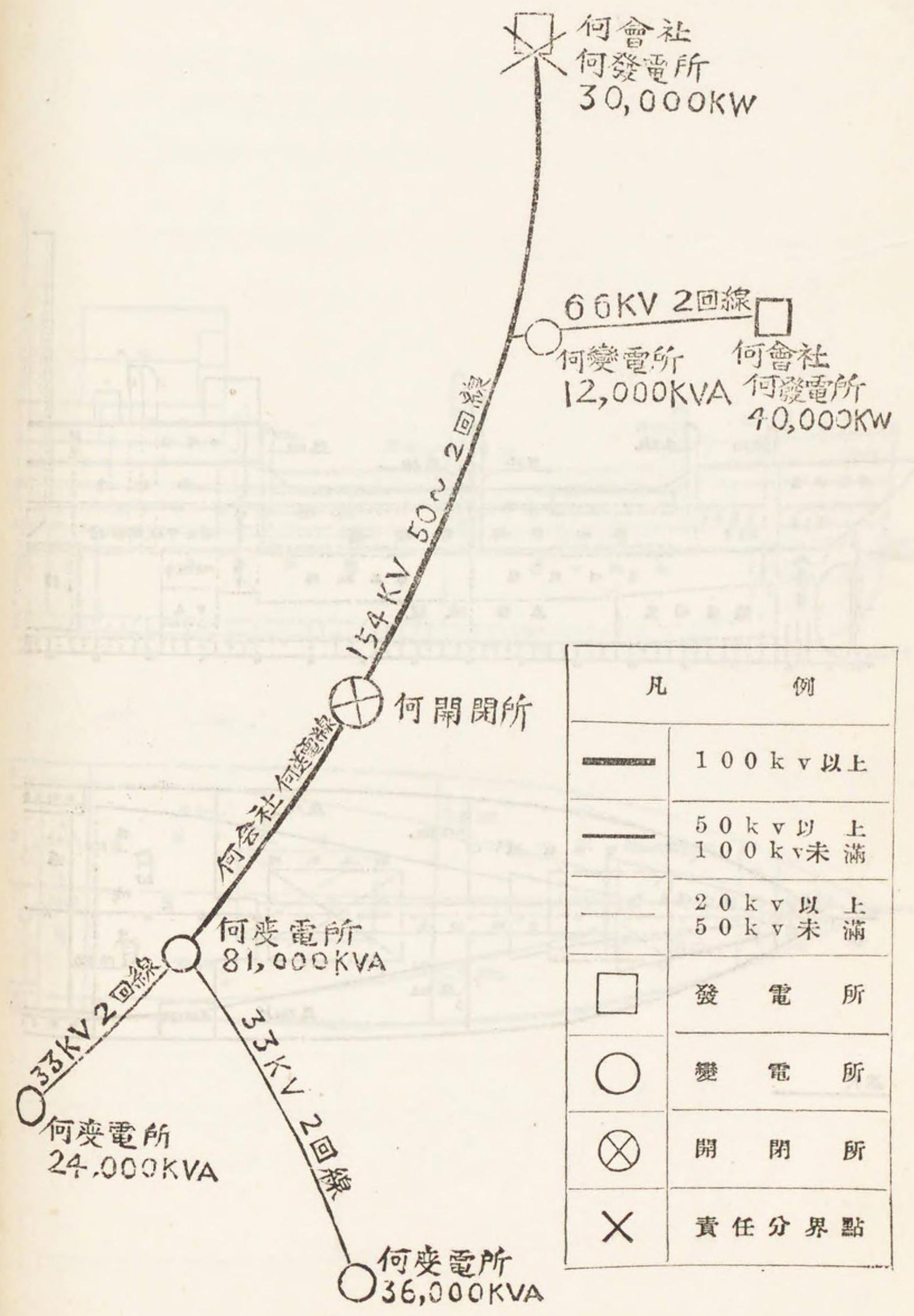
圖例第十八號



第一三八號 (二三八)

送電線路圖

圖例第十七號





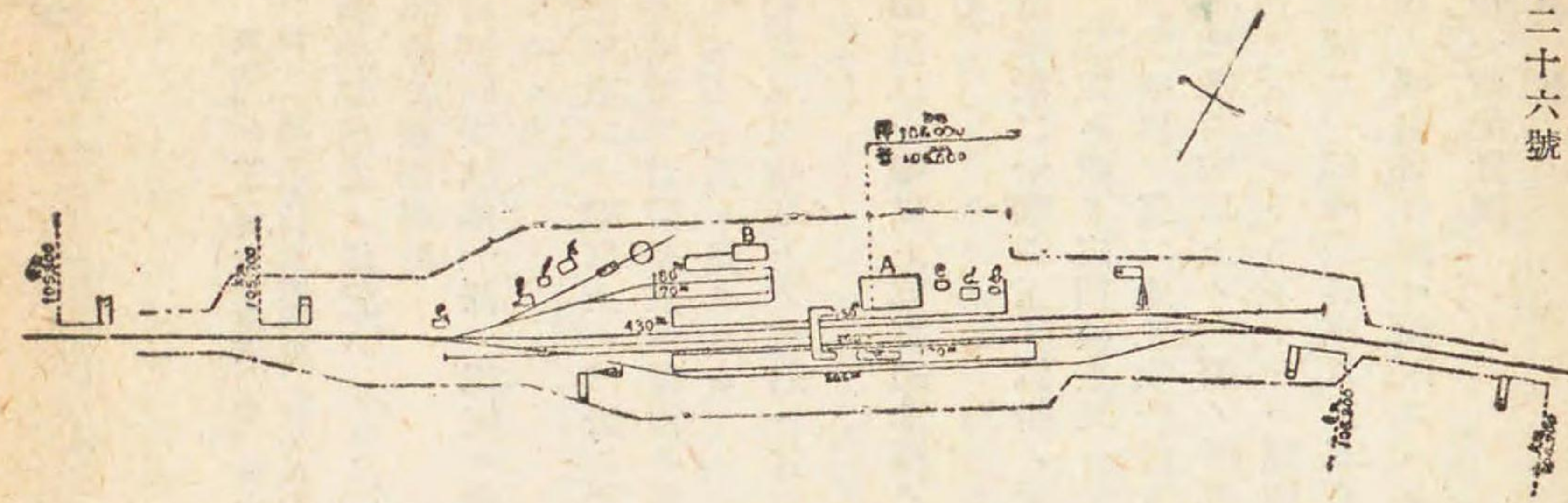








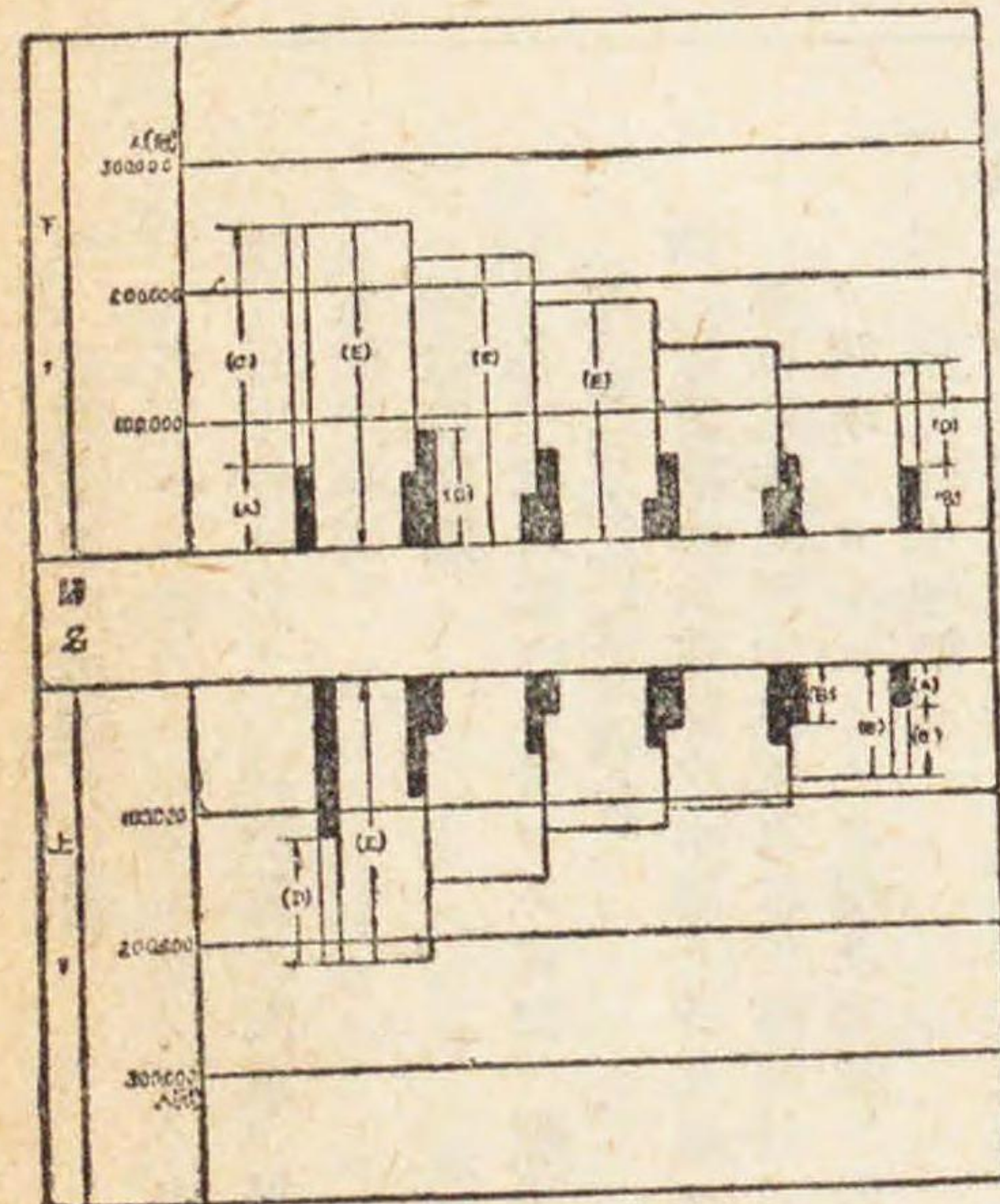
何線平面圖



縮尺

凡	例
本線	○
例線	○
停車場	A
場內信號機	B
場外信號機	C
出發信號機	D

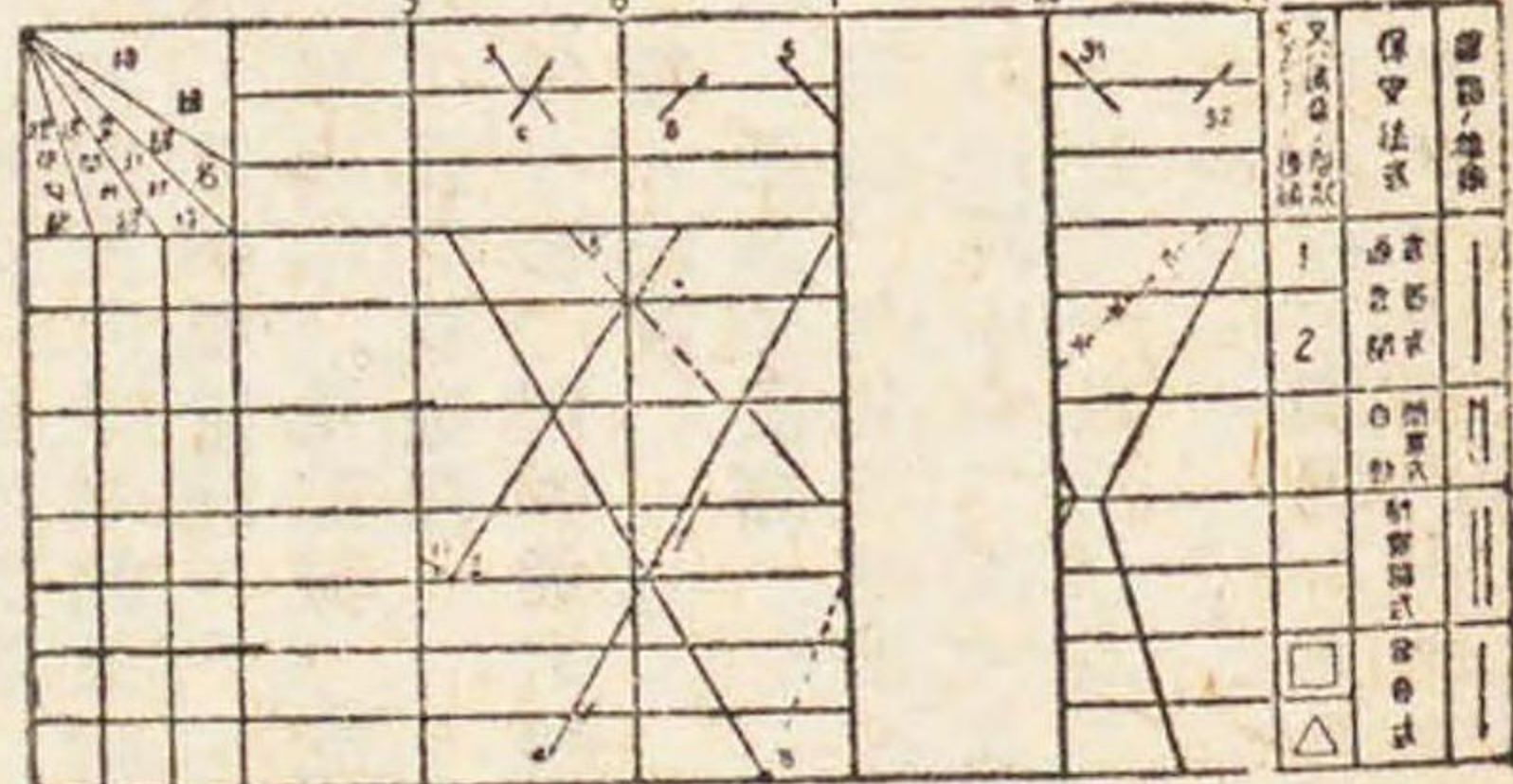
何線各站旅客(貨物)發着及通過數(圖)表



凡	例
(A)	出、發客數
(B)	出、發貨數
(C)	通過客數、通過貨數、通過車數、通過機車數
(D)	通過客數、通過貨數、通過車數、通過機車數
(E)	其數、通過機車數

圖例第二十八號

何線列車運行圖表

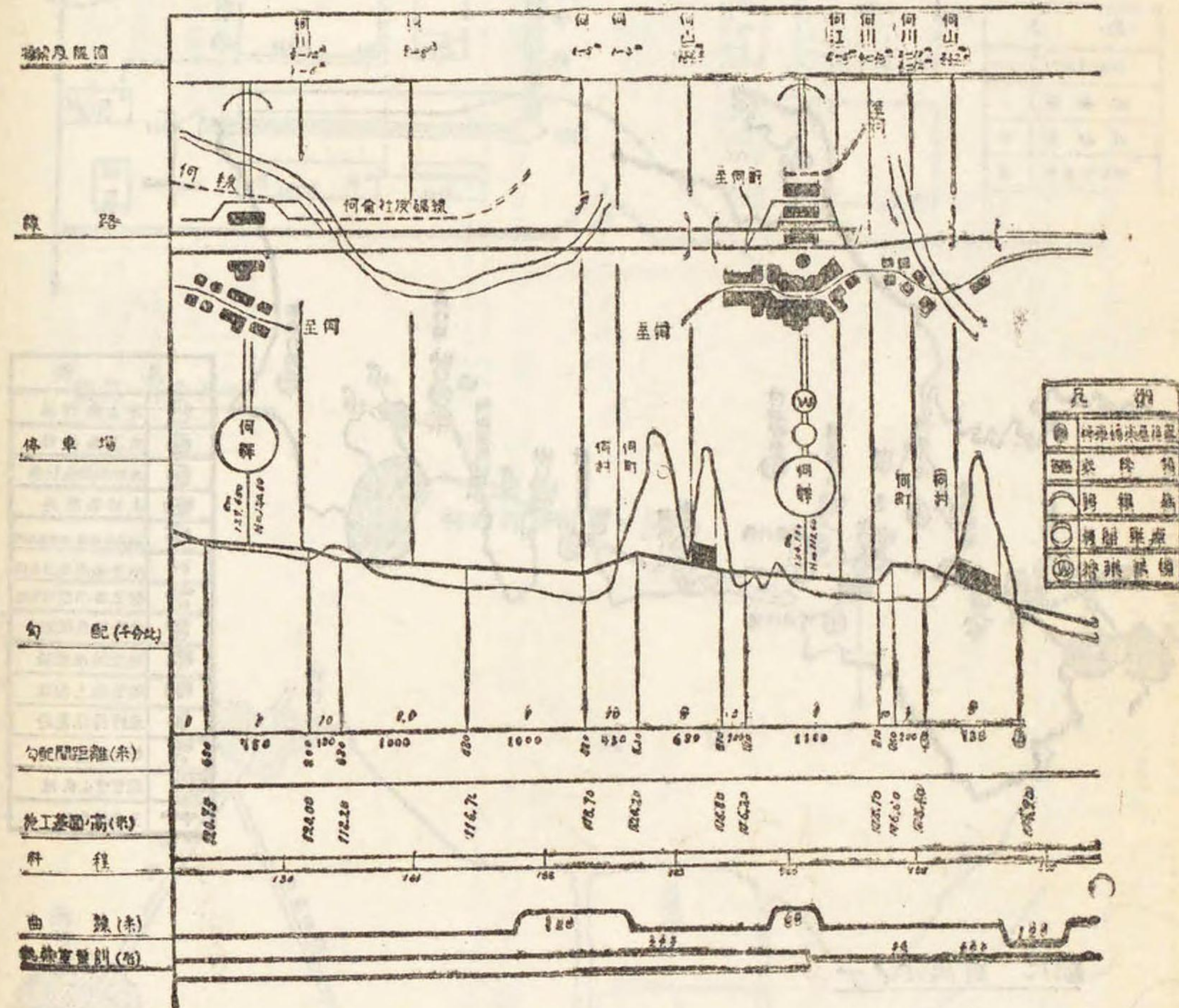


凡	例
( )	普通列車
○	特快列車
X	貨物列車
△	貨物專用列車
▽	旅客列車(特快)
—	普通列車(特快)
—	普通列車(普通)
—	貨物列車(普通)

圖例第二十七號

第二五六號

何線線路一般略圖



圖例第二十五號



● 海事資源調査規則

(昭和四年十一月二十七日) 逓信省令第四十八號

【沿革】 昭和十年十二月省令第五〇號、同十一年七月同第二四號、同年十月同第五〇號、同十二年九月同第六五號、同十四年六月同第二九號改正

海事資源調査規則左ノ通定ム

海事資源調査規則

- 第一條 資源調査法第一條ノ規定ニ依ル海事ニ關スル資源ノ調査ハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 總噸數二十噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ船長ハ左ノ各號ノ區別ニ從テ調査原票ヲ當該船舶ニ備付ケ其ノ記載事項ヲ當ニ船舶ノ現狀ニ對シテ應シタルモノト爲シ置クヘシ
  - 一 總噸數五百噸以上ノ汽船ニ付テハ第一號及第二號書式ニ依ル調査原票
  - 二 總噸數二十噸以上五百噸未滿ノ汽船ニ付テハ第三號書式ニ依ル調査原票
- 第三條 總噸數二十噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ船長ハ當該船舶ニ付船舶安全法ノ規定ニ依リ定期検査又ハ中間検査ヲ受ケントスルトキハ前條ニ依ル調査原票ノ寫ニ通テ報告書トシテ逓信大臣ニ提出スヘシ
- 第四條 總噸數百噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ船長ハ當該船舶ニ付初メテ定期検査ヲ受ケントスルトキハ總噸數五百噸以上ノ汽船ニ付テハ左ノ各號ノ船舶ヲ、總噸數百噸以上五百噸未滿ノ汽船ニ付テハ第一號ノ船舶ヲ前條ノ報告書各通ニ添附スヘシ
  - 一 船體一般配置圖
  - (1) 機裝

- (2) 夏期滿載吃水線ノ位置
  - (3) 各甲板及艙内ニ於ケル室、艙、庫等ノ配置
  - (4) 各甲板ニ於ケル諸設備ノ配置、揚貨機ノ力量並動力ノ力量及最大使用範圍
  - 二 船體容積圖
    - (1) 各甲板及艙内ニ於ケル貨物、燃料、食糧、水等ヲ搭載スル室、艙、庫等ノ位置及容積
    - (2) 空艙吃水及滿載吃水間ノ各吃水ニ於ケル載貨重量、排水重量、單位吃水差浮沈重量及單位縱傾斜力率ヲ示ス尺度(空艙狀態ニ於テ積載シタルモノノ名稱及重量ヲ附記スヘシ)
    - (3) 滿載吃水線標示
    - (4) 船體部諸管配置圖
    - (5) 水管、油管、汽管、氣管及附屬唧筒ノ配置
    - (6) 機關一般配置圖
    - (7) 機關室内諸機關及附屬諸管ノ配置
    - (8) 電線裝置圖
    - (9) 發電機、電動機、配電盤、白熱電燈、電線等ノ配置
    - (10) 通信裝置圖
    - (11) 傳令機、回轉通信機、回轉方向指示機、舵角指示機、傳聲管、電話等ノ配置
    - (12) 通風裝置圖
    - (13) 電動、汽動及機動通風裝置並自然通風器ノ配置
- 前項船圖中第二號(4)及(5)ニ付テハ二十五分ノ一以上、第四號ニ付テハ五十分ノ一以上、其ノ他ニ付テハ二百分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ之ヲ作成スヘシ
- 外國ニ於テ製造シタル汽船ニ付第一項第五號乃至第七號ノ船圖ヲ作成スルコト困難ナルトキハ其ノ事由ヲ具シ之ヲ添附テ省略スルコトヲ得
- 第五條 第二條ノ調査原票ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者又

- ハ船長ハ變更ヲ生シタル日ヨリ一月以内ニ其ノ事項ヲ記載シタル報告書ニ通テ逓信大臣ニ提出スヘシ前條第一項ノ規定ニ依リ提出シタル船舶ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ
- 第六條 總噸數二十噸以上ノ汽船ヲ沈没シ若ハ行方不明トナリ又ハ之ヲ外國人ニ讓渡シ若ハ解散シタルトキハ所有者ハ其ノ事實並發生年月日ヲ具シ逓信大臣ニ報告スヘシ
- 第七條 總噸數二十噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ賃借人ハ第四號書式ニ依リ其ノ使用船員ノ員數、給與及兵役關係等ニ付毎年十二月末日ノ狀況ニ基キ報告書三通(平水區域ヲ航行區域トスル汽船ニ付テハ一通)ヲ作成シ翌年二月末日迄ニ之ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ
- 第八條 總噸數千噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ賃借人ハ毎年四回左ノ各號ノ事項ヲ具シタル報告書三通ヲ作成シ夫々一月二十日、四月二十日、七月二十日及十月二十日迄ニ之ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ
  - 一 船名及總噸數
  - 二 所有者及賃借人又ハ期間備船者ノ住所及氏名又ハ名稱
  - 三 其ノ月一日正午ニ於ケル船舶ノ位置及狀態(航行、碇泊、繫船及入渠等ノ事實)
  - 四 前三月間ニ於ケル船舶ノ運航狀況
    - (1) 起點港、終點港並主要寄港地名及其ノ入出港ノ月日
    - (2) 検査、入渠又ハ繫船等運航障害ノ有無及其ノ期間並發生ノ場所
- 第九條 逓信大臣ノ特ニ指定スル汽船ノ所有者、賃借人又ハ期間備船者ニシテ現ニ其ノ船舶ヲ使用スル者ハ毎月一回左ノ各號ノ事項ヲ具シタル報告書三通ヲ作成シ其ノ月二十日迄ニ之ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ

- 一 船名及總噸數
- 二 所有者及賃借人又ハ期間備船者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 三 翌月一日ニ於ケル見込位置及狀態(航行、碇泊、繫船又ハ入渠等) 翌月中ノ使用見込航路(發航地、仕向地及主要寄港地名)及検査、入渠又ハ繫船等運航障害ノ見込並其ノ期間及場所
- 前項ノ場合ニ於テ賃借人又ハ期間備船者カ日本ニ住所又ハ營業所ヲ有セザルトキ又ハ外國人ナルトキハ前項ノ報告書ハ船舶所有者ニ於テ之ヲ提出スヘシ
- 定期航海ニ使用スル汽船ニ付テハ發着豫定表ヲ以テ第一項ニ定ムル報告書ニ代フルコトヲ得
- 第九條ノ二 逓信大臣ノ特ニ指定スル場合ニ於テハ總噸數千噸以上ノ汽船ノ所有者、賃借人又ハ期間備船者ニシテ現ニ其ノ船舶ヲ使用スル者ハ毎月一回左ノ各號ノ事項ヲ具シタル報告書三通ヲ作成シ毎月五日、十五日及二十五日迄ニ之ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ報告書ハ之ヲ提出スルコトヲ要セス
  - 一 船名及總噸數
  - 二 所有者及賃借人又ハ期間備船者ノ住所及氏名又ハ名稱
  - 三 各翌旬ノ第一日ニ於ケル見込位置及狀態(航行、碇泊、繫船又ハ入渠等)
  - 四 各翌旬中ニ於ケル使用見込航路(發航地、仕向地及主要寄港地名)及検査、入渠又ハ繫船等運航障害ノ見込並其ノ期間及場所
- 前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第十條 總噸數二十噸以上ノ汽船ヲ以テ定期航海ヲ營ム者ハ毎年十月末日ノ狀況ニ基キ左ノ各號ノ事項ヲ具シタル報告書三通ヲ作成シ其ノ年



十一月末日迄ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

- 一 航路
- (イ)起點港 (ロ)寄港地 (ハ)終點港
- 二 使用船舶ノ名稱及總噸數
- 三 航海回數

前項ノ定期航海ヲ開始、變更又ハ廢止シタル者ハ其ノ旨遲滞ナク遞信大臣ニ報告スヘシ

前二項ノ規定ハ遞信大臣ノ命令ニ依ル航海ニ之ヲ適用セス

第十一條 總噸數千噸以上ノ汽船ヲ以テ水上運送業ヲ營ム者ハ營業期ノ定メアルモノニ付テハ每營業期、其ノ定メナキモノニ付テハ毎年十二月末日ニ終ル一年間ノ營業報告書ヲ作成シ當該期間終了後二月以内ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

前項ノ報告書ニハ第一回提出ノ際ニ限リ會社ニ在リテハ定款、組合ニ在リテハ組合契約ヲ添付スヘシ

第十二條 前條ノ運送業ヲ開始シタル者ハ會社ニ在リテハ定款、組合ニ在リテハ組合契約ヲ添ヘ遲滞ナク左ノ事項ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ

- 一 資本金及拂込資本金
- 二 所有船舶ノ名稱及總噸數

前項ニ依ル手續ヲ爲シタル運送業者ニハ前條第二項ノ規定ヲ適用セス

第十三條 前二條ノ規定ハ遞信大臣ノ命令ニ依ル航海ヲ營ム者並航路統制法施行規則第三條及第四條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ス者ニ之ヲ適用セ

前項ノ規定ハ外國造船所ニ注文シタル汽船ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ二 前條ニ依ル場合ヲ除クノ外總噸數千噸以上ノ外國汽船ノ讓渡ヲ受ケ、之ヲ賃借シ、之ニ抵當權ヲ設定シ又ハ其ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル者ハ契約成立後一月以内ニ該契約書ヲ寫シ添ヘ當該船舶ノ就航方面ヲ記載シタル報告書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第十七條 收容人員十人以上ニシテ主トシテ船員ノ爲ニスル宿泊所ヲ經營スル者ハ第四號書式ノ二ニ依リ毎年十二月末日ノ狀況ニ基キ報告書ヲ作成シ翌年二月末日迄ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

前項ノ報告書ニハ法人又ハ團體ニ在リテハ定款又ハ之ニ準スヘキ約款及資産ノ狀況並理事其ノ他ノ代表者ノ氏名、本籍及住所ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ但シ前同ノ報告ニ變更ナキトキハ此ノ限ニ在ラス 第一項ニ該當スル船員宿泊所ヲ開始シタル者ハ第四號書式ノ二ニ記載シタル事項ヲ具シ又之ヲ廢止シタル者ハ其ノ旨遲滞ナク遞信大臣ニ報告スヘシ

第十八條 總噸數百噸以上ノ鋼船ノ製造設備ヲ有スル造船業者及總噸數百噸以上ノ船舶ノ入渠又ハ上架設備ヲ有スル造船業者ハ第六號書式(イ)乃至(ニ)ニ依リ、其ノ他ノ造船業者ニシテ總噸數二十噸以上ノ船舶ノ製造設備ヲ有スルモノハ第六號書式(ハ)ニ依リ工場毎ニ工場及其ノ設備等ニ付毎年十二月末日ノ狀況ニ基キ報告書二通ヲ作成シ翌年二月末日迄ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第十九條 總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ製造スル者及百馬力以上ノ船舶用機關ヲ製造スル者ハ工場毎ニ第六號書式ノ二(イ)乃至(ニ)ニ依リ其ノ月ノ狀況ヲ翌月七日迄ニ遞信大臣ニ報告スヘシ

第十四條 第十一條ノ運送業者ハ第五號書式ニ依リ毎年十二月末日ニ終ル一年間ニ於ケル貨物及旅客ノ國際運輸ノ狀況ヲ翌年三月末日迄ニ遞信大臣ニ報告スヘシ但シ航路統制法施行規則第三條第一項ニ依ル届出ヲ爲ス者ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 外國人ニ對シ總噸數千噸以上ノ日本船舶ヲ讓渡シ、賃貸シ、擔保ニ供シ又ハ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル者ハ契約成立後一月以内ニ左ノ各號ノ事項ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ

- 一 船舶ノ種類、名稱及總噸數
- 二 讓受人、賃借人、抵當權者又ハ備船者ノ國籍、住所及氏名又ハ名稱
- 三 賣買價格、賃貸料、擔保債權額又ハ備船料
- 四 賃貸ノ場合ニ在リテハ其ノ期間、擔保ニ供スル場合ニ在リテハ債務ノ辨濟期、船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ在リテハ其ノ契約
- 五 船舶引渡ノ時期及場所

第十六條 總噸數二十噸以上ノ外國汽船ヲ購入シタル者ハ第四條ニ依ルノ外別ニ契約成立後一月以内ニ左ノ各號ノ事項ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ

- 一 船舶ノ種類、名稱及總噸數
- 二 賣渡人ノ國籍及氏名又ハ名稱
- 三 購入ノ目的
- 四 購入價格
- 五 引渡ノ時期及場所

第二十條 總噸數百噸以上ノ鋼船ノ製造設備ヲ有スル造船業者及總噸數百噸以上ノ船舶ノ入渠又ハ上架設備ヲ有スル造船業者ニシテ營業期ノ定メアルモノニ付テハ每營業期、其ノ定メナキモノニ付テハ毎年十二月末日ニ終ル一年間ノ營業報告書ヲ作成シ當該期間終了後二月以内ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

前項ノ報告書ニハ第一回提出ノ際ニ限リ會社ニ在リテハ定款、組合ニ在リテハ組合契約ヲ添付スヘシ

第一項ノ造船業者カ其ノ業務ヲ開始又ハ廢止シタルトキ又ハ定款若ハ組合契約ヲ變更シタルトキハ其ノ旨遲滞ナク遞信大臣ニ報告スヘシ

第二十一條 總噸數百噸以上ノ鋼船ノ製造設備ヲ有スル造船業者及總噸數百噸以上ノ船舶ノ入渠又ハ上架設備ヲ有スル造船業者ハ工場毎ニ第七號書式ニ依リ毎月末日現在ニ於ケル従業員ノ員數及當該一月間ノ職工就業時間並賃金ヲ翌月七日迄ニ遞信大臣ニ報告スヘシ

第二十二條 本令ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ提出スヘキ報告書ニシテ第三條及第五條ニ依ルモノニ付テハ船舶安全法ノ規定ニ依リ検査ヲ申請スヘキ管海官廳(第五條ノ場合ニ於テ變更事項ニ付検査ヲ受ケサルトキハ最寄管海官廳)ヲ經由スヘシ

前項ノ外遞信大臣ニ提出スヘキ報告書ニシテ第六條及第七條ニ依ルモノニ付テハ船舶ノ船籍港、第八條、第十條乃至第十二條、第十四條乃至第十六條及第二十條ニ依ルモノニ付テハ運送業者又ハ造船業者ノ住所又ハ主ナル營業所ノ所在地、第十七條ニ依ルモノニ付テハ宿泊所ノ



第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査

五十五ノ三ノ九十六

所在地、第十八條及第二十一條ニ依ルモノニ付テハ造船工場所在地、第十九條ニ依ルモノニ付テハ船舶ノ製造地ヲ管轄スル逓信局長ヲ經由スヘシ

附則

本令ハ昭和四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
海軍届出規則ハ之ヲ廢止ス

軍需調査令第十二條及第十三條ノ規定ニ依リ提出シタル船圖ニシテ本令第四條第二項第一號乃至第四號ニ相當スルモノノ記載事項ニ著シキ變更ヲ生シタルトキハ所有者ハ遲滞ナク本令第五條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘシ

附則 (昭和十年十二月逓信省令第五〇號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

本令施行ノ際現ニ總噸數千噸以上ノ外國汽船ヲ賃借シ、之ニ抵當權ヲ設定シ又ハ其ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲ス者ハ本令施行後一月以内ニ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘシ

附則 (昭和十一年十月逓信省令第五〇號)

本令ハ昭和十一年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
從前ノ規定ニ依リ提出シタル船圖ニシテ本令第四條第一項第一號乃至第四號ニ相當スルモノノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者又ハ船長ハ本令第五條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘシ軍需調査令第十二條及第十三條ノ規定ニ依リ提出シタル船圖ニ付亦同シ  
船舶ノ用途、船體、機關、設備、積載力等ニ付テノ報告及之カ變更ノ報告ニ付テハ船舶所有者當該船舶ニ付本令施行後最初ノ定期検査又ハ中間検査ヲ受ケル迄ハ仍從前ノ規定ニ依ル

第一號書式

海軍省國勢調査 總噸數五百噸以上ノ汽船調査票  
規則ニ依ル

新造 購入 變更 (1)  
昭和 年 月 日現在

船名	汽船	丸 (假名ヲ付スヘシ)	所有者ノ住所及 氏名又ハ名稱 借入人ノ住所及 氏名又ハ名稱	信號符字	排水量 (満載吃水ニテ)	航速 (1時間内)	節
	船籍港		船舶番號	最強速力	噸	級船	航行區域
總噸數	噸	噸	噸	格	第	級船	航行區域
用途	噸	噸	噸	格	第	級船	航行區域

總二二二二

使用航路	(3)	進水	年月日	主汽機	年月日	主機	年月日								
製造年月日	進水	年月日	主汽機	年月日	主機	年月日	年月日								
製造所名及其ノ所在地	船體	昭和	年月日	證書有効期間	自昭和	年月日	最近出渠シタル年月日								
最近定期又ハ中間検査終了シタル年月日	船體	昭和	年月日	主汽機	自昭和	年月日	最近出渠シタル年月日								
材料	(4)	長さ	米	(5)	構造種類	(7)	二重底ノ位置及長さ	甲板層數	(3)	支水隔壁ノ數	(8)	特殊構造	(10)	機艙室ノ位置	機
吃水	船	深サ	米	均	船機種類	(11)	船首形	(9)	甲板層數	(3)	支水隔壁ノ數	(8)	特殊構造	(10)	機
空艙	船	深サ	米	均	船機種類	(11)	船首形	(9)	甲板層數	(3)	支水隔壁ノ數	(8)	特殊構造	(10)	機
乾舷	船	深サ	米	均	船機種類	(11)	船首形	(9)	甲板層數	(3)	支水隔壁ノ數	(8)	特殊構造	(10)	機
主汽機	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米
補助汽機	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米
發動機	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米
推進器	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米
推進器	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米
推進器	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米
推進器	種類	數	制限汽壓	延	平方種	直徑及長さ	耗	總受熱面積	平方米	總火床面積	平方米	總火床面積	平方米	總受熱面積	平方米















- (17)床敷 客棚等ノ場合ハ其ノ段數及面積ヲ記入スヘシ
- (18)「ソ」一ヲ「J」數 長サ1.80米幅0.60米以上ノモノヲ記入スヘシ
- (19)定員 旅客定員ハ船舶検査證書ニ依ルヘシ
- (20)名稱 各等級別ニ食堂、談話室、喫煙室、讀書室等ヲ記入スヘシ
- (21)便所ノ數 大便所、小便所ノ數ヲ記入スヘシ
- (22)容積 端艇ニ表示シタルモノヲ記入スヘシ
- (23)水槽 船體ト別體ノモノヲ記入スヘシ
- (24)兼用搭載物 常用搭載物以外ノ物ヲ搭載シ得ル装置アル場合其ノ搭載物ノ名稱ヲ記入スヘシ
- (25)甲板ノ材料 鋼甲板ニ木甲板アルモノハ鋼及木ト記入スヘシ
- (26)面積 船口、室、揚貨機等ヲ除キタルモノヲ記入スヘシ
- (27)搭載シ得ル船舟ノ數 船舟ノ長サ10.20米幅2.10米重量2噸トシ之ヲ搭載シ得ル(船口ヲ除ク)場合ニ記入スヘシ但シ端艇鈎及揚貨機ニハ無關係トス
- (28)戸口 船體ノ前後端壁ニアルモノヲ記入スヘシ
- (29)容積 内容積及外容積ヲ記入スヘシ
- (30)船底内張ノ有無 船口直下等一部分ノミニ有ル場合ハ其ノ旨ヲ併セ記入スヘシ
- (31)設置シ得ル艇棚數 艇棚數ハ兵員ノミヲ搭載スル場合ヲ假定シテ算定スヘシ
  - (一)艇棚ハ3.34平方メートル一箇トシテ計算スヘシ
  - (二)艇棚ハ其ノ短邊ヲ1.82米、2.74米又ハ3.65メートル右圖ノ例ニ依リ配置スルモノトス
  - (三)甲板間ノ高サ1.82米以上ナルトキハ艇棚ハ二段ニ設クルモノトシテ計算スヘシ
  - (四)艇棚ヲ二列以上ニ設クルトキハ各列間ニ0.73米以上ノ通路ヲ要ス
- (32)設置シ得ル馬欄數 馬欄數ハ馬匹ノミヲ搭載スル場合ヲ假定シテ算定スヘシ 此ノ場合ニ於テハ艇棚數ヲ算定シタル室

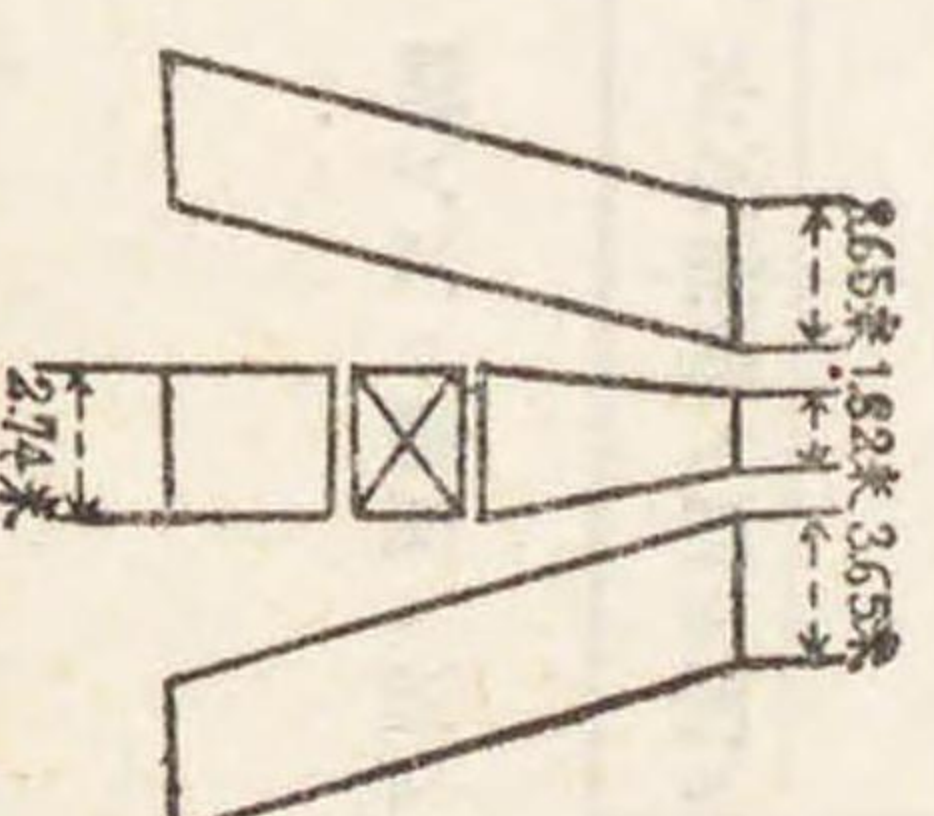


圖 11111 號

ニ付テモ直線シテ算定スヘシ

(一)馬欄ハ長サ2.43米幅0.91米ヲ一箇トシテ計算スヘシ

(二)第二甲板、第三甲板又ハ船内ニ馬欄ヲ設置スルニハ甲板間ノ高サ2.10米以上ナルコトヲ要ス

(三)馬欄ハ縱軸ニ直角ニ設置シ二列ナルトキハ中央ニ幅1.21米以上ノ通路ヲ剩シテ馬首ヲ相對セシメ三列ナルトキハ二列ノ馬首ヲ以テ相對セシメ其ノ中央ニ幅1.21米以上ノ通路ヲ中央ノ馬欄ノ後端(馬尾ノ方)ト舷側ノ馬欄トノ間ニ幅0.91米以上ノ通路ヲ剩シ四列ナルトキハ各二列ノ馬欄ヲ馬首ヲ以テ相對セシメ其ノ各ノ馬首相對スル馬欄ノ中央ニ幅1.21米以上ノ通路ヲ剩スモノトス此ノ場合ニ於テ馬尾相接スル中央二列ノ馬欄間ニハ通路ヲ要セス

(四)第二甲板以下ニ馬匹ヲ搭載スルニハ船口ノ長サ幅共2.43米以上ナルコトヲ要ス

※本欄ノ記載ハ取扱管海官廳ニ於テ行フモノトス

海事資源調査總噸數二十噸以上五百噸未満ノ汽船調査原票  
規則ニ依ル

新造 | 購入 | 變更 (1) | 昭和 | 年 | 月 | 日 | 現在

第三號書式

船名	汽船 (振假名ヲ附スヘシ)	丸		所有者ノ住所及 氏名又ハ名稱 借入人ノ住所及 氏名又ハ名稱		信號符字	信 格 第 級 節 節 節 節							
		船 船 番 番 號 號	噸 噸 數 數	噸 噸 數 數	噸 噸 數 數									
總噸數	噸	純噸數	噸	噸	噸	噸	噸							
航行區域	用	途	(旅客船、貨物船、曳船等又漁船ニ在リテハ業務ノ種類)											
使用航路	(航路名稱、發航地、寄港地及到達地又ハ主トシテ航行スル區域)													
製造年月日	進水	年	月	日	主汽機	年	月	日						
製造所名及 其所在地	船體	主汽機		年	月	日	主機	年	月	日				
最近定期又ハ中間検査 終了シタル年月日	昭和	年	月	日	證書有間	自昭和	年	月	日	最近出帆シ タル年月日	昭和	年	月	日



船	材	料	構造種類 <sup>(2)</sup>	甲板層數	支壁	水ノ隔數	平均	平均
	尺	度 <sup>(3)</sup>	長サ 米 幅 米 深サ 米	吃水 米	船首 米	船尾 米	平均	平均
體	單底二重底ノ別	一ノ別 <sup>(4)</sup>	橋ノ高サ 米	前橋 米	正橋 米	水	空	船首 米
機	主	汽	種類	數	制限汽壓	汽ノ平方種	直徑及長サ	計畫
	汽	機	種類	數	實(軸)馬力	最大	計畫	總受熱面積
	發	動	機	種類	型式	數	軸馬力	最大
	推	進	器	材料	種類	數	發	電
關	航海速力ニテ航行スル場合ニ於ケル一日ノ消費量		燃料	種類	數	電	機	電
	過去一年間ニ於ケル燃料消費量		石炭	噸	重油	噸	輕油	噸
設	無線電信機	方式	送	信	機	受	信	機
		長	波	用	短	波	用	長
備	旅客定員	一等	二等	三等	冷藏庫容積	立方米	端艇釣ノ組數	立方米
		艇	救命艇	數	容積 <sup>(5)</sup>	普通艇	數	容積 <sup>(5)</sup>
乘標	組員	標準	船長	運轉士	機關長	機關士	事務長	事務員
無線電信機	出	力	入	力	出	力	入	力
何球式	數	何球式	數	何球式	數	何球式	數	何球式
型	式	型	式	型	式	型	式	型
數	數	數	數	數	數	數	數	數

鐵 111111

積	貨	重量	噸		載貨容積		內容積 <sup>(7)</sup>		外容積 <sup>(8)</sup>		立方米	載貨門ノ數
			船	事項	名	容	積	容	積	容	積	容
載	船	事項	(7)内	外	内	外	内	外	内	外	内	外
力	船	附屬船口	長サ	幅	長サ	幅	長サ	幅	長サ	幅	長サ	幅
※管海官廳名 検査官吏記名捺印												

記載心得

- (1)一般記載心得
  - 一、記入スヘキ事項ナキ欄ニハ斜線ヲ施スヘシ
  - 二、不詳ノモノハ不詳ト記入スヘシ
  - 三、數量ハ「アラビヤ」數字ヲ以テ記入スヘシ
  - 四、米單位ノモノハ小數以下二位迄、以下四捨五入スヘシ
  - 五、常設旅客室ノ部分ノ船艙ノ積載力ニ付テハ附屬船口以外ノ事項ハ記入ヲ要セス
  - 六、本紙ニ記入シ盡ヌコト能ハサルトキハ附箋シテ記入スヘシ
  - 七、漁船ニ在リテハ「航行區域」欄ニ従業制限ヲ記入スヘシ
- (2)對照符號ニ依ル記載心得
  - ①新造、購入又ハ變更ニ依リ初メテ備附クヘキ調密原票ニハ新造、購入又ハ變更ノ別ヲ明ニスヘシ
  - ②鋼船ニ在リテハ重構船、輕構船、全通船機船、遮浪甲板船、木船ニ在リテハ重甲板船、輕甲板船ノ別ヲ記入スヘシ
  - ③船舶國籍證書ニ依ルヘシ



- (4) 上甲板ヨリ橋頂ニ至ル高サヲ記入スヘシ
  - (5) 端艫ニ表示スルモノニ依ルヘシ
  - (6) 第一、第二、第三等又ハ前艫、後艫等ト記入スヘシ
  - (7) 内トアルハ内容積、外トアルハ内容積トス内容積ハ肋骨又ハ船側内艫ノ内面及梁ノ下面迄ヲ測リ外容積ハ艫側ノ船側ニ内艫ヲ限リ肋骨ノ外面及梁ノ上面迄測リ之ヲ記入スヘシ
  - (8) 外容積ハ外容積ヲ測リタル船艫ニ付テハ外容積ヲトリ其ノ他ノ船艫ニ付テハ内容積ヲトリ之等ヲ合計シタルモノヲ記入スヘシ
- ※本欄ノ記載ハ取扱管海官廳ニ於テ行フモノトス

船名	丸	所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船艫使用ノ目的
船艫番號	(限假名スヘシ)	備受人ノ住所及氏名又ハ名稱	
總噸數	航行區域	現在ノ航路	
人員數	陸	海	備
十以上	既	海免	料
十六未満	教	投無	給
十六歳滿	電	免練	月
飛行兵	信	格種	最
及球兵	兵	類	高
	戰		最
	車		一
	兵		ノ
	自		支
	動		給
	車		月
	兵		料
	長		總
	其		額
	ノ		ノ
	他		支
			給
			月
			料
			最
			高
			一
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月
			料
			總
			額
			ノ
			支
			給
			月











物	洲方面	總運賃額 (圓)		本邦下船旅客 (自昭和 年一月一日 至昭和 年十二月末日)	本邦下船貨物 (圓)
		總數量 (噸)	總運賃額 (圓)		
歐洲方面					
北米方面					
南米方面					
濠洲方面					
阿弗利加方面					
印度方面					
南洋及海峽殖民地方面					
東洋近海方面					
(a)外國各港間輸送貨物 (方面別トスルヲ要セス)					
(b)外國各港間輸送旅客 (方面別トスルヲ要セス)					
(4)本邦乘下船旅客 (自昭和 年一月一日 至昭和 年十二月末日)					
旅	事項	本邦乘船運賃	者額 (圓)	本邦下船貨物	者額 (圓)
	乘船及下船方面別	數		數	
	歐洲方面				
	北米方面				
	南米方面				
	濠洲方面				
	阿弗利加方面				
	印度方面				
	南洋及海峽殖民地方面				
	東洋近海方面				

表 1111 旅

客	洲方面	總運賃額 (圓)		本邦乘下船旅客 (自昭和 年一月一日 至昭和 年十二月末日)	本邦下船貨物 (圓)
		總數量 (噸)	總運賃額 (圓)		
歐洲方面					
北米方面					
南米方面					
濠洲方面					
阿弗利加方面					
印度方面					
南洋及海峽殖民地方面					
東洋近海方面					
(a)外國各港間輸送旅客 (方面別トスルヲ要セス)					
(b)外國各港間輸送貨物 (方面別トスルヲ要セス)					
(4)本邦乘下船旅客 (自昭和 年一月一日 至昭和 年十二月末日)					
客	事項	本邦乘船運賃	者額 (圓)	本邦下船貨物	者額 (圓)
	乘船及下船方面別	數		數	
	歐洲方面				
	北米方面				
	南米方面				
	濠洲方面				
	阿弗利加方面				
	印度方面				
	南洋及海峽殖民地方面				
	東洋近海方面				

海軍資源調査規則ニ依ル造船工場設備報告書

第六號書式(4)

昭和 年十二月末日現在

工場	場名稱	所在地	住 所				平方 米	平方 米	平方 米	平方 米
			延坪	坪	延坪	坪				
總管者	氏名又ハ名稱									
地總坪數	平方 米	建物 總坪數	建 坪	延 坪	平方 米	延 坪	備 用	平方 米	考	
種	別	棟數	建	延	坪	坪				
作										







浮動起重機	種別	力	量(吨)	最高吊揚高(米)	最高吊出距離(米)	備	考
工場附屬船	曳船						
工場附屬船	交通船						
工場附屬船	運搬用船						

海事資源調査規則ニ依ル船臺報告書

第六號書式(四)

昭和 年十二月末日現在

工場名稱	管者氏名又ハ名稱	船臺番號又ハ名稱	所在地		備	考
			住	所		
製造シ得ル船	最大干潮ニ於ケル水上部ノ長	最	米	米	米	米
			米	米	米	米
			米	米	米	米
龍骨盤木下ノ基礎工事	進水ノ際ニ於ケル最大「フオ」 「フ」ニ「フ」耐壓力	傾	米	米	米	米
			米	米	米	米
			米	米	米	米
最大干潮ニ於ケル水中部ノ長	最大干潮ニ於ケル水面ヨリ船臺外端迄ノ深	傾	米	米	米	米
			米	米	米	米
			米	米	米	米

五二一ノ一

工場名稱	管者氏名又ハ名稱	船臺番號又ハ名稱	所在地		備	考
			住	所		
製造シ得ル船	最大干潮ニ於ケル水上部ノ長	最	米	米	米	米
			米	米	米	米
			米	米	米	米
龍骨盤木下ノ基礎工事	進水ノ際ニ於ケル最大「フオ」 「フ」ニ「フ」耐壓力	傾	米	米	米	米
			米	米	米	米
			米	米	米	米
最大干潮ニ於ケル水中部ノ長	最大干潮ニ於ケル水面ヨリ船臺外端迄ノ深	傾	米	米	米	米
			米	米	米	米
			米	米	米	米







築造材料	開渠年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
年一月ヨリ年十二月ニ至ル年間總噸數百噸以上ノ入渠汽船隻數及合計總噸數									
備考									
一般備考									

第六號書式(ハ)記載心得

- 一 備考 各船渠ノ改築計畫等ヲ記入スヘシ
- 二 一般備考 増築計畫等ヲ記入スヘシ
- 三 浮船渠ニ付テハ相當事項欄ヲ變更シテ記入スヘシ

海事業源調査規則ニ依ル船渠報告書

第六號書式(ニ)

昭和 年十二月末日現在

工場	場名	名稱	所在地	住 所
經營者	氏名又ハ名稱			
事項	船渠番號又ハ名稱			
最長	大	長	米	米
最長	大	幅	米	米
最長	大	高	米	米
曳揚ケ得ル				

船	最 大	重 量	長	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘
最大干潮ニ於ケル水上部ノ長			米									
最大干潮ニ於ケル水中部ノ長			米									
最大満潮ニ於ケル水面ヨリ船架外端迄ノ深			米									
船架地盤ノ地質												
軌條下ノ基礎工事												
傾斜												
最大満潮ト最大干潮トノ差			米									
曳揚機ノ種類												
起重機ノ種類、力量及數												
永久上屋ノ有無												
竣工年月日	年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
備考	年一月ヨリ年十二月ニ至ル年間總噸數百噸以上ノ入渠汽船ノ隻數及合計總噸數											



第六號書式(ニ)記載心得

一 最大重量 不詳ナルモノハ最大總噸數ヲ以テ之ニ代フルモ差支ナシ此ノ場合ニ於テハ總噸數ナル旨ヲ明示スヘシ  
二 備考 増築、改築ノ計畫等ヲ記入スヘシ

海事業源調査規則ニ依ル造船工場設備報告書

第六號書式(ホ)

昭和 年十二月末日現在

工場	名稱	所在地	坪數	延坪數	平方米
總管者	氏名又ハ名稱	住 所			
敷地總坪數	平方米	建物	坪	坪	平方米
船臺	船臺番號又ハ名稱	造	最長	米	米
			最幅	米	米
製得ル船	最長	造	最長	米	米
			最幅	米	米
事	船架番號又ハ名稱	造	最長	米	米
			最幅	米	米
事	船架番號又ハ名稱	造	最長	米	米
			最幅	米	米
體	造	上	部	米	米
		下	部	米	米
長	造	上	部	米	米
		下	部	米	米
幅	造	上	部	米	米
		下	部	米	米

第二五六號

渠	入口幅	上	部	深	干	造	米 <th>米 <th>米 <th>米 </th></th></th>	米 <th>米 <th>米 </th></th>	米 <th>米 </th>	米
		下	部	米	米	米	米	米	米	米
船	事	船架番號又ハ名稱	造	最長	米	米	米	米	米	米
				最幅	米	米	米	米	米	米
製得ル船	最長	造	最長	米	米	米	米	米	米	米
			最幅	米	米	米	米	米	米	
事	船架番號又ハ名稱	造	最長	米	米	米	米	米	米	米
			最幅	米	米	米	米	米	米	
體	造	上	部	米	米	米	米	米	米	米
		下	部	米	米	米	米	米	米	
長	造	上	部	米	米	米	米	米	米	米
		下	部	米	米	米	米	米	米	
幅	造	上	部	米	米	米	米	米	米	米
		下	部	米	米	米	米	米	米	

本書式ニ揚ケタル數單位不便ナルトキハ便宜ノ單位ニ依リ記入スヘシ

第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査

五十五ノ三ノ百十一ノ十三















第六號書式ノ二(2)記載心得

- 一 本表ハ竣工セル下記機關ニ付記入スヘシ
  - イ 百馬力以上ノ汽機及發動機
  - ロ 百馬力以上ノ主機ヲ用ウル船舶ニ備附クル主、補汽機
- 二 機關ノ種類欄ニハ汽機ニ付テハ「二聯成」、「三聯成」又ハ「タービン」發動機ニ付テハ「チイセル」、「燒玉」等ノ如クニ、又汽機ニ付テハ筒形、直立等ノ如クニ記載スヘシ
- 三 馬力欄ニハ往復動汽機ニ付テハ實馬力、「タービン」汽機及發動機ニ付テハ軸馬力ヲ記入スヘシ  
馬力不詳ナルモノニ付テハ計畫ニ依リ記入シ括弧ヲ附スヘシ  
汽機ニ在リテハ受熱面積ヲ記入スヘシ
- 四 据附船舶確定ノモノニ付テハ船名又ハ造船番號、未定ノモノニ付テハ機關番號ヲ記載スヘシ

案1111番

昭和 年 月

第七號書式

海事業源調査規則ニ依ル造船業従業員及賃金報告書

工場名稱		經營者氏名又ハ名稱		従業員數	
職	種	類	員	數	
				常備	臨時
造	船	部	職	工	人
造	機	部	職	工	人
上	記	以	外	ノ	職
其	ノ	他	ノ	職	工
數	計				人
從	業	員	數	(職	工
				人	夫
				ヲ	除
				キ	タ
				ル	モ
				ノ	ノ

記載心得 一 同一營業者ニシテ二以上ノ工場ヲ有スル場合ニ在リテハ各工場毎ニ調査スヘシ  
 二 見習ハ職工數ニ加フヘシ



職工ノ種類	賃金			一日就業時間	總出勤人員數	總支給金額	平均一人一日當實收	備考
	平均	最高	最低					
常隨								
常隨								
常隨								
常隨								
常隨								
計								

記載心得  
一 同一營業者ニシテ二以上ノ工場ヲ有スル場合ニ在リテハ各工場毎ニ調査スヘシ  
二 一日就業時間ハ時間外、夜勤、休日出勤及休息等ノ時間ヲ除キタムル一日ノ通常時間ヲ謂フ  
三 見習ハ職工數ニ加フヘシ  
四 總出勤延人員數ト稱スルハ普通一日ノ出勤タムル時間外又ハ夜勤ニ互ルモノタルヲ問ハス一人一日ノ出勤數ヲ一人ト計算スヘシ  
五 總支給金額ハ常備賃金、時間外又ハ夜勤割増金、臨時割増金、賞與、請負賃金等職工ニ對スル一切ノ支給金額ノ總計ヲ謂フ  
六 物價騰貴ニ爲支給シタル補助金、進水式ニ於テ支給シタル臨時賞與等ハ之ヲ總支給金額中ニ算入シ其ノ概要ヲ摘要欄ニ記入スヘシ  
七 死亡給與、遺族扶助料、退隱手當、病傷手當等ハ總支給金額ニ算入セズ  
八 平均一人一日當實收ハ總出勤人員數ヲ以テ總支給金額ヲ除シタルモノヲ謂フ

第三四二號

### ●總噸數千噸以上ノ汽船ノ所有者、賃借人等當分ノ間報告書提出方

(昭和十二年九月十日) 遞信省告示第二千七百六十一號

總噸數千噸以上ノ汽船ノ所有者、賃借人又ハ期間備船者ニシテ現ニ其ノ船舶ヲ使用スル者ハ本日ヨリ當分ノ間海事資源調査規則第九條ノ二ノ規定ニ依リ報告書ヲ提出スヘシ

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ●資源調査法第一條ノ規定ニ依ル 特種技術者調査ニ關スル件

(昭和十三年六月十七日) 陸軍省令第二十二號

資源調査法第一條ノ規定ニ依ル特種技術者調査ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 本令ニ於テ特種技術者ト稱スルハ陸軍ノ兵役ニ在ル工場又ハ事業場ノ従事者ニシテ別ニ定ムル資格標準ニ該當スルモノヲ謂フ

前項ノ資格標準ハ之ヲ工場又ハ事業場ノ事業主ニ指示スルモノトス

第二條 陸軍大臣ノ指定スル工場又ハ事業場ノ事業主ハ別ニ指示スル所ニ依リ當該工場又ハ事業場ノ特種技術者ニ就キ調査シ報告書ヲ作製シテ陸軍大臣ニ提出スヘシ

第三條 前條ノ規定ニ依リ報告シタル事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ別ニ指示スル所ニ依リ當該工場又ハ事業場ノ事業主ハ其ノ都度之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

### ●資源調査法第一條ノ規定ニ依ル 陸軍軍需品ノ生産能力調査ニ關スル件

(昭和五年十二月十一日) 陸軍省令第十四號

資源調査法第一條ノ規定ニ依ル陸軍軍需品ノ生産能力調査ニ關スル件左ノ通定ム

資源調査令別表商工省ノ部中別記ノ工場ニシテ陸軍大臣ノ特ニ指定スルモノノ工業主ハ毎年二月末日ニ於ケル狀況ニ基キ陸軍大臣ノ指定スル軍需品ニ付其ノ工場ノ製造又ハ修理ノ能力ヲ調査シ別記ノ様式ニ依リ報告書ニ通テ作製シ五月末日迄ニ之ヲ陸軍大臣ニ提出スヘシ

陸軍大臣特別ノ必要ニ依リ臨時ニ期日ヲ指定シテ前項ノ調査報告ヲ命ジタルトキ亦前項ニ同シ















共	1 生産能力欄「A」の場合受命期ヨリ生産作業ヲ開始シ得ル迄ノ見込日数	日
	2 生産能力欄「B」の場合全能力ヲ發揮シ得ル迄ノ見込日数(上記ノ場合受命期ヲ起算日トス)	日
	3 生産能力欄「C」の場合全能力ヲ發揮シ得ル迄ノ見込日数(上記ノ場合受命期ヲ起算日トス)	日
ノ	4 本軍需品生産ニ對スル意見	
他		

備考

- 1 報告書用紙ハ本様式ニ依リ作製シ之ヲ交付ス但シ調査事項ニ應シ適宜取捨シ狀況ニ依リ若干變更シ又ハ數票ニ區分シテ交付スルモトアルヘシ
- 2 報告書記載力ニ付テハ必要ニ應シ細部ノ指示ヲ爲スモノトス
- 3 ○印ヲ記入ノ上交付スルモノトス
- 4 生産能力ハ特ニ指示スル品目申生産可能ナルモノニ付記入シ生産狀況換算率、其ノ他ニ對シテハ用紙交付ノ際指示ス
- 5 所要原料材料ハ生産軍需品ノ指定數量ニ對スルモノヲ記註スルモノニシテ之カ種類及官給品等ハ記入ノ上交付ス
- 6 機械器具設備ハ現狀ニ付記入スルモノトス
- 7 動力及燃料ハ軍需品生産ニ要スル全所要電力ヲ記註シ其ノ他ノ條件ハ用紙交付ノ際指示ス
- 8 従業員ハ用紙交付ノ際指示スル職種別其ノ他ニ依リ記入ス
- 9 下請外註ハ指定軍需品ヲ生産スル爲ニ下請又ハ外註スルキ作業品種等ニ付記入ス

第二九七號

●重要工場調査規則

(昭和十七年三月三十一日 商工省令第二十七號)

資源調査法第一條ノ規定ニ依リ重要工場調査規則左ノ通定ス

重要工場調査規則

- 第一條 重要工場調査ハ商工大臣ノ指定スル物資(以下調査物資ト稱ス)ノ生産ヲ行フ工場ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付之ヲ行フ
- 一 調査物資ノ生産ニ従事スル職工ヲ常時十五人以上(機械用鑄物ノ生産ニ従事スル職工ニ在リテハ常時五十人以上)使用スルモノニシテ第二號又ハ第三號ニ該當セザルモノ
  - 二 商工大臣ノ指定スル團體又ハ會社ノ團體員又ハ株主(團體員又ハ株主ガ團體ナル場合ハ其ノ團體員ヲ含ム)ノ經營スルモノニシテ第三號ニ該當セザルモノ
  - 三 商工大臣ノ指定スルモノ
- 第二條 前條第一號又ハ第二號ニ掲グル工場ノ工業主ハ當該工場毎ニ別記様式第一號ニ依リ第一種調査票第一號乃至第五號各二通ヲ前條第一號ニ掲グル工場ノ工業主ニ在リテハ當該工場ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ、前條第二號ニ掲グル工場ノ工業主ニ在リテハ當該團體又ハ會社ヲ經由シテ商工大臣ニ提出スベシ
- 前項ノ規定ニ依リ提出スベキ第一種調査票ハ第一號乃至第三號ニ在リテハ毎月ノ分ヲ、第四號ニ在リテハ毎年三月三十一日及九月三十日ニ於ケル分ヲ、第五號ニ在リテハ毎年三月三十一日ニ於ケル分ヲ前條第一號ニ掲グル工場ノ工業主ニ在リテハ其ノ翌月七日迄ニ、前條第二號

ニ掲グル工場ノ工業主ニ在リテハ其ノ翌月十五日迄ニ提出スベシ

第三條 第一條第三號ニ掲グル工場ノ工業主ハ當該工場毎ニ別記様式第二號ニ依リ第二種調査票第一號乃至第七號各三通ヲ商工大臣ニ提出スベシ

前項ノ規定ニ依リ提出スベキ第二種調査票ハ第一號乃至第三號ニ在リテハ毎月ノ分ヲ、第四號乃至第六號ニ在リテハ毎年三月三十一日及九月三十日ニ於ケル分ヲ、第七號ニ在リテハ毎年三月三十一日ニ於ケル分ヲ其ノ翌月七日迄ニ提出スベシ

第四條 商工大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ第一條第三號ニ掲グル工場ノ工業主ニ對シ様式ヲ指示シテ當該工場ノ平面圖ヲ提出セシムルコトアルベシ

第五條 商工大臣ハ工場ヲ指定シテ調査票ノ提出ヲ免除シ又ハ調査票ノ記載事項ニ關シ特別ノ定ヲ爲スコトアルベシ

第六條 地方長官ハ第二條第一項ノ規定ニ依リ提出アリタル第一種調査票ヲ取纏メ審査ノ上番號ヲ記入シ其ノ提出アリタル月ノ十五日迄ニ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第七條 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ヲ行フ工場及官公立工場ニハ本則ヲ適用セズ

附則

本則ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年商工省令第三號ハ之ヲ廢止ス

(別記様式略ス)







●重要工場調査規則

ニ依リ團體及會社  
指定

(昭和十七年三月三十一日  
商工省告示第三百四十五號)

沿革 昭和十七年四月商工省告示第四八〇  
號改正

重要工場調査規則第一條第二號ノ規定ニ依リ  
團體及會社左ノ通指定ス

- 鐵鋼統制會
- 特殊鋼協同會
- 鐵鋼協同會
- 日本鐵鋼協同會
- 日本フェロアロイ協同會
- 製鋼原協同會
- 金屬工業統制會
- 東部金屬工業統制組合
- 西部金屬工業統制組合
- 日本鋼材製品統制株式會社
- 針布用特殊鋼材配給協同會
- 特殊鋼鋼材配給協同會
- 日本鋼索製造工業組合
- 大阪鋼索工業組合
- 日本硬鋼鋼材加工工業組合
- 日本捲線工業組合
- 日本カゼイン統制株式會社
- 日本大豆蛋白質化學製品工業組合
- 日本研削材工業組合
- 全國研削砥石工業組合聯合會
- 日本電極工業組合
- 日本黒鉛増場工業組合
- 帝國コークス株式會社
- 全國ピツチコークス工業組合
- 板ガラス協同會
- セメント統制會
- 日本耐火煉瓦工業組合聯合會
- 日本石棉製品工業組合
- 石綿スレート工業組合
- 日本ベントナイト協同會
- 財團法人帝國瓦斯協會
- 大日本紡績聯合會
- 日本黃麻工業會
- 製麻工業會
- 苧麻紡績工業會
- 日本羊毛産業統制協同會
- 絹紡工業會
- 日本ステープルファイバー紡績工業組合
- 日本製鋼工業組合聯合會
- 日本鋼材ミッソール加工工業組合
- 日本被覆燈接棒工業組合
- 亞鉛鑄板統制株式會社
- ドラム鐵工業組合聯合會
- 日本シャベル統制株式會社
- 日本鑄管統制株式會社
- 日本電線管統制株式會社
- 日本鑄鋼飯工業組合聯合會
- 保護責任五ガロン罐工業組合
- 日本王冠コルク工業組合
- 日本船用鎖工業組合
- 日本ツルハシ・ハンマー工業組合
- 日本高壓容器工業組合
- 日本サツシユ統制株式會社
- 日本鑄鐵管統制株式會社
- 產業機械統制會
- 電氣機械統制會
- 精密機械統制會
- 車輛統制會
- 自動車統制會
- 日本燃料聯合株式會社
- 高壓瓦斯機關工業株式會社
- 日本バルブコック工業組合聯合會
- 全國鑄工品工業組合聯合會
- 日本アマモニア法製造工業組合
- 日本電解製造工業組合協同會

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ三ノ二

- 日本無機工業製品工業會
- 日本カーバイド工業組合
- 日本硝化曹達工業組合
- 日本金屬曹達工業組合
- アセチレン化學工業會
- メタノール、ホルマリン配給組合
- グリセリン工業組合
- 曹達法マグネシア工業組合
- 日本苦汁製品工業組合
- 日本チタン白工業會
- 日本人造水晶石工業組合
- 日本有機磷藥品工業會
- 日本二硫化炭素工業組合
- 日本選礦統制株式會社
- 日本合成染料製造工業組合聯合會
- 日本塗料工業組合聯合會
- 日本顏料工業組合聯合會
- 日本亞鉛華工業組合
- 日本鉛丹工業組合
- 日本燐寸工業組合
- 日本火藥工業組合
- 日本タール製品統制株式會社
- 日本醫藥品生産統制株式會社
- 合成石炭酸同業會
- 日本松根油精製工業組合
- 日本洋蠟燭工業組合
- 全國和蠟燭工業組合聯合會

- 硬化油工業組合
- 日本護謨工業組合聯合會
- 日本再生ゴム工業組合聯合會
- 日滿バルブ聯合會
- 曹達バルブ協會
- 洋紙共販株式會社
- 日本和紙統制株式會社
- 日本板紙統制株式會社
- 日本人絹聯合會
- 日本ステープルファイバー製造工業組合
- 日本セルロイド生地統制株式會社
- 過磷酸肥料製造業組合
- 硫酸肥料製造業組合
- 石灰鹽素肥料製造業組合
- 特殊化成肥料統制組合
- 高度化成肥料統制組合
- 配合肥料製造業組合
- 日本皮革工業組合聯合會
- 日本工業革製品工業組合
- 日本石鹼工業組合聯合會
- 日本合成樹脂統制株式會社
- 日本橡革工業組合
- 大日本クロス工業組合
- 日本寫眞用ゼラチン工業會
- 日本ゼラチン製造同業會
- 日本洋膠製造工業會
- 全國和膠工業組合聯合會

- 日本カゼイン統制株式會社
- 日本大豆蛋白質化學製品工業組合
- 日本研削材工業組合
- 全國研削砥石工業組合聯合會
- 日本電極工業組合
- 日本黒鉛増場工業組合
- 帝國コークス株式會社
- 全國ピツチコークス工業組合
- 板ガラス協同會
- セメント統制會
- 日本耐火煉瓦工業組合聯合會
- 日本石棉製品工業組合
- 石綿スレート工業組合
- 日本ベントナイト協同會
- 財團法人帝國瓦斯協會
- 大日本紡績聯合會
- 日本黃麻工業會
- 製麻工業會
- 苧麻紡績工業會
- 日本羊毛産業統制協同會
- 絹紡工業會
- 日本ステープルファイバー紡績工業組合
- 日本製鋼工業組合聯合會



貿易業調査規則 (昭和十二年十一月十七日 商工省令第三十號)

【沿革】 昭和十四年十一月省令第七一號、同十五年九月同第七六號改正  
資源調査法第一條ノ規定ニ依リ貿易業調査規則左ノ通定ム

貿易業調査規則

第一條 輸出又ハ輸入ヲ業トスル者ハ營業所毎ニ毎年調査票第一號及第二號甲又ハ第二號乙各二通ニ該營業事項ヲ調査記入シ翌年一月末日迄ニ其ノ營業所所在地ノ地方長官ニ之ヲ提出スベシ  
前項ノ調査票第二號甲又ハ第二號乙ニ調査記入スベキ事項中輸出品又ハ輸入品ノ數量及價額ハ別ニ定ムル輸出品又ハ輸入品ノ分類ニ依リ

- 分シテ之ヲ記入スベシ
- 第二條 地方長官前條ノ規定ニ依リ提出シタル調査票ヲ受理シタルトキハ之ヲ審査ノ上其ノ各一通ハ之ヲ受理シタル日ヨリ二年間其ノ應ニ保存シ其ノ他ハ之ヲ取纏メ番號ヲ記入シタル上二月末日迄ニ商工大臣ニ提出スベシ
- 第三條 地方長官ハ其ノ受理シタル調査票ヲ統計上ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ズ
- 前項ノ調査票ハ統計上ノ目的ニ使用スル場合ト雖モ之ヲ集計發表セシトスルトキハ地方長官ハ豫メ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第四條 地方長官ハ前條ノ規定ニ拘ラズ受理シタル調査票ヲ貿易業者名簿調製ノ目的ヲ以テ左ニ掲グル事項ヲ摘録スル爲之ヲ使用スルコトヲ得
- 一 營業所名
  - 二 營業所所在地
  - 三 電話番号
  - 四 代表者氏名
  - 五 本支店別
  - 六 企業組織
  - 七 貿易業開始年月
  - 八 營業ノ種類
  - 九 輸出入商品名
- 附則  
本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十二月末日 貿易業調査票第一號

1 營業所名		2 營業所所在地		3 代表者氏名		4 營業ノ種類		5 外國人投資者國別金額		6 營業組合分種金及手数料		7 貿易業ニ關スル廣告費		8 貿易上ノ「クレイム」ニ依リ損失高		9 貿易業ニ關スル廣告費		10 貿易業ニ關スル廣告費		11 貿易業ニ關スル廣告費		12 貿易業ニ關スル廣告費		13 貿易業ニ關スル廣告費		14 貿易業ニ關スル廣告費		15 貿易業ニ關スル廣告費		16 貿易業ニ關スル廣告費		17 貿易業ニ關スル廣告費		18 貿易業ニ關スル廣告費		19 貿易業ニ關スル廣告費		20 貿易業ニ關スル廣告費		21 貿易業ニ關スル廣告費		22 貿易業ニ關スル廣告費	
1	營業所名	2	營業所所在地	3	代表者氏名	4	營業ノ種類	5	外國人投資者國別金額	6	營業組合分種金及手数料	7	貿易業ニ關スル廣告費	8	貿易上ノ「クレイム」ニ依リ損失高	9	貿易業ニ關スル廣告費	10	貿易業ニ關スル廣告費	11	貿易業ニ關スル廣告費	12	貿易業ニ關スル廣告費	13	貿易業ニ關スル廣告費	14	貿易業ニ關スル廣告費	15	貿易業ニ關スル廣告費	16	貿易業ニ關スル廣告費	17	貿易業ニ關スル廣告費	18	貿易業ニ關スル廣告費	19	貿易業ニ關スル廣告費	20	貿易業ニ關スル廣告費	21	貿易業ニ關スル廣告費	22	貿易業ニ關スル廣告費







貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

製品

兔毛皮

其ノ他ノ毛皮

豚毛

羽毛

其ノ他ノ皮毛骨角齒牙甲殼類

鞣革

其ノ他ノ皮毛骨角齒牙甲殼類製品(特掲品ヲ除ク)

第五類 油脂蠟及同製品(化粧用)

クリーム、香水、香油等ヲ含ム)

樟腦油(サフロール油ヲ含ム)

薄荷油

其ノ他ノ芳香性植物油

荳油

大豆油

菜種油

棉質油

其ノ他ノ植物油

肝油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

其ノ他ノ魚油

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈

其ノ他ノ乾魚介

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

其ノ他ノ水産物

貿易業調査規則ニ依ル輸出品及

輸入品ノ分類 (昭和十四年十二月十六日 商工省告示第三百五十三號)

昭和十二年十一月十一日商工省告示第二百二十二號左ノ通改正ス

輸出品

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

第二類 穀物、穀粉、澱粉類及種子

米及粃

豌豆

其ノ他ノ豆類

小麥粉

澱粉類

其ノ他ノ穀物、穀粉及種子

第三類 飲食物及煙草

玉葱

馬鈴薯

乾椎茸

蜜柑

其ノ他ノ水産物

煎魚

其ノ他ノ塩魚

塩鱈



其ノ他ノ絹織物  
 生地人造絹織物  
 糸染人造絹織物  
 無地染及捺染人造絹織物  
 其ノ他ノ人造絹織物  
 生地ステープルファイバー織物  
 無地染ステープルファイバー織物  
 捺染ステープルファイバー織物  
 其ノ他ノステープルファイバー織物  
 絹製フェンツ  
 人造絹製フェンツ  
 其ノ他ノフェンツ  
 綿製メリヤス地  
 綿襪  
 毛又ハ毛入襪  
 其ノ他ノ襪  
 綿ブランケット及綿ブランケット地  
 其ノ他ノブランケット及ブラン

ケット地  
 グラツグ  
 其ノ他ノ地氈  
 綿製テールブルグロース  
 麻製テールブルグロース  
 其ノ他ノテールブルグロース  
 リボン及レース類  
 絹製手巾  
 綿製手巾  
 其ノ他ノ手巾  
 綿タオル及綿タオル地  
 敷布  
 寝臺覆  
 漁網  
 麻袋  
 綿袋  
 其ノ他ノ布帛及布帛製品  
 第十類 衣類及同附屬品  
 ワイシャツ  
 メリヤスシャツ(上下ヲ別タズ)  
 其ノ他ノシャツ(上下ヲ別タズ)  
 布帛製帽子及帽体  
 メリヤス製帽子及帽体

フェルト製帽子及帽体  
 麥稈製帽子及帽体  
 模造バナマ製帽子及帽体  
 其ノ他ノ帽子及帽体  
 メリヤス手袋  
 綿製メリヤス靴下  
 人絹製メリヤス靴下  
 其ノ他ノメリヤス靴下  
 ゴム底足袋  
 肩掛  
 ゴム底布靴  
 總ゴム靴  
 其ノ他ノ靴  
 貝殼製鈕釦  
 アイヴオリナット製鈕釦(模造品ヲ含ム)  
 其ノ他ノ鈕釦  
 ガラス製人造眞珠(首飾ヲ含ム)  
 セルロイド製櫛及髮止  
 セルロイド製腕輪  
 ガラス製腕輪  
 其ノ他ノ腕輪

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十  
 其ノ他ノ身邊裝飾用品  
 洋服  
 キモノ  
 サロン  
 サリ  
 其ノ他ノ衣類及衣類附屬品  
 第十一類 紙、バルプ及紙製品  
 アイトペーパー  
 其ノ他ノ印刷用紙  
 煙草用紙  
 板紙  
 模造紙  
 其ノ他ノ紙  
 バルプ  
 紙製品  
 第十二類 礦物及同製品  
 石炭  
 セメント  
 其ノ他ノ礦物及礦物製品  
 第十三類 陶磁器、ガラス及ガラス製品  
 陶磁器  
 調度用陶磁器  
 建築用陶磁器

電氣用陶磁器  
 其ノ他ノ陶磁器  
 板ガラス(窓ガラスヲ含ム)  
 魔法瓶  
 其ノ他ノガラス瓶  
 ガラス製飲食器  
 ガラス製眼鏡  
 ガラス製鏡  
 其ノ他ノガラス及ガラス製品  
 第十四類 鑛及金屬  
 マンガン鑛  
 錫鑛  
 タングステン鑛  
 其ノ他ノ鑛  
 フェロマンガン  
 フェロシリコン  
 フェログロム  
 其ノ他ノフェロアロイ  
 鋼塊及鋼片  
 丸鋼、角鋼及平鋼等ノ棒鋼  
 丁形及山形等ノ形鋼  
 軌條(フィッシュプレートヲ含ム)

亜鉛メッキ鋼板  
 アリキ  
 其ノ他ノ卑金屬ラメッキシタル鋼板  
 其ノ他ノ鋼板  
 亜鉛メッキ鋼線  
 鑄鉄管  
 鋼管  
 其ノ他ノ鉄  
 銅線  
 其ノ他ノ銅  
 黄銅板  
 其ノ他ノ黄銅  
 其ノ他ノ金屬  
 第十五類 金屬製品  
 絶縁電線  
 農具  
 工具  
 鉄釘類  
 双物  
 珐瑯鉄器  
 家屋、橋梁、船渠、船舶等ノ鉄製建設材料

其ノ他ノ鉄製品  
 テーブル・フォーク及スプーン  
 黄銅製品  
 アンチモン製品  
 アルミニウム製品  
 ニッケルメッキ製品(双物ヲ除ク)  
 クロムメッキ製品(双物ヲ除ク)  
 其ノ他ノ金屬製品  
 第十六類 時計、學術器、銃砲、船車及機械類  
 掛時計、置時計及同部分品  
 懷中時計、腕巻時計及同部分品  
 電池及同部分品  
 醫療器及同部分品  
 其ノ他ノ理化學器及同部分品  
 ラヂオ受信器及同部分品  
 其ノ他ノ通信機及同部分品  
 蓄音器、同部分品及同附屬品  
 度量衡器及同部分品  
 其ノ他ノ學術器及同部分品  
 銃砲及同部分品

自轉車  
 自轉車車体  
 自轉車用ゴムタイヤ及インナー  
 チューブ其ノ他ノ自轉車部分品及同附屬品  
 自動車  
 ジヤシ  
 自動車用ゴムタイヤ及インナー  
 チューブ其ノ他ノ自動車部分品及同附屬品  
 鐵道機關車(鐵道機關車用炭水車ヲ含ム)  
 鐵道車輛  
 鐵道車輛部分品及同附屬品  
 其ノ他ノ車輛、同部分品及同附屬品  
 船舶  
 汽罐、同部分品及同附屬品  
 電動機、同部分品及同附屬品  
 發電機、同部分品及同附屬品  
 變壓器、同部分品及同附屬品  
 其ノ他ノ電氣機械、同部分品及同附屬品  
 五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十一



金屬工作機械、同部分品及同附屬品  
木工作機械、同部分品及同附屬品  
紡績機、同部分品及同附屬品  
織布機、同部分品及同附屬品  
內燃機、同部分品及同附屬品  
其ノ他ノ機械、同部分品及同附屬品  
第十七類 雜品  
竹材  
竹製品(特掲品ヲ除ク)  
合板  
箱用板  
挽材  
丸太及割材類  
其ノ他ノ木材  
眞田  
連製花莖  
單製花莖  
洋傘  
漆器

ゴム製品(特掲品ヲ除ク)  
セルロイド素地  
セルロイド製品(特掲品ヲ除ク)  
齒磨用ブラシ  
化粧用ブラシ  
其ノ他ノブラシ  
豆電球  
家庭用電球  
其ノ他ノ電球  
其ノ他ノランプ、同部分品及同附屬品  
行李、旅櫃及提籠類  
財布及囊口類  
セルロイド製玩具  
金屬製玩具  
陶磁器製玩具(粘土製モノヲ含ム)  
ゴム製玩具  
木製玩具  
紙製玩具  
其ノ他ノ玩具  
油粕  
魚粉

過燐酸石灰  
其ノ他ノ人造肥料  
セロファン紙  
其ノ他ノ雜品  
輸入品  
第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)  
植物及動物  
第二類 穀物、澱粉、澱粉類及種子  
米及粳  
小麥  
高粱  
玉蜀黍  
大豆  
小豆  
其ノ他ノ豆類  
小麥粉  
其ノ他ノ澱粉及澱粉類  
胡麻子  
荳胡麻子  
菜種  
亞麻子

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十二  
ヒマン  
棉實  
其ノ他ノ採油用種子  
アイヴオリーナット等ノ鈕釦製造用核子  
其ノ他ノ穀物及種子  
第三類 飲食物及煙草  
珈琲  
砂糖  
生牛肉  
鹽魚  
其ノ他ノ魚介  
酒類  
食塩  
葉煙草  
其ノ他ノ飲食物及煙草  
第四類 皮毛骨角牙殼類及同製品  
品  
毛皮  
牛皮  
馬皮  
其ノ他ノ皮類  
牛革

馬革  
羊革  
其ノ他ノ革類  
豚毛  
其ノ他ノ獸毛(特掲品ヲ除ク)  
貝殼  
其ノ他ノ骨角牙殼類及皮毛骨角牙殼類製品  
第五類 油脂蠟及同製品  
植物性芳香揮發油  
牛脂  
原油  
揮發油  
燈油  
輕油  
液狀ノマシン油  
其ノ他ノマシン油  
重油  
其ノ他ノ油脂蠟及油脂蠟製品  
第六類 藥材、化學藥、製藥及其ノ調合品並ニ爆發藥  
ホップ  
五倍子  
沒食子

其ノ他ノタンニン材料  
阿仙藥  
其ノ他ノタンニンエキス  
生ゴム  
セラック  
松脂  
其ノ他ノゴム及樹脂  
粗製苛性ソーダ  
ソーダ灰  
粗製硝酸ソーダ  
硼砂  
粗製塩化カリ  
粗製硫酸カリ  
粗製硫酸アンモン  
ベンゾール  
トルオール  
其ノ他ノコールタール分溜物  
コールタール分溜物生成品  
カセイソ  
其ノ他ノ藥材、化學藥及製藥  
藥材、化學藥及製藥ノ調合品  
爆發藥  
第七類 染料、顔料、塗料及填充料  
合成染料

其ノ他ノ染料  
顔料  
漆液  
其ノ他ノ塗料及填充料  
第八類 絲綢、繩索及同材料  
實綿  
縲綿  
綿織絲  
亞麻  
苧麻及ラミー  
大麻  
黃麻  
マニラヘンパ  
サイザル麻  
其ノ他ノ植物纖維  
カード又ハコムシタル羊毛  
其ノ他ノ羊毛  
山羊毛及駱駝毛  
野蠶絲  
落綿  
故綿靴下  
ノイル  
其ノ他ノ層及故纖維  
其ノ他ノ絲綢、繩索並ニ絲綢及繩索ノ材料

第九類 布帛及同製品  
毛織物  
麻袋  
其ノ他ノ布帛及布帛製品  
第十類 衣類及同附屬品  
衣類及同附屬品  
第十一類 紙、パルプ及紙製品  
製紙用パルプ  
人絹用パルプ  
印刷用紙  
其ノ他ノ紙及紙製品  
第十二類 礦物及同製品  
研磨用礦物材料  
雲母  
石棉及同製品  
磷礦石  
石炭  
硼砂原礦  
螢石  
ホーキサイト  
黑鉛  
其ノ他ノ礦物及礦物製品  
第十三類 ガラス、ガラス製品及粘土製品  
板ガラス  
五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十三



其ノ他ノガラス、ガラス製品及  
粘土製品  
第十四類 鐵及金屬  
鐵鐵  
銅鐵  
マンガン鐵  
モリアデン鐵  
亞鉛鐵  
タンクスステン鐵  
アンチモン鐵  
クロム鐵  
ニッケル鐵  
其ノ他ノ鐵  
白金  
銑鉄  
フェロマンガ  
フェロシリコ  
フェロクロム  
フェロタンケステ  
フェロモリアデン  
フェロバナヂウム  
其ノ他ノフェロアロイ  
シートバー(ティンバー)ヲ合  
ム)

鋼塊及鋼片  
丸鋼、角鋼及平鋼等ノ棒鋼  
丁形及山形等ノ形鋼  
重軌條(フィッシュプレートヲ  
含ム)  
其ノ他ノ軌條(フィッシュプレ  
ートヲ含ム)  
鋼線材  
金屬ヲメッキセザル厚鋼板  
金屬ヲメッキセザル中鋼板  
金屬ヲメッキセザル薄鋼板  
珪素鋼板  
ブリキ  
リボン  
帶鋼  
鑄鐵管  
鋼管  
特殊鋼  
ブリキ屑  
其ノ他ノ屑及故鉄  
其ノ他ノ鉄  
アルミニウム塊、錠及粒  
其ノ他ノアルミニウム  
銅塊及錠

其ノ他ノ銅  
鉛塊及錠  
其ノ他ノ鉛  
錫  
亞鉛塊、錠及粒  
其ノ他ノ亞鉛  
コバルト  
ニッケル  
水銀  
アンチモン及硫化アンチモン  
黃銅及青銅  
其ノ他ノ金屬  
第十五類 金屬製品  
壓縮ガス填充用鉄シリンド  
工具用双具  
其ノ他ノ金屬製品  
第十六類 時計、學術器、銃砲、  
船車及機械類  
時計及同部分品  
ゲージ類  
試験計測器及同部分品  
醫療器及同部分品  
其ノ他ノ理化學器及同部分品

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十四  
寫眞機及同部分品  
其ノ他ノ學術器及同部分品  
銃砲及同部分品  
自動車  
シヤシ  
其ノ他ノ自動車部分品  
其ノ他ノ車輛及同部分品  
船舶  
汽罐、同部分品及同附屬品  
蒸氣機關及同部分品  
蒸氣タービン及同部分品  
水車及同部分品  
自轉車及自動車用内燃機關並ニ  
同部分品  
其ノ他ノ内燃機關及同部分品  
ミシン、同部分品及同附屬品  
旋盤  
ボール盤  
中グリ盤  
フライス盤  
研磨盤  
齒切盤  
平削盤

第二七七號

### ●農林水産業調査規則

(昭和十五年十二月二十八日  
農林省令第百一十一號)

資源調査法第一條ノ規定ニ依リ農林水産業調査規則左ノ通定ム

#### 農林水産業調査規則

- 第一條 農林水産業者ハ本則ノ定ムル所ニ依リ農林水産業ニ關スル事項ヲ市町村長ニ申告スベシ
- 第二條 市町村長ハ別ニ定ムル農林水産業基本調査要綱ニ依リ當該市町村ニ居住スル農林水産業者ニ就キ專業兼業別、業態別、耕作面積、作物栽培面積、家畜家禽、農機具其ノ他農林水産業ノ状態ニ關シ申告ヲ求メ其ノ結果表ヲ地方長官ニ提出スベシ
- 地方長官ハ前項ノ結果表ヲ取纏メ農林水産業基本調査要綱ニ定ムル期限迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第三條 市町村長ハ當該市町村ニ居住スル米作者ニ就キ米ノ栽培面積、豫想收穫高及實收高ニ關シ申告ヲ求メ別ニ定ムル米收穫調査要綱ニ基キ地方長官ニ報告スベシ
- 地方長官ハ前項ノ報告ニ依リ道府縣計ヲ作成シ米收穫調査要綱ニ定ムル期限迄ニ之ヲ農林大臣ニ報告スベシ
- 第四條 市町村長ハ當該市町村ニ居住スル農業者ニ就キ農作物ノ栽培面積、豫想收穫高、實收高及推定販賣高ニ關シ申告ヲ求メ別ニ定ムル農作物收穫調査要綱ニ基キ地方長官ニ報告スベシ
- 地方長官ハ前項ノ報告ニ依リ道府縣計ヲ作成シ農作物收穫調査要綱ニ定ムル期限迄ニ之ヲ農林大臣ニ報告スベシ

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十五

形削盤  
堅削盤  
金切鋸盤  
其ノ他ノ金屬工作機械  
木工作機械  
其ノ他ノ機械  
軸受  
軸受用球及コロ  
針布  
其ノ他ノ機械部分品  
第十七類 雜品  
米材

北洋材  
南洋材  
其ノ他ノ木材  
電氣用カーボン  
活動寫眞用感光性フィルム  
其ノ他ノ寫眞用感光性フィルム  
飼料  
穀  
豆粕  
其ノ他ノ肥料  
其ノ他ノ雜品



第十九類 國勢調査及統計報告 第一編 國勢調査

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十五ノ二

第五條 市町村長ハ當該市町村ニ居住スル養蠶者ニ就キ蠶種掃立卵量、豫想收購高及收購高ニ關シ申告ヲ求メ別ニ定ムル養蠶業調査要綱ニ基キ地方長官ニ報告スベシ

地方長官ハ前項ノ報告ニ依リ道府縣計ヲ作成シ養蠶業調査要綱ニ定ムル期限迄ニ之ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第六條 市町村長ハ當該市町村ニ居住スル漁業者ニ就キ漁業ノ種類、漁船、從業者數及漁獲高ニ關シ申告ヲ求メ別ニ定ムル漁業調査要綱ニ基キ地方長官ニ報告スベシ

地方長官ハ前項ノ報告ニ依リ道府縣計ヲ作成シ漁業調査要綱ニ定ムル期限迄ニ之ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第七條 前五條ニ定ムルモノノ外市町村長ハ當該市町村ニ居住スル農林水産業者ニ就キ別表ニ掲グル事項ニ關シ申告ヲ求メ別表ニ掲グル期限迄ニ之ヲ地方長官ニ報告スベシ

地方長官ハ前項ノ報告ニ依リ道府縣計ヲ作成シ別表ニ掲グル期限迄ニ之ヲ農林大臣ニ報告スベシ

市町村長及地方長官ノ報告様式ハ農林大臣別ニ之ヲ定ム

第八條 本則ニ依リ申告ハ市町村長特ニ必要アリト認ムルトキハ當該市町村ノ地區内ノ農會、養蠶實行組合、産業組合、漁業組合、森林組合其ノ他農林水産業者ノ主トシテ組織スル團體其ノ他市町村長ニ於テ適當ト認ムル者ヲ經由シテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 市町村長ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ市町村ニ調査區ヲ設ケベシ

第十條 地方長官ハ資源調査員ニ就キ特ニ本則ニ依リ調査ヲ擔當セシムベキ者(以下農林水産業調査員ト稱ス)ヲ指定シ調査區内ニ於ケル農林

水産業基本調査ニ關スル事務ニ從事セシムベシ

市町村長特ニ必要アリト認ムルトキハ農林水産業調査員ヲシテ調査區内ニ於ケル第三條乃至第七條ノ調査ニ關スル事務ニ從事セシムルコトヲ得

農林水産業調査員ハ市町村長之ヲ指揮監督ス

第十一條 地方長官必要アリト認ムルトキハ農林水産業調査員ニ就キ農林水産業調査指導員ヲ命ズルコトヲ得

第十二條 農林水産業調査指導員ハ市町村長ノ指揮監督ヲ承ケ農林水産業調査ニ關スル指導ニ從事ス

第十三條 地方長官ハ毎年管下市町村ニ於ケル農林水産業調査事務ノ實績ヲ監査シ其ノ結果ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第十四條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ實地ニ就キ農林水産業調査事務又ハ調査ノ實績ヲ監査セシムルコトアルベシ

第十五條 地方長官本則ニ於テ調査スル事項ノ外必要ナル事項ヲ併セ調査スル爲資源調査法第一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發セントスルトキハ其ノ事項及方法ヲ具シ農林大臣ノ承認ヲ受ケベシ

第十六條 本則中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

附則

本令ハ昭和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

農林省統計報告規則ハ之ヲ廢止シ農會法施行規則附則第三項ヲ削ル但シ昭和十五年ノ事實ヲ調査シ昭和十六年中ニ報告スベキモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

(別表)

調査事項	摘要	調査時期	市町村長報告期限	地方官報告期限
一 水稻植付状況		北海道、東北、北陸、各縣、其ノ他ノ府縣(沖繩ヲ除ク)	六月十三日	六月二十日
二 稻作状況	水稻、陸稻	八月十五日現在	八月十八日	八月二十五日
三 麥作状況	大麥、稗麥、小麥	北海道、東北、北陸、各縣、其ノ他ノ府縣	五月十五日現在	五月二十五日
四 田畑増減面積	増減原因別	自前年七月三十一日	八月三十一日	九月三十日
五 採種圃面積並採種數量	經營者數、採種用蔬菜、採種用綠肥及飼料作物	自其ノ年十一月一日	翌年二月末日	同三月三十一日
六 販賣用果樹苗、桑苗生産	生産者數、栽培現在面積、苗木數	自其ノ年十二月三十一日	翌年二月末日	同三月三十一日
七 温室、温床	經營者數、經營坪數	八月一日現在	八月三十一日	九月三十日
八 仕方法別桑栽培現在面積	根刈、中刈、高刈、立通	昭和十七年八月一日現在	九月三十日	十月三十一日
九 家兔飼養者數及飼養頭數		昭和十七年八月一日現在	十一月三十日	十二月三十一日



十 頭家畜 生產及斃 死數	牛、豚、山 羊、綿羊、 馬	第一期 一月乃至三 月	第二期 四月乃至六 月	第三期 七月乃至九 月	第四期 十月乃至十二 月	翌年 一月三十一 日	翌年 七月三十一 日	翌年 四月三十一 日	翌年 一月三十一 日	同 二月三十 日	同 八月三十 日	同 十一月三十 日
十一 販賣 雞卵及初 生雛		第一期 一月乃至三 月	第二期 四月乃至六 月	第三期 七月乃至九 月	第四期 十月乃至十二 月	翌年 一月三十一 日	翌年 七月三十一 日	翌年 四月三十一 日	翌年 一月三十一 日	同 二月三十 日	同 八月三十 日	同 十一月三十 日
十二 兔毛皮、 兔肉、 羊毛及 羊毛生 產數量		第一期 一月乃至三 月	第二期 四月乃至六 月	第三期 七月乃至九 月	第四期 十月乃至十二 月	翌年 一月三十一 日	翌年 七月三十一 日	翌年 四月三十一 日	翌年 一月三十一 日	同 二月三十 日	同 八月三十 日	同 十一月三十 日
十三 總 馬 數	年齡別、 性別	十二月 末日現在	翌年 一月三十一 日	同 二月末 日	同 八月末 日	同 十一月末 日	同 二月末 日	同 八月末 日	同 十一月末 日	同 二月末 日	同 八月末 日	同 十一月末 日
十四 積 公有 林野 面積	所有者別、 林野種別	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在
十五 積 公有 有牧 野面	所有者別、 放牧地、 採草地、 牛馬放 牧頭數	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在	昭和十八 年一月一日 現在
十六 造 林 用 苗 木 數 (1) 造林 用苗圃 經營 數及坪 數 (2) 山行 供シタル 苗木數	經營者種 別、播種 種別、播 種苗木、 插木苗、 天然生 樹種別、 樹種苗木	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在	自前年 九月一日 現在
十七 積 公有 有造 林面	所有者別、 人工植 栽、天然 造林別、 針葉樹、 闊葉 樹別	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日

十八 公有 有林 伐採 (1) 伐採 面積 (2) 伐採 數量	用材林、 薪材林、 製炭原 木林、竹 林別、所 有者 別、薪材、 製炭原木、 竹材	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
十九 公有 有林 野副 產物	造林用種 子、樹實、 樹皮、其 他ノ數量	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十 水田 養魚	經營者數、 從業者數、 箇所數、 坪數、收 獲高	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十一 水產 增殖	種類別、 經營者數、 從業者數、 箇所數、 坪數、收 獲高	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十二 加工 品生 產	生產者數、 生產高	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十三 製 茶	製造場數、 生產高	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十四 販賣 用藥 工 品生 產	生產者數、 生產高、 販賣 額	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十五 販賣 用真 綿 生 產	生產者數、 生產高	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十六 加工 品生 產	生產者數、 生產高	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日
二十七 農 林 水 生 產 額	耕種、 養蠶、 畜產、 林產、 水產	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日	自其 年十二月 三十一 日



商業調査規則 (昭和十四年九月八日)

資源調査法第一條ノ規定ニ依リ商業調査規則左ノ通定ム

商業調査規則

第一條 卸賣ヲ業トスル者ハ營業所毎ニ毎年別記様式ニ依ル調査票三通ニ該當事項ヲ調査記入シ翌年二月末日迄ニ其ノ營業所所在地ノ市町村長ニ之ヲ提出スベシ
第二條 市町村長ハ市町村内ノ調査票ヲ取纏メ審査ノ上其ノ一通ハ之ヲ受理シタル日ヨリ二年間其ノ處ニ保存シ其ノ他ハ三月末日迄ニ地方長官ニ之ヲ提出スベシ
第三條 市町村ニ商業調査員ヲ置ク
商業調査員ハ市町村長ノ指揮監督ヲ承ケ調査票ノ配付及蒐集ニ從事ス
第四條 商業調査員ハ地方長官ノ推薦ニ依リ商工大臣之ヲ命ズ
商業調査員ノ任期ハ四年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

第五條 地方長官ハ受理シタル調査票ヲ審査ノ上其ノ一通ハ之ヲ受理シタル日ヨリ二年間其ノ處ニ保存シ他ノ一通ハ番號ヲ記入シ四月末日迄ニ商工大臣ニ之ヲ提出スベシ
第六條 本則ノ規定ニ依リ提出シタル調査票ハ統計上ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ人的及物的資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ必要ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第七條 本則ノ規定ニ依リ提出シタル調査票ハ前條ノ規定ニ拘ラズ商業者名簿調製ノ目的ヲ以テ左ニ掲グル事項ヲ摘録スル爲之ヲ使用スルコトヲ得
一 營業所名
二 營業所所在地
三 電話番号
四 業主氏名又ハ名稱
五 本支店別
六 企業組織
七 業種
八 卸賣商品名
第八條 本則中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス
附則
本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式 日本標準規格B列四號

昭和 年 月 日提出

業主ノ住所及氏名又ハ名稱ニ捺印

Table with 15 rows and 2 columns. Row 1: 營業所名. Row 2: 營業所所在地. Row 3: 企業組織. Row 4: 卸賣先. Row 5: 兼業關係. Row 6: 業種. Row 7: 營業資産總額. Row 8: 營業負債總額. Row 9: 從業者數. Row 10: 營業收入額. Row 11: 仕入價額. Row 12: 營業費總額. Row 13: 手持品價額. Includes a small table for '調査期日' at the top right.

欄ハ道府縣廳ニ於テ記入スルコト







●商業調査規則ニ依リ業種及商品

ノ分類 (昭和十四年十二月二十九日 商工省告示第三百八十七號)

商業調査規則第一條第二項ノ規定ニ依リ業種及商品ノ分類左ノ通定ム

一 業種分類

- 礦物及土石類販賣業
- 石炭及コークス販賣業
- 石油販賣業
- 其ノ他ノ燃料販賣業
- 鉄鋼販賣業
- 銅及銅合金販賣業
- 其ノ他ノ金属販賣業
- 鑄物販賣業
- 亜鉛メッキ鋼板、亜鉛メッキ鋼線
- 及アリキ販賣業
- 金属製品販賣業
- 原動機及蒸氣機販賣業
- 電氣機械器具販賣業

其ノ他ノ車輛及運搬機械器具販賣業

- 農業用機械器具販賣業
- 土木建築用機械器具販賣業
- 度量衡器、計器類販賣業
- 時計販賣業
- 試験、検査、光學、學術及醫療用機械器具販賣業
- 寫真機類及寫真材料販賣業
- 照用機械器具販賣業
- 樂器、蓄音機類販賣業
- 其ノ他ノ機械器具販賣業
- 醫藥、賣藥類及衛生材料販賣業
- 工業藥品販賣業

アイバー、人造レンガ(素地及製品)販賣業

- 肥料販賣業
- 皮革及皮革製品販賣業
- 石鹼及化粧品販賣業
- 防水布、油布、撥革布及リノリウム販賣業
- 陶磁器販賣業
- ガラス及ガラス製品販賣業
- 琺瑯鉄器販賣業
- セメント、煉瓦、瓦及土管販賣業
- 蠶種及繭販賣業
- 紡績原料販賣業
- 生絲販賣業
- 綿絲販賣業
- 紡績綿絲販賣業
- 毛絲販賣業
- 人造絹絲及ステープルファイバ
- 絹販賣業

第二六五號

毛織物販賣業

- 人造絹織物販賣業
- ステープルファイバー織物販賣業
- 其ノ他ノ織物販賣業
- メリヤス素地及メリヤス製品販賣業
- 和服及洋服類販賣業
- 其ノ他ノ被服類販賣業
- 夜具及寢具販賣業
- 帽子販賣業
- 小間物販賣業
- 傘販賣業
- 靴販賣業
- 下駄、草履類販賣業
- 木材及竹材販賣業
- 建具及家具販賣業
- 漆器販賣業



● 商業調査規則ニ依リ業種及商品

ノ分類 (昭和十四年十二月二十九日  
商工省告示第三百八十七號)

商業調査規則第一條第二項ノ規定ニ依リ業種及商品ノ分類左ノ通定ム

一 業種分類

- 礦物及土石類販賣業
- 石炭及コークス販賣業
- 石油販賣業
- 其ノ他ノ燃料販賣業
- 鉄鋼販賣業
- 銅及銅合金販賣業
- 其ノ他ノ金属販賣業
- 鑄物販賣業
- 亜鉛メッキ鋼板、亜鉛メッキ鋼線及ブリキ販賣業
- 金属製品販賣業
- 原動機及蒸氣罐販賣業
- 電氣機械器具販賣業
- 通信機械器具販賣業
- 工作機械器具販賣業
- 紡織機械器具販賣業
- 自動車及自動車部分品販賣業
- 自轉車及自轉車部分品販賣業

其ノ他ノ車輛及運搬機械器具販賣業

- 農用機械器具販賣業
- 土木建築用機械器具販賣業
- 度量衡器、計器類販賣業
- 時計販賣業
- 試験、検査、光學、學術及醫療用機械器具販賣業
- 寫真機類及寫真材料販賣業
- 照用用機械器具販賣業
- 樂器、蓄音機類販賣業
- 其ノ他ノ機械器具販賣業
- 醫藥、賣藥類及衛生材料販賣業
- 工業藥品販賣業
- 染料、塗料及顔料販賣業
- 油脂類販賣業
- ゴム及ゴム製品販賣業
- 紙販賣業
- セルロイド、バルカナイズド

アイバー、人造レザン(素地及製品)販賣業

- 肥料販賣業
- 皮革及皮革製品販賣業
- 石鹼及化粧品販賣業
- 防水布、油布、撥革布及リノリウム販賣業
- 陶磁器販賣業
- ガラス及ガラス製品販賣業
- 珐瑯鉄器販賣業
- セメント、煉瓦、瓦及土管販賣業
- 蠶種及繭販賣業
- 紡績原料販賣業
- 生絲販賣業
- 綿絲販賣業
- 紡績綿絲販賣業
- 毛絲販賣業
- 人造絹絲及ステープルファイバ
- 其ノ他ノ絲販賣業
- 打綿及眞綿販賣業
- 綿織物販賣業
- 絹織物販賣業
- 麻織物販賣業

第二六五號

毛織物販賣業

- 人造絹織物販賣業
- ステープルファイバ織物販賣業
- 其ノ他ノ織物販賣業
- メリヤス素地及メリヤス製品販賣業
- 和服及洋服類販賣業
- 其ノ他ノ被服類販賣業
- 夜具及寢具販賣業
- 帽子販賣業
- 小間物販賣業
- 傘販賣業
- 靴販賣業
- 下駄、草履類販賣業
- 木材及竹材販賣業
- 建具及家具販賣業
- 漆器販賣業
- 壘表、莫産及莖販賣業
- 文房具販賣業
- 玩具、遊戯具及運動具販賣業
- 貴金属品及寶石類販賣業
- 美術品及骨董品販賣業

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十九



新聞、圖書及雜誌販賣業  
米穀販賣業  
其ノ他ノ穀類販賣業  
穀粉及澱粉販賣業  
蔬菜類販賣業  
果實販賣業  
鳥獸肉及鳥卵販賣業  
牛乳販賣業  
畜産加工食料品販賣業  
鮮魚介藻類販賣業  
水産加工食料品販賣業  
酒類販賣業  
砂糖、味噌、醬油其ノ他ノ調味料販賣業  
清涼飲料販賣業  
茶、コーヒー類販賣業  
菓子、パン類販賣業  
罐詰及罐詰販賣業  
水販賣業  
其ノ他ノ飲食料品販賣業  
古物及屑物販賣業  
其ノ他ノ物品販賣業

内地支米  
朝鮮支米  
臺灣支米  
内地精米  
朝鮮精米  
臺灣精米  
外國米  
大麥  
小麥  
稗麥  
燕麥  
大豆  
小豆  
玉蜀黍  
其ノ他ノ穀類  
蔬菜類  
果實  
穀  
菓及麥稈  
棉花  
マニラ麻  
其ノ他ノ麻  
荏胡麻子  
ヒマシ

除虫菊  
蠶種  
繭  
コーヒー  
生花、植木類  
内地産針葉樹材  
内地産闊葉樹材  
樺太産針葉樹材  
南洋材  
米材  
其ノ他ノ木材  
竹材  
籐、杞柳等ノ莖莖類  
松脂  
薪  
苗及種子  
海産鮮魚介類  
内水鮮魚介類  
藻類  
鶏  
其ノ他ノ鳥類  
牛  
馬

豚  
其ノ他ノ獸類  
鶏肉  
牛肉  
豚肉  
其ノ他ノ鳥獸肉  
鶏卵  
牛乳  
羊毛  
豚毛  
其ノ他ノ獸毛及羽毛牛皮及水牛皮(蘇サザルモノ)  
其ノ他ノ皮(蘇サザルモノ)  
骨、角、蹄、甲、牙及貝殻類  
金屬礦物  
石炭  
石油(原油)  
燐礦石  
硫黃  
石棉  
石材  
土砂類  
其ノ他ノ礦物

洗鉄  
フエロアロイ  
鋼塊及鋼錠  
鋼板  
鋼條竿  
鋼線材  
鋼線  
鋼管  
軌條(フィッシュプレートヲ含ム)  
其ノ他ノ鋼材料品  
特殊鋼塊及特殊鋼錠  
特殊鋼材料品  
電氣銅地金  
銅屑、黃銅屑、青銅屑等ヨリ再生シタル銅地金  
裸銅電線  
銅板、銅條、銅管、銅棒及銅線  
銅セバ、ノベ、雜棒、雜線及雜管  
黃銅  
其ノ他ノ銅合金  
亞鉛

鉛  
アルミニウム  
錫  
ニッケル  
其ノ他ノ金屬  
鑄鉄管  
鑄鉄放熱器  
亞鉛メッキ鋼板  
亞鉛メッキ鋼線  
ブリキ  
鍍銀  
パネ  
鋼索  
金網  
ホルト、ナット及座金(リベット)  
金屬製釘類  
金屬製針類  
ブリキ罐  
ドラム罐  
鍍前、鍍及蝶番  
金屬製建具、家具及什器  
金、白金及銀器(貴金屬細工品)

ヲ含ム)  
金屬製ペン先  
剃刀(安全剃刀ヲ含ム)  
食卓用ナイフ、フォーク及スプーン  
蒸氣罐竝ニ蒸氣罐部分品及附屬品  
蒸氣機関及蒸氣タービン  
内燃機関  
其ノ他ノ原動機  
原動機部分品及附屬品  
發電機(電動發電機ヲ含ム)  
電動機  
變壓機  
扇風機  
電熱器  
家庭用ラジオ受信機  
其ノ他ノ通信機械器具(搬送裝置ヲ含ム)  
絶縁電線  
電纜  
蓄電池  
乾電池

切削研磨用金屬工作機械  
其ノ他ノ金屬工作機械  
金屬工作機械部分品及附屬品(工具ヲ除ク)  
製材及木工機械  
工具  
採礦機械器具  
採油機械器具  
選礦及精鍊機械器具  
化學工業用機械器具  
紡績機械器具  
織布機械器具  
染色及整理機械器具  
メリヤス機械器具  
其ノ他ノ紡績機械器具  
紡績機械器具部分品及附屬品  
食料品製造加工用機械器具  
印刷及製本機械器具(活字ヲ含ム)  
ミシン及ミシン部分品  
大型自動車  
小型四輪自動車  
自動二輪車及自動三輪車



自動車部分品及附属品(ゴム製  
タイヤ及チューブヲ除ク)  
自轉車  
自轉車部分品及附属品(ゴム製  
タイヤ及チューブヲ除ク)  
其ノ他ノ車輛並ニ同部分品及附  
属品(ゴム製タイヤ及チューブ  
ヲ除ク)  
起重機、ホキスト、エレベータ、  
コンベヤ、捲揚機等ノ運搬機械  
ポンプ  
農業用機械  
土木建築用機械  
農具及土工具  
度量衡器  
ガスメートル及水量メートル  
寒暖計及体温計  
電氣計器  
其ノ他ノ計器  
電氣時計  
置時計  
掛時計  
懐中時計及腕時計

時計部分品  
試験及検査機械器具  
學術用機械器具  
醫療用機械器具  
寫眞機  
寫眞機部分品  
映画撮影機及映寫機レンズ(プ  
リズムヲ含ム)  
眼鏡及眼鏡縁  
顯微鏡、望遠鏡、双眼鏡等ノ光  
學機械器具  
電球  
懐中電燈  
樂器類  
蓄音機  
計算機、金銭登錄機、タイプラ  
イター等ノ事務用機械  
金庫  
ガス器具  
弁及コック  
軸受  
軸受部分品(球及コロヲ含ム)  
齒車

ベルト車、車輪及車軸  
醫藥、賣藥及賣藥類似品  
ソーダ灰  
苛性ソーダ  
硫酸  
壓縮酸素  
壓縮アンモニア  
カーバイド  
塩酸  
晒粉  
硝酸  
苛性カリ  
芒硝  
硫化ソーダ  
石炭酸  
醋酸  
塩化カリ  
アルコール  
グリセリン  
ベンゼン  
ナフタリン  
其ノ他ノ工業藥品  
食塩(岩塩ヲ含ム)

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十九ノ四  
硫化染料  
塩基性染料  
直接染料  
人造藍  
其ノ他ノ染料  
アニリン  
其ノ他ノ染料中間物  
漆液  
ワニス  
エナメルペイント  
其ノ他ノペイント  
靴墨  
其ノ他ノ塗料  
亞鉛華  
鉛丹  
繪画用繪具  
印刷インキ  
其ノ他ノインキ  
其ノ他ノ顔料  
マツチ  
火藥、爆藥、煙火類  
コールドター  
クレオソート油

揮發油  
輕油  
燈油  
マシノ油  
重油  
パラフィン  
アスファルト(石油アスファルト  
ヲ含ム)  
ピッチ  
人造石油  
茶種油  
胡麻油  
棉實油  
椰子油  
大豆油  
在油  
糠油  
樟腦油  
薄荷油  
其ノ他ノ植物油(植物性揮發油  
ヲ含ム)  
樟腦  
薄荷腦

魚油  
獸脂類  
木蠟  
蠟燭  
ボイル油  
硬化油  
ステアリン酸  
其ノ他ノ加工油  
生ゴム  
再生ゴム素地  
飛行機、自動車、自動二輪車及  
自動三輪車用空気入タイヤ  
飛行機、自動車、自動二輪車及  
自動三輪車用チューブ  
自轉車用タイヤ  
自轉車用チューブ  
其ノ他ノゴム製タイヤ及其ノ附  
属品  
ゴム靴  
ゴム底布靴  
ゴム管  
ゴムベルト  
碎木バルブ

製紙用化學バルブ  
化學纖維用化學バルブ  
印刷用紙  
筆記用紙  
包装用紙  
アートペーパー  
半紙  
美濃紙  
鳥ノ子紙及模造紙  
板紙  
塵紙  
其ノ他ノ紙  
セロファン紙  
セルロイド素地(再生セルロイ  
ド素地ヲ含ム)  
セルロイド製櫛  
人造絹絲  
ステープルファイバー  
大豆粕  
菜種絞粕  
其ノ他ノ植物質肥料  
魚絞粕  
其ノ他ノ動物質肥料

五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十九ノ五  
過燐酸石灰  
硫酸アンモニア  
石灰窒素  
硫酸カリ  
其ノ他ノ礦物質肥料  
化成肥料  
配合肥料  
グロム蘇牛革  
濫蘇牛革  
其ノ他ノ革  
兔毛皮  
其ノ他ノ精製毛皮  
化粧石鹼  
工業用石鹼  
洗濯石鹼  
粉石鹼  
其ノ他ノ石鹼  
香水  
香油  
齒磨  
白粉  
化粧水  
クリーム



其ノ他ノ化粧品  
 人造レジン素地  
 バルカナイスドファイバー素地  
 リノリウム  
 防水布及油布  
 建築用防水紙及防水布  
 擬革布  
 ゴム引布  
 寫眞用フィルム  
 寫眞用乾板  
 寫眞用印画紙  
 人造香料  
 タニン  
 膠  
 カゼイン  
 セラチン及デキストリン  
 殺虫劑  
 防腐劑  
 カーボランダム、金剛砂等ノ研  
 磨材料  
 人造砥石、紙礮等ノ研磨用品  
 炭素電極  
 コークス

煉炭  
 木炭  
 炭團  
 蚊取線香  
 其ノ他ノ線香類  
 飲食用陶磁器  
 衛生用及家具用陶磁器  
 タイル及テラカッタ  
 磚子  
 耐酸及耐熱用陶磁器  
 陶管  
 ガラス製飲食器  
 珠玉、光球、腕輪等ノ裝飾用ガ  
 ラス製品  
 ガラス製笠及グローブ類  
 ガラス製燭類(魔法燭ヲ除ク)  
 板ガラス  
 鏡  
 セメント  
 耐火煉瓦  
 其ノ他ノ煉瓦  
 屋根瓦(セメントト瓦ヲ除ク)  
 石灰

家具及飲食用珐瑯鉄器  
 セメント瓦  
 セメント管類  
 石棉スレート(セメントヲ混用シタ  
 シタルモノ)  
 石棉管類(セメントヲ混用シタ  
 ルモノ)  
 生絲  
 其ノ他ノ蠶絲類  
 純綿絲  
 混紡綿絲  
 紡績絹絲  
 麻絲  
 純毛絲(トップヲ含ム)  
 混紡毛絲(トップヲ含ム)  
 ステープルファイバー絲  
 綿擦絲  
 絹擦絲  
 其ノ他ノ絲及擦絲  
 細綾木綿(綿織物 廣幅)  
 綾木綿(綿織物 廣幅)  
 縹子(綿織物 廣幅)  
 縹子(綿織物 廣幅)  
 金巾(綿織物 廣幅)

粗布(綿織物 廣幅)  
 天竺(綿織物 廣幅)  
 綿縮(綿織物 廣幅)  
 小倉(綿織物 廣幅)  
 綿ネル及綿ネル生地(綿織物  
 廣幅)  
 ホプリン(綿織物 廣幅)  
 其ノ他ノ綿織物(廣幅)  
 白木綿(綿織物 小幅)  
 晒木綿(綿織物 小幅)  
 捺染緋(綿織物 小幅)  
 縹木綿(綿織物 小幅)  
 縹木綿(綿織物 小幅)  
 織色木綿(綿織物 小幅)  
 其ノ他ノ綿織物(小幅)  
 縮緬(絹織物 廣幅 壁ヲ含ム)  
 羽二重及生絹縹子(絹織物 廣  
 幅)  
 富士絹(絹織物 廣幅)  
 絹紬(絹織物 廣幅)  
 縹子(絹織物 廣幅)  
 其ノ他ノ絹織物(廣幅)  
 御召(絹織物 小幅 壁ヲ含ム)

縮緬(絹織物 小幅 壁ヲ含ム)  
 羽二重(絹織物 小幅)  
 銘仙及節織(絹織物 小幅)  
 其ノ他ノ絹織物(小幅)  
 男物帶地(絹織物)  
 女物帶地(絹織物)  
 黃麻布(廣幅)  
 黃麻袋  
 亞麻布及苧麻布(廣幅)  
 麻製帆布  
 其ノ他ノ麻織物  
 モスリン(毛織物)  
 著尺セル(毛織物)  
 洋服用サージ(毛織物)  
 羅紗(毛織物)  
 フランネル(毛織物)  
 其ノ他ノ毛織物  
 縮緬(人造絹織物 廣幅 壁ヲ  
 含ム)  
 羽二重(人造絹織物 廣幅)  
 縹子(人造絹織物 廣幅)  
 其ノ他ノ人造絹織物(廣幅)  
 縮緬(人造絹織物 小幅 壁ヲ

含ム)  
 著尺物(人造絹織物 小幅 羽  
 尺及袴地ヲ含ム)  
 其ノ他ノ人造絹織物(小幅)  
 男物帶地(人造絹織物)  
 女物帶地(人造絹織物)  
 モスリン(ステープルファイバ  
 ー織物 廣幅)  
 著尺セル(ステープルファイバ  
 ー織物 廣幅)  
 洋服用サージ(ステープルファ  
 イバー織物 廣幅)  
 羅紗(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)  
 其ノ他ノ婦人及子供用服地(ス  
 テープルファイバー織物 廣  
 幅)  
 細綾木綿(ステープルファイバ  
 ー織物 廣幅)  
 綾木綿(ステープルファイバー  
 織物 廣幅)  
 縹子(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)

金巾(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)  
 粗布(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)  
 天竺(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)  
 綿縮(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)  
 小倉(ステープルファイバー織  
 物 廣幅)  
 綿ネル及綿ネル生地(ステープ  
 ルファイバー織物 廣幅)  
 ホプリン(ステープルファイバ  
 ー織物 廣幅)  
 其ノ他ノステープルファイバー  
 織物(廣幅)  
 白木綿(ステープルファイバー  
 織物 小幅)  
 晒木綿(ステープルファイバー  
 織物 小幅)  
 捺染緋(ステープルファイバー  
 織物 小幅)  
 縹木綿(ステープルファイバー  
 織物 小幅)  
 縹木綿(ステープルファイバー

織物 小幅)  
 縹木綿(ステープルファイバー  
 織物 小幅)  
 織色木綿(ステープルファイバ  
 ー織物 小幅)  
 其ノ他ノステープルファイバー  
 織物(小幅)  
 タオル地  
 タオル  
 敷布  
 毛布  
 プラッシュ及天鵞絨地氈及綴通  
 ベルト  
 テープ  
 メリヤス素地  
 メリヤスシャツ及ズボン下  
 メリヤス靴下  
 メリヤス手袋  
 メリヤス猿股類  
 打綿  
 眞綿  
 其ノ他ノ綿  
 フェルト  
 五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ十九ノ七







**第一條** 常時五人未満ノ職工（工業主又ハ之ト雇傭關係ナキ者ニシテ職工ノ作業ヲ爲スモノヲ含ム以下同シ）ヲ使用スル工場（作業場ヲ含ム以下同シ）ノ工業主ハ工場毎ニ毎年別記様式第一號ニ依ル調査票甲三通ニ該當事項ヲ調査記入シ翌年一月末日迄ニ其ノ工場所在地ノ市町村長ニ之ヲ提出スベシ

**第二條** 常時五人以上ノ職工ヲ使用スル工場ノ工業主ハ工場毎ニ毎年別記様式第二號ニ依ル調査票乙三通ニ該當事項ヲ調査記入シ翌年一月末日迄ニ其ノ工場所在地ノ市町村長ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ調査票ニ調査記入スベキ事項中原動機、作業機械及設備並ニ原料及材料ノ種類ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第一項ノ調査票ニ調査記入スベキ事項中生産品名及主要事業ハ別ニ定ムル分類ニ依リ区分シテ之ヲ記入スベシ

**第三條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル工場ノ工業主ハ前條ノ規定ニ拘ラズ工場毎ニ毎年別記様式第三號ニ依ル調査票丙第一號乃至第三號各四通及調査票丙第四號乃至第七號各三通ニ該當事項ヲ調査記入シ調査票丙第一號乃至第三號ハ翌年一月末日迄ニ其ノ工場所在地ノ市町村長ニ、調査票丙第四號乃至第七號ハ之ニ別記様式第四號ニ準ジテ作成シタル其ノ工場ノ平面圖三通ヲ添附シ翌年二月末日迄ニ其ノ工場所在地ノ地方長官ニ之ヲ提出スベシ但シ工場ノ平面圖ハ本則ノ規定ニ基キ既ニ提出シタルモノニ變更ナキ限り之ガ添附ヲ省略スルコトヲ得

一 左ニ掲グル事業ヲ行フ工場ニシテ常時五人以上其ノ事業ニ従事ス

● **工業調査規則** (昭和十四年九月八日 商工省令第四十九號)  
 資源調査法第一條ノ規定ニ依リ工業調査規則左ノ通定ム  
 工業調査規則

第二六五號

- ル 職工ヲ使用スルモノ
- イ 蹄鐵又ハ蹄釘ノ製造
- ロ 壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ノ製造
- 二 左ニ掲グル事業ヲ行フ工場ニシテ常時十五人以上其ノ事業ニ従事スル職工ヲ使用スルモノ
  - イ 金屬工用、木工用、紡織用其ノ他ノ製造加工用機械器具ノ製造
  - ロ 醫療用又ハ獸醫用ノ機械器具又ハ材料ノ製造
  - ハ 潜水用器具、毒瓦斯防禦用具、消火器又ハ噴霧器ノ製造
  - ニ 「レンズ」、「プリズム」、顯微鏡、雙眼鏡ノ類ノ製造
  - ホ 兵器若ハ航空機ノ附屬品若ハ部分品又ハ氣球ノ製造
  - ヘ 醫藥品ノ製造
  - ト 塗料又ハ顔料ノ製造
  - チ 酒精又ハ蒸餾酒ノ製造
  - リ 瓦斯ノ製造
  - 三 左ニ掲グル事業ヲ行フ工場ニシテ常時三十人以上其ノ事業ニ従事スル職工ヲ使用スルモノ
    - イ 「フェルト」又ハ「フェルト」製品ノ製造
    - ロ 機械裁縫
    - ハ 金屬ノ塊、錠、條、竿、線、板、筒、管其ノ他ノ金屬素材ノ製造
    - ニ 梁材又ハ鐵道軌道用、船舶用、建築用若ハ支柱支架用ノ金屬材



料ノ製造

- ホ 合金ノ製造
- ヘ 「ボールト」、「ナット」、鋸、釘、針ノ類ノ製造
- ト 鋸、鏈鎖又ハ撥條ノ製造
- チ 金屬製ノ罐、槽、筒ノ類ノ製造
- リ 金屬製又ハ纖維製ノ綱索ノ製造
- メ 鍍金又ハ金屬ノ被覆
- ル 汽罐、原動機、瓦斯用機械、唧筒、送風機類又ハ其ノ附屬機械器具ノ製造
- ラ 電氣機械器具ノ製造
- ロ 通信用、信號用又ハ照明用ノ機械器具ノ製造
- カ 起重機、「コンベヤー」其ノ他ノ運搬用機械器具ノ製造
- コ 試験用、検査用、計測用又ハ學術用ノ機械器具ノ製造
- ク 印刷用又ハ製圖用ノ機械器具ノ製造
- ケ 寫真用ノ機械器具又ハ材料ノ製造
- コ 兵器ノ製造
- ソ 自動車、自動自轉車又ハ自轉車ノ製造又ハ修理
- ネ 船舶ノ製造又ハ修理
- ナ 機械、車輛又ハ船舶ノ附屬品又ハ部分品ノ製造
- ラ 動力傳導用ノ車輪、車軸、車軸接手、金屬製軸承又ハ鋼球ノ製造
- ム 船舶用、建築用若ハ家具用ノ金具、「バルブ」又ハ「コック」ノ製造

- ウ 耐酸用又ハ耐火用ノ煉瓦ノ製造
- キ 炭化石灰ノ製造
- ノ 炭素製品ノ製造
- オ 坩堝ノ製造
- ク 研磨材料又ハ研磨用品ノ製造
- ヤ 「コークス」、「コールドター」又ハ「ピッチ」ノ製造
- マ 工業藥品ノ製造
- ケ 合成染料ノ製造
- フ 石鹼ノ製造
- コ 火藥、爆藥又ハ火工品ノ製造
- エ 礦物油、動植物油脂、脂肪酸、蠟又ハ加工油ノ製造
- テ 製材又ハ木製品ノ製造
- ア 「コルク」製品又ハ其ノ類似品ノ製造
- サ 皮革又ハ皮革製品ノ製造
- キ 雲母製品又ハ石棉製品ノ製造
- ユ 亞鉛版、石版、銅版又ハ寫眞版ヲ以テスル印刷
- メ 精穀
- ミ 麵粉、「ビスケット」又ハ水飴ノ製造
- シ 罐詰、鹹詰又ハ樽詰ノ食料品ノ製造
- エ 乾製、鹽製又ハ燻製ノ食料品ノ製造
- 四 左ニ掲グル事業ヲ行フ工場ニシテ常時五十人以上其ノ事業ニ従事スル職工ヲ使用スルモノ
- イ 麻織物、麻交織物、毛織物又ハ毛交織物ノ製造

口 絲布ノ浸染

- ハ 莫大小又ハ莫大小製品ノ製造
- ニ 絶縁電線及電纜ノ製造
- ホ 鎖業用、農業用又ハ土木用ノ機械器具ノ製造
- ヘ 鐵道軌道用車輛ノ製造又ハ修理
- ト 航空機ノ製造
- チ 製氷機、冷蔵庫、暖房器又ハ金庫ノ製造
- リ 耐酸用、耐熱用又ハ絶縁用ノ陶磁器ノ製造
- メ 硝子又ハ硝子製品ノ製造
- ル 珙瑯磁器ノ製造
- ヲ 松脂、樟腦、薄荷腦、「テレビン」油、樟腦油又ハ薄荷油ノ製造
- ロ 護謨製品又ハ其ノ類似品ノ製造
- カ 「セルロイド」又ハ「セルロイド」製品ノ製造
- ヨ 人造肥料ノ製造
- タ 「リノリウム」ノ製造
- レ 紙器ノ製造
- ソ 網ノ製造
- ツ 穀粉ノ製造
- ネ 砂糖ノ製造
- 五 左ニ掲グル事業ヲ行フ工場ニシテ常時百人以上其ノ事業ニ従事スル職工ヲ使用スルモノ
- イ 綿絲、絹絲、麻絲又ハ毛絲ノ紡績
- ロ 廣幅綿織物、縮帆布又ハ縮袋織物ノ製造

ハ 「セメント」又ハ「セメント」製品ノ製造

- ニ 人造絹絲ノ製造
- ホ 紙又ハ「バルブ」ノ製造
- 第四條 市町村長ハ市町村内ノ調査票(調査票丙第四號乃至第七號ヲ除ク)ヲ取總メ審査ノ上其ノ各一通ハ之ヲ受理シタル日ヨリ二年間其ノ應ニ保存シ調査票甲二通ハ三月十五日迄ニ、調査票乙二通及調査票丙第一號乃至第三號各三通ハ二月末日迄ニ地方長官ニ之ヲ提出スベシ
- 第五條 市町村ニ工業調査員ヲ置ク
- 第六條 工業調査員ハ市町村長ノ指揮監督ヲ承ケ調査票ノ配付及蒐集ニ従事ス
- 工業調査員ハ名譽職トス
- 工業調査員ノ任期ハ四年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ
- 第七條 地方長官ハ受理シタル調査票及工場ノ平面圖ヲ審査ノ上其ノ各一通ハ之ヲ受理シタル日ヨリ二年間其ノ應ニ保存シ調査票甲一通ハ四月末日迄ニ、調査票乙一通、調査票丙第一號乃至第七號各二通及工場ノ平面圖二通ハ番號ヲ記入シ三月末日迄ニ商工大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 第八條 地方長官ハ別記様式第五號ニ依リ毎年一月一日ヨリ六月末日迄ノ間ニ管轄区域内ニ生シタル第三條ニ掲グル工場ノ開業、休業及廢業ニ付報告書各二通ヲ作製シ八月十五日迄ニ商工大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 第九條 本則ノ規定ニ依リ提出シタル調査票及報告書ハ統計上ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ人的及物的資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ必要ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ



前項ノ調査票及報告書ハ統計上ノ目的ニ使用スル場合ト雖モ地方長官又ハ市町村長之ヲ集計發表セントストキハ豫メ商工大臣ノ認可ヲ受ケベシ  
 第三條ノ規定ニ依リ調査票ニ添附シタル工場ノ平面圖ハ人的及物の資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ必要ナル場合ノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十條 本則ノ規定ニ依リ提出シタル調査票ハ前條ノ規定ニ拘ラズ工場名簿調製ノ目的ヲ以テ左ニ掲グル事項ヲ摘録スル爲之ヲ使用スルコトヲ得

- 一 工場名
  - 二 工場所在地
  - 三 電話番号
  - 四 工業主氏名又ハ名稱
  - 五 事業開始年月
  - 六 主要事業
  - 七 生産品名
- 第十一條 本則中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス
- 第十二條 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ヲ行フ工場及官公立工場ニハ本則ヲ適用セズ

附則  
 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 工場調査規則及商工省統計報告規則ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ廢

止ス但シ罰則ノ適用ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル  
 工場調査規則ニ依リ提出シタル調査票、工場ノ平面圖及報告書ハ本則ニ依リ之ヲ提出シタルモノト看做ス  
 商工省統計報告規則ニ依リ蒐集シタル資料ハ統計上ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ  
 商工省統計報告規則ニ依ル商工省統計調査ニ關スル事務ニ從事シタル者其ノ職務ノ執行ニ關シ個人、法人又ハ組合ノ業務ニ付知得シタル事項ヲ故ナク他ニ漏洩シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

別記様式 第一號 日本標準規格A列四號

票 甲						備 考	昭和 年 月 日提出	住工 業所 及 業主 ノ 氏名 捺印	
				電話番號					
		男	女	計					
職 工		(製造、加工、修理等ノ仕事ヲシテ居ル人、臨時工、見習工等ヲ含ム)							
其ノ他		(事務員、技術員、販賣員、運搬夫、給仕等ヲ謂フ)							
職 工 = 準 ズ ル 者									
其 ノ 他									
額		(一月一日ヨリ十二月末日迄ノ實際使用シタモノノ總額)						圓	
理ヲシタ品物ノ種類ヲ詳シク分ケテ生産品名欄ニ記入ノ地方テ使ハレテ居ル特殊ノ名前ヲ其ノ工場テ附ケテ記入セズ一般ニ通用スル名前テ記入スルコト又ハ他ノ工場ニ出シテ其ノ工場テハ全然製造、加工、修品ニ付テハ記入シナイコト入スル價額ハ賣レタ製品ニ付テハ其ノ賣ツタ値段ヲ記タモノガアル場合ハ十二月末日ノ市價ニ依リ其ノ値段タモノト合計シテ記入スルコト料欄ニハ頼マレテ他人ノモノニ加工又ハ修理ヲシテ其受取ツタ工賃ヲ記入スルコト									
製 造 高		加 工 賃 及 修 理 料							
數 量	數量 單位	價 額	數 量	數量 單位	價 額				
		圓			圓				
		圓			圓				
		圓			圓				
		圓			圓				
		圓			圓				
		圓			圓				
(例ハ紙製製造業、電球製造業、自動車修理業ノ如ク記入スルコト) (二種以上ノ事業ヲ營ム聯合ニハ主ナルモノ一種ヲ記入スルコト)									



(工業) 調査

◎第 號		工場名		馬力		從業者數		主要事業	
工場所在地		電動機(電氣モーター)		臺		履傭從業者 (雇ハレテ仕事 ヲシテ居ル人)		原料及材料總使用	
其他ノ原動機		其ノ他ノ原動機		臺		家族從業者 (工業主ヤ家族ノ者 テ其ノ工場ノ仕事 ヲシテ居ル人)		1 製造、加工、修 スルコト	
(十二月末日現在)		(蒸氣機關、蒸氣タービン、ガス機關、 石油機關、水車等ヲ謂ヒ發電機及蒸氣 機ハ含マヌ)		臺		生 産		2 生産品名ハ其 特殊ノ名前ヲ	
原動機		擦 絲 機 (洋式又ハ八丁)		臺		額		3 他カラ買入レ 理ヲシナイ製	
主要作業機械及設備		力 織 機(動力=依ル織機)		臺		(一月一日ヨリ十二月末日迄)		4 製造高欄=記 入シ賣レ残ツ ヲ見積リ賣レ	
筵巾 25吋未滿ノモノ		筵巾 25吋以上ノモノ		臺		生 産 額		5 加工賃及修理 ノ報酬トシテ	
手 機 (足踏機ハ含マヌ)		メリヤス素地編機		臺		生 産 品 名			
メリヤス靴下編機		ミ シ ン (縫布用ノモノ)		臺					
キユボラ(筒型熔銑爐 コシキヲ含ム)		旋 盤 (金屬工用ノモノ)		臺					
ボール盤 (金屬工用ノモノ)		フライス盤 (ミリングマシン)		臺					
形 削 盤 (シェーパー)		陶 磁 器 燒 成 窯		臺					
植物油搾機(水壓又ハ手動ノモノ)		帶鋸盤 (製材又ハ木工用ノモノ)		臺					
円鋸盤 (製材又ハ木工用ノモノ)		活 版 印 刷 機		臺					
作 業 日 數 (一月一日ヨリ十二月末日迄)		日		日					

◎欄ハ道府縣廳ニ於テ記入スルコト

(工業) 調査票乙

◎第 號		工場名		電話番號		昭和 年 月 日提出	
工場所在地		工場開始年月		種 類		工業主及住家ノ 姓名及 捺印	
種 類		職 員		實馬力數別		備 考	
事務=従事スル者 技術=従事スル者		十六歳未滿 十六歳以上五十歳未滿 五十歳以上		馬力ノモノ 馬力ノモノ 馬力ノモノ 馬力ノモノ			
其ノ他ノ從業者		計		操業數		休止及豫備ノ數	
四 期 別		計		計		計	
1 月 3 月		計		計		計	
4 月 6 月		計		計		計	
7 月 9 月		計		計		計	
10 月 12 月		計		計		計	
賃 銀 支 拂 總 額		賃 銀 支 拂 總 額		賃 銀 支 拂 總 額		賃 銀 支 拂 總 額	
(一月一日ヨリ十二月末日迄)		(一月一日ヨリ十二月末日迄)		(一月一日ヨリ十二月末日迄)		(一月一日ヨリ十二月末日迄)	
職工一人一日當賃收賃銀		職工一人一日當賃收賃銀		職工一人一日當賃收賃銀		職工一人一日當賃收賃銀	

◎欄ハ道府縣廳ニ於テ記入スルコト

第二號 日本標準規格B列四號































其ノ他ノ銅合金材料  
品製造業

- 其ノ他ノ銅合金板
- 其ノ他ノ銅合金條
- 其ノ他ノ銅合金管
- 其ノ他ノ銅合金棒
- 其ノ他ノ銅合金線
- 其ノ他ノ銅合金セバ又ハノベ
- 其ノ他ノ銅合金雜線、雜棒及雜管
- チユラルミン
- シリミン
- 其ノ他ノアルミニウム合金
- マグネシウム合金
- 軸受合金
- ハンダ
- 其ノ他ノ合金

銑鉄鑄物業

- 鑄鉄管
- 鑄鉄放熱器
- 機械用鑄鉄品
- 其ノ他ノ鑄鉄品(鍋、釜、鉄瓶等)
- 可鍛鑄鉄
- 鑄鋼鋸
- 其ノ他ノ鑄鋼品
- 青銅(磷青銅ヲ含ム)鑄物業
- 青銅(磷青銅ヲ含ム)鑄物業

針類製造業

- 其ノ他ノ針類(蹄釘ヲ除ク)
- 縫針
- ミシン針
- メリヤス用針
- 其ノ他ノ針類
- フリキ織
- ドラム織
- 其ノ他ノ金属板製品

- 建築用及家具用金物製造業
- 金属製建具、家具類製造業
- 建築、橋梁、鉄塔等ノ建設材料製造業
- 金属器類製造業
- 金、白金及銀器(貴金属細工品ヲ含ム)
- 銅器及青銅器
- 黄銅器
- 錫器
- アルミニウム器
- アンチモン器
- 時計用鎖
- 徽章及賞牌
- 金属製鈕釦

- アルミニウム鑄物業
- 其ノ他ノ鑄物業
- 亞鉛メッキ業
- 錫メッキ業
- ニッケルメッキ業
- 其ノ他ノメッキ業
- 鍍銀製造業
- パネ製造業
- 鋼索製造業
- 金網製造業
- ホルト、ナット、座金及鉄製造業
- 釘類製造業
- アルミニウム鑄物業
- 其ノ他ノ機械用鑄物業
- 其ノ他ノ鑄物業
- 亞鉛メッキ鋼板
- 亞鉛メッキ鋼線
- 亞鉛メッキ鋼管
- 其ノ他ノ亞鉛メッキ品
- アリキ
- 錫メッキ線
- 其ノ他ノ錫メッキ品
- ニッケルメッキ品
- クロムメッキ品
- 其ノ他ノメッキ品
- 鍍銀
- 其ノ他ノ鍍銀
- パネ
- 鋼索
- 金網
- ホルト、ナット及座金
- 鉄鋸(リベット)
- 其ノ他ノ鋸(リベット)
- 鉄丸釘
- 木ネチ

- 金属製ペン先製造業
- 金製ペン先(萬年筆用)
- 鋼製ペン先(メッキシタルモノヲ含ム)
- 其ノ他ノ金属製ペン先
- 剃刀、食卓用ナイフ、フォーク及スプーン製造業
- 剃刀(安全剃刀ヲ含ム)
- 食卓用ナイフ、フォーク及スプーン
- 洋傘骨製造業
- 洋傘骨
- 金属製玩具製造業
- 金属製小間物類製造業
- タボ止、ヘヤーピン、石鹼箱其ノ他ノ金属製小間物類
- 蹄鉄及蹄釘製造業
- 蹄鉄
- 蹄釘
- 火造(鍛冶)業
- 火造品
- 金属切断業
- 金属切断品
- 熔接業
- 熔接品
- 其ノ他ノ金属品製造加工業
- 其ノ他ノ金属品
- 機械器具工業
- 主要事業
- 蒸氣罐製造業
- 水管罐
- 組合罐
- 陸用凹罐
- 其ノ他ノ蒸氣罐
- 蒸氣罐部分品及附属品



蒸氣機関及蒸氣タービン製造業

内燃機関製造業

水車製造業

其ノ他ノ原動機製造業

原動機部分品及附属品製造業

電氣機械器具製造業

無線及有線通信機械器具製造業

蒸氣タービン

ガス機関

重油機関

タービン水車

ペルトン水車

其ノ他ノ原動機

原動機部分品及附属品

發電機(電動發電機ヲ含ム)

電動機

回轉變流機

周波數變換機

變壓器

水銀整流器

其ノ他ノ整流器

扇風機

電熱器

其ノ他ノ電氣機械器具

家庭用ヲテオ受信機械器具

其ノ他ノ無線通信機械器具

其ノ他ノ金屬工作機械

金屬工作機械部分品及附属品(工具ヲ除ク)

製材及木工機械

金屬工用切削工具

金屬工用剪断及打貫工具

其ノ他ノ金屬工用工具

木工用工具(鋸、ノミ、鉋等)

其ノ他ノ工具(剪毛用ナイフ等)

手工具(空氣工具、萬力、スパナ、ペンチ、ネジ廻等)

探鑛、選鑛及精鍊機械器具製造業

探油機械器具

砂金採取船

選鑛及精鍊機械器具

蒸溜、蒸着及蒸發機

濾過、混合及分離機

冷却及乾燥機

反應機

化學工業用破碎機

其ノ他ノ化學工業用機械器具

窯業用機械器具製造業

有線通信機械器具(搬送裝置ヲ含ム)

絶縁電線

撚合裸線

電纜

蓄電池

乾電池

旋盤

ボール盤

中グリ盤

フライス盤

研磨盤

齒切盤

平削盤、形削盤及堅削盤

ブローチ盤

金切鋸盤

其ノ他ノ切削研磨用金屬工作機械

打貫機

剪断機

型付プレス

其ノ他ノ金屬板加工用工作機械

壓延機

機械槌

火造プレス

製紙機械器具製造業

紡績機械器具製造業

織布機械器具

染色機械器具

布帛整理加工機械器具

メリヤス機械器具

其ノ他ノ紡績機械器具

紡績機械部分品及附属品

蠶絲機械器具

蠶絲機械器具部分品及附属品

自動専用ガス發生裝置

其ノ他ノガス發生裝置

食料品製造加工用機械器具

印刷機械器具

活字

製本機械器具

ミシン及ミシン部分品

鑄造機械

其ノ他ノ製造加工用機械器具

蒸氣機関車(炭水車ヲ含ム)

電氣機関車

内燃機関車

機關車部分品及附属品

窯業用機械器具製造業

化學工業用機械器具製造業

探鑛、選鑛及精鍊機械器具製造業

工具製造業

金屬工作機械部分品及附属品製造業

無線及有線通信機械器具製造業



客車  
貨車  
客車及貨車ノ部分品及附属品  
電車  
電車部分品及附属品  
内燃自動車  
小型蒸氣機関車  
小型電氣機関車  
小型内燃機関車  
小型貨車  
小型鉄道車輛部分品及附属品  
乗用自動車  
貨物自動車  
乗合自動車  
特殊自動車  
小型四輪自動車  
自動二輪車  
自動三輪車  
自動車車体  
自動車部分品及附属品  
自轉車  
自轉車部分品及附属品  
其ノ他ノ車輛製造業

鋼船製造業  
其ノ他ノ船舶製造業  
航空機製造業  
航空機部分品及附属品製造業  
運搬機械製造業  
起重機  
ホキスト  
エレベーター  
コンベヤ  
捲揚機  
其ノ他ノ運搬機械  
ポンプ  
水壓機(金屬工作機械ヲ除ク)  
送風機  
氣體壓縮機  
農業用機械  
農具  
土木建築用機械  
土工具  
度量衡器製造業  
衡器

ガスマートル及水量メートル製造業

度量衡器部分品及附属品  
ガスマートル  
水量メートル  
ガスマートル及水量メートルノ部分品及附属品

寒暖計製造業

寒暖計

電氣計器製造業

電氣計器

計壓器類製造業

計壓器類

其ノ他ノ計器製造業

其ノ他ノ計器

電氣時計製造業

電氣時計

其ノ他ノ時計製造業

置時計

掛時計

掛時計

懐中時計及腕時計

懐中時計及腕時計

時計部分品

時計部分品

測量機械器具製造業

測量機械器具

試験及検査機械器具製造業

材料試験機

グーシ類

グーシ類

検査測定機

検査測定機

其ノ他ノ試験検査機械器具

其ノ他ノ試験検査機械器具

學術用機械器具製造業

學術用機械器具

醫療用機械器具製造業

醫療用機械器具

寫眞機類製造業

寫眞機及寫眞機部分品

其ノ他ノ光學機械器具製造業

映画撮影機及映寫機  
幻燈器  
其ノ他ノ寫眞機類  
レンズ(プリズムヲ含ム)

電球製造業

電球

其ノ他ノ照用機械器具製造業

探照燈  
懐中電燈  
其ノ他ノ照用機械器具

樂器類製造業

ピアノ

オルガン

オルガン

バイオリン、マンドリン、ギター等ノ絃樂器

其ノ他ノ樂器類

蓄音機製造業

蓄音機

銃砲、彈丸、兵器類製造業

銃砲、彈丸、兵器類

事務用機械製造業

計算機、金錢登錄機、タイプライター等ノ事務用機械

金庫製造業

金庫

ガス器具製造業

ガス器具

弁及コック製造業

弁及コック



軸受製造業

球軸受  
コロ軸受  
其ノ他ノ軸受  
軸受部分品(球及コロヲ含ム)  
齒車

齒車製造業  
ベルト車、車輪及車  
軸製造業  
前掲以外ノ部分品及  
附属品製造業  
其ノ他ノ機械器具製  
造業

化學工業

製藥業  
ソーダ製造業

生産品

品名

醫藥、賣藥及賣藥類似品  
ソーダ灰  
苛性ソーダ  
洗濯ソーダ  
重炭酸ソーダ  
發煙硫酸  
六十五度以上ノ硫酸  
六十度以上ノ硫酸  
六十度未満ノ硫酸  
黃磷  
赤磷

壓縮ガス製造業

硫化燐  
酸素  
水素  
塩素  
アセチレン

炭酸(固體ノモノヲ含ム)  
アンモニア(氣體及液體ノモノ)  
其ノ他ノ壓縮ガス  
カーバイド(炭化石灰)  
塩酸  
晒粉  
合成硝酸  
其ノ他ノ硝酸  
重クロム酸ソーダ  
重クロム酸カリ  
過マンガン酸カリ  
珪酸ソーダ  
珪酸カリ  
塩素酸ソーダ  
塩素酸カリ  
苛性カリ  
芒硝  
硫化ソーダ

カーバイド製造業

其ノ他ノ工業藥品製造業

硫酸アルミニウム  
シアンナトリウム及シアンカリ其ノ他ノ工業藥品

食塩

藍

其ノ他ノ天然染料

硫化染料

塩基性染料

直接染料

酸性染料

媒染染料

人造藍

其ノ他ノ建築染料

其ノ他ノ合成染料

アニリン

ベタナフトール

ニトロアニリン

ニトロトルイジン

ナフチルアミン

オキシナフトエ酸誘導体

其ノ他ノ中間物

漆液

ワニス

エナメルペイント

二硫化炭素

石炭酸

サリチル酸

醋酸

メタノール

アルコール

ブチルアルコール

アセトン

ホルマリン

エーテル

グリセリン

グリコール

ヨード

ヨードカリ

塩化カリ

炭酸カリ

硝石

硝酸アンモン

塩化カルシウム

塩化亜鉛

炭酸マグネシア

人造氷晶石

明礬

漆液製造業  
塗料製造業

製塩業  
天然染料製造業  
硫化染料製造業  
其ノ他ノ合成染料及  
中間物製造業



顔料製造業

- 水性塗料
- 其ノ他ノペイント
- ニトロセルロース塗料
- アセチルセルロース塗料
- 靴墨
- 其ノ他ノ塗料
- 亜鉛華(酸化亜鉛)
- 一酸化鉛(密陀僧)
- 鉛丹(光明丹)
- 硫酸バリウム
- リトボン
- チタン白
- 鉛白
- 群青
- 紺青(プルシアンブルー)
- ベンガラ(紅殻)
- 金液
- 其ノ他ノ窯業用顔料
- 繪画用繪具
- 墨
- 印刷インキ
- 其ノ他ノインキ
- 其ノ他ノ顔料

マッチ製造業

石油精製業

- マツチ
- 其ノ他ノ發火物製造業
- 有煙火藥
- 無煙火藥
- ダイナマイト
- 其ノ他ノ爆藥
- 導火索
- 煙火
- 其ノ他ノ發火物
- コールタール
- ベンゾール
- トルオール
- グレオソート油
- ナフトリン
- コールタールピッチ
- 其ノ他ノコールタール分溜物
- 揮發油
- 輕油
- 燈油
- マシソ油
- 重油
- パラフィン
- 石油アスファルト
- 石油ピッチ

人造石油製造業

- 人造石油
- 人造石油精製品

油製造業

魚油製造業

- ミカン油(オレンジ油ヲ含ム)
- 其ノ他ノ植物性揮發油
- タラ油
- ニシン油
- イワシ油
- 其ノ他ノ魚油
- サナギ油
- 牛脂
- 豚脂
- 鯨油
- 其ノ他ノ獸脂類

木蠟製造業

- 木蠟
- 蠟燭製造業
- 加工油製造業

樟腦製造業

- 樟腦
- 其ノ他ノ植物油

薄荷製造業

- 薄荷腦
- 薄荷油

其ノ他ノ植物性揮發

- テレピン油(松根油ヲ含ム)



飛行機、自動車、自動二輪車及自動三輪車用チューブ  
 自轉車用タイヤ  
 自轉車用チューブ  
 其ノ他ノゴム製タイヤ及其ノ附属品  
 機械用軟質ゴム製品  
 ゴム靴  
 ゴム底布靴  
 其ノ他ノゴム製履物  
 ゴム管  
 ゴムベルト  
 其ノ他ノ軟質ゴム製品(ゴム引布ヲ除ク)  
 硬質ゴム製電槽  
 其ノ他ノ硬質ゴム製品  
 再生ゴム素地  
 再生ゴム素地製造業  
 パルプ製造業  
 碎木パルプ  
 製紙用化學パルプ  
 化學纖維用化學パルプ  
 印刷用紙  
 筆記用紙  
 圖画用紙  
 包装用紙  
 マッチ用紙

薄葉紙  
 アートペーパー  
 艶紙  
 連史紙  
 半紙  
 美濃紙  
 鳥ノ子紙及模造紙  
 壁紙  
 擬革紙  
 板紙  
 其ノ他ノ紙  
 セロファン紙製造業  
 セロファン紙  
 セロロイド素地製造業  
 セロロイド素地  
 セロロイド製品製造業  
 セロロイド製品  
 其ノ他ノセルロイド製品  
 再生セルロイド素地  
 再生セルロイド素地製造業  
 人造絹絲製造業  
 人造絹絲  
 ステープルファイバ  
 ステープルファイバ製造業  
 其ノ他ノ化學纖維製造業  
 蛋白質纖維  
 其ノ他ノ化學纖維  
 菜種絞粕  
 大豆粕

動物質肥料製造業

棉實絞粕  
 其ノ他ノ植物質肥料  
 魚絞粕  
 サナギ絞粕  
 骨粉  
 其ノ他ノ動物質肥料  
 過磷酸石灰  
 硫酸アンモン  
 石灰窒素  
 硫酸カリ  
 其ノ他ノ礦物質肥料  
 化成肥料  
 配合肥料  
 クロム糞牛革  
 澁糞牛革靴底  
 其ノ他ノ澁糞牛革  
 馬革  
 豚革  
 其ノ他ノ革  
 兔毛皮  
 其ノ他ノ毛皮

製革業

精製毛皮製造業  
 石鹼及化粧品製造業  
 化粧品製造業  
 工業用石鹼

藥用石鹼  
 洗濯石鹼  
 粉石鹼  
 其ノ他ノ石鹼  
 香水  
 香油  
 齒磨  
 白粉  
 化粧水  
 グリム  
 洗粉  
 其ノ他ノ化粧品  
 フェノールレジン素地  
 フェノールレジン製品  
 尿素レジン素地  
 尿素レジン製品  
 其ノ他ノ人造レジン  
 蓄音機レコード製造業  
 蓄音機レコード  
 バルカナイズドファイバ素地  
 バルカナイズドファイバ製造業  
 バルカナイズドファイバ製カードカン  
 其ノ他ノバルカナイズドファイバ製品  
 リノリウム製造業  
 リノリウム  
 防水布、擬革布類製  
 防水布及油布



造業

建築用防水紙及防水布製造業  
フィルム、乾板類製造業

撰革布  
ゴム引布

人造香料製造業  
タンニン製造業

乾板  
寫眞用印画紙  
人造香料

糊料製造業

殺虫劑及防腐劑製造業

合成タンニン  
タンニン酸  
タンニンエキス  
膠  
セラチン  
カゼイン  
デキストリン

研磨材料及研磨用品製造業

其ノ他ノ糊料  
殺虫劑(粉末)  
殺虫劑(液體)  
防腐劑(粉末)  
防腐劑(液體)  
カーボランダム  
アラシダム  
金剛砂

炭素製品製造業

其ノ他ノ研磨材料  
人造砥石  
紙鑪及布鑪  
其ノ他ノ研磨用品  
人造黒鉛電極  
天然黒鉛電極  
其ノ他ノ炭素電極  
炭素刷子  
炭素板  
炭素棒(アーク燈用ヲ含ム)  
炭素粒  
炭素パツキング

コークス製造業

其ノ他ノ炭素製品  
ピツチコークス  
冶金コークス  
其ノ他ノコークス

其ノ他ノ化學製品製造業

活性炭  
煉炭  
木炭  
線香  
松煙及油煙  
其ノ他ノ化學製品  
ガス業及電氣業

主要事業

ガス業

生 産 品 名

電氣業

ガス

窯業及土石工業

生 産 品 名

陶磁器製造業

飲食用陶磁器  
衛生用陶磁器  
家具用陶磁器  
タイル及テラカッタ  
其ノ他ノ建築用陶磁器  
特高壓磚子  
其ノ他ノ磚子  
電熱器用陶磁器  
其ノ他ノ電氣用陶磁器  
醫療用陶磁器  
耐酸及耐熱用陶磁器  
陶管  
其ノ他ノ陶磁器  
繪付陶磁器  
陶磁器繪付業

ガラス及ガラス製品製造業

ガラス製珠玉及光球(人造眞珠ヲ除ク)  
ガラス製腕輪  
其ノ他ノ裝飾用ガラス製品

セメント製造業

煉瓦及耐火物製造業

ガラス製笠及グローブ  
其ノ他ノガラス製照明器具(電球ヲ除ク)  
電氣用ガラス製品  
醫療用ガラス製品  
耐酸及耐熱用ガラス製品  
ガラス製燻類(魔法燻ヲ除ク)  
板ガラス(無色平面厚サ二・二耗以下)  
板ガラス(無色平面厚サ四・〇耗以下)  
ガラス型板  
其ノ他ノ板ガラス  
鏡  
光學用ガラス素地  
石英ガラス製品  
其ノ他ノガラス及ガラス製品  
ホルトランドセメント  
其ノ他ノセメント  
普通煉瓦  
耐火煉瓦  
耐火モルタル  
ガラス製造用ルツボ  
黒鉛製耐火物  
レトルト  
其ノ他ノ煉瓦及耐火物



屋根瓦製造業 (セメント瓦ヲ除ク)

石灰製造業

消石灰

珓瑯鉄器製造業

家具及食用珓瑯鉄器

工業用珓瑯鉄器

其ノ他ノ珓瑯鉄器

其ノ他ノ窯業製品

セメント製品製造業

セメント瓦

セメント管類

其ノ他ノセメント製品

石綿糸

石綿布

石綿組紐類

石綿シートバッキング

石綿アレイキライニング及クラッチフェイシング

石綿ミルホード

石綿紙

波板石綿スレート(セメントヲ混用シタルモノ)

其ノ他ノ石綿スレート(セメントヲ混用シタルモノ)

石綿管類(セメントヲ混用シタルモノ)

其ノ他ノ石綿製品

石工品製造業

其ノ他ノ土石工業

雲母製品

其ノ他ノ土石製品

紡織工業

主要事業

生絲製造業

玉絲製造業

野蠶絲製造業

生皮苧半絲類製造業

綿絲紡績業

絹絲紡績業

麻絲紡績業

毛絲紡績業

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

屋根瓦製造業 (セメント瓦ヲ除ク)

石灰製造業

消石灰

珓瑯鉄器製造業

家具及食用珓瑯鉄器

工業用珓瑯鉄器

其ノ他ノ珓瑯鉄器

其ノ他ノ窯業製品

セメント製品製造業

セメント瓦

セメント管類

其ノ他ノセメント製品

石綿糸

石綿布

石綿組紐類

石綿シートバッキング

石綿アレイキライニング及クラッチフェイシング

石綿ミルホード

石綿紙

波板石綿スレート(セメントヲ混用シタルモノ)

其ノ他ノ石綿スレート(セメントヲ混用シタルモノ)

石綿管類(セメントヲ混用シタルモノ)

其ノ他ノ石綿製品

石工品製造業

其ノ他ノ土石工業

雲母製品

其ノ他ノ土石製品

紡織工業

主要事業

生絲製造業

玉絲製造業

野蠶絲製造業

生皮苧半絲類製造業

綿絲紡績業

絹絲紡績業

麻絲紡績業

毛絲紡績業

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名

生 産 品 名



混紡綿織物及交織綿織物製造業

- タオル地(純綿織物)
- タオル(純綿織物)
- ガーゼ地(純綿織物)
- 敷布(純綿織物)
- 毛布(純綿織物 肩掛及膝掛ヲ含ム)
- ベルト(純綿織物)
- ホース(純綿織物)
- 帶子(純綿織物)
- テープ(純綿織物)
- 其ノ他ノ特殊物(純綿織物)
- 細綾木綿(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 綾木綿(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 襦子(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 金巾(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 粗布(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 天竺(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 綿縮(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 小倉(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 綿ネル生地(混紡及交織綿織物 廣幅)
- ホプリン(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 帆布(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 天鵞絨(混紡及交織綿織物 廣幅 ヨールテンヲ含ム)

純綿織物製造業

- 五十五ノ三ノ百十三ノ五ノ三十五ノ二十二
- 蚊帳地(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 其ノ他ノ綿木綿及織色無地(混紡及交織綿織物 廣幅)
- 其ノ他ノ混紡及交織綿織物 (廣幅)
- 白木綿(混紡及交織綿織物 小幅)
- 縞木綿(混紡及交織綿織物 小幅)
- 緋木綿(混紡及交織綿織物 小幅)
- 織色木綿(混紡及交織綿織物 小幅)
- 綿縮(混紡及交織綿織物 小幅)
- 蚊帳地(混紡及交織綿織物 小幅)
- 其ノ他ノ混紡及交織綿織物 (小幅)
- 緞通(混紡及交織綿織物)
- タオル地(混紡及交織綿織物)
- タオル(混紡及交織綿織物)
- ガーゼ地(混紡及交織綿織物)
- 敷布(混紡及交織綿織物)
- 毛布(混紡及交織綿織物 肩掛及膝掛ヲ含ム)
- ベルト(混紡及交織綿織物)
- ホース(混紡及交織綿織物)
- テープ(混紡及交織綿織物)
- 其ノ他ノ特殊物(混紡及交織綿織物)
- 縮緬(純綿織物 廣幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重及生絹縞子(純綿織物 廣幅)

織物製造業

- 富士絹(純絹織物 廣幅)
- 絹紬(純絹織物 廣幅)
- 縞子(純絹織物 廣幅)
- 洋傘地(純絹織物 廣幅)
- 天鵞絨(純絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ生絹及白絹(純絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ純絹織物(廣幅)
- 御召(純絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 縮緬(純絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重(純絹織物 小幅)
- 生織絹及紗(純絹織物 小幅)
- 銘仙及節織(純絹織物 小幅)
- 絲織(純絹織物 小幅)
- 袴地(純絹織物 小幅)
- 平絹(純絹織物 小幅)
- 其ノ他ノ生絹及白絹(純絹織物 小幅)
- 其ノ他ノ純絹織物(小幅)
- 男物帶地(純絹織物)
- 女物帶地(純絹織物 廣幅)
- 女物帶地(純絹織物 片側)
- ヲボン及テープ(純絹織物)
- 其ノ他ノ特殊物(純絹織物)
- 縮緬(人造絹絲トノ交織絹織物 廣幅 壁ヲ含ム)

- 羽二重(人造絹絲トノ交織絹織物 廣幅)
- 縞子(人造絹絲トノ交織絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ紋織物(人造絹絲トノ交織絹織物 廣幅)
- 天鵞絨(人造絹絲トノ交織絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ人造絹絲トノ交織絹織物(廣幅)
- 御召(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 縮緬(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 生織絹及紗(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 銘仙及節織(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 絲織(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 袴地(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 平絹(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 其ノ他ノ生絹及白絹(人造絹絲トノ交織絹織物 小幅)
- 其ノ他ノ人造絹絲トノ交織絹織物(小幅)
- 男物帶地(人造絹絲トノ交織絹織物)
- 女物帶地(人造絹絲トノ交織絹織物 廣幅)
- 女物帶地(人造絹絲トノ交織絹織物 片側)
- ヲボン及テープ(人造絹絲トノ交織絹織物)



絹糸トノ交織絹織物製造業

- 其ノ他ノ特殊物(人造絹糸トノ交織絹織物)
- 縹子(絹糸トノ交織絹織物 廣幅) 天鵞絨(絹糸トノ交織絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ特殊物(絹糸トノ交織絹織物(廣幅))
- 御召及縮緬(絹糸トノ交織絹織物 小幅)
- 縹子(絹糸トノ交織絹織物 小幅)
- 其ノ他ノ著尺物(絹糸トノ交織絹織物 小幅)
- 其ノ他ノ絹糸トノ交織絹織物(小幅)
- 男物帶地(絹糸トノ交織絹織物)
- 女物帶地(絹糸トノ交織絹織物 廣幅)
- 女物帶地(絹糸トノ交織絹織物 片側)
- 其ノ他ノ特殊物(絹糸トノ交織絹織物)
- 其ノ他ノ絹織物

麻織物製造業

- 黃麻布(廣幅)
- 黃麻袋
- 亞麻布及苧麻布(廣幅)
- 黃麻製帆布
- 其ノ他ノ麻製帆布
- 蚊帳地(麻織物 廣幅)
- 其ノ他ノ麻織物(廣幅)
- 生麻布及晒麻布(小幅)
- 縹及緋麻布(小幅)

純毛織物製造業

- 蚊帳地(麻織物 小幅)
- 其ノ他ノ麻織物(小幅)
- 縹通(麻織物)
- ベルト(麻織物)
- ホース(麻織物)
- 其ノ他ノ特殊物(麻織物)
- モスリン(純毛織物)
- 著尺セル(純毛織物)
- 洋服用サージ(純毛織物)
- 羅紗(純毛織物)
- フランネル(純毛織物)
- 毛布(純毛織物 肩掛及膝掛ヲ含ム)
- 地氈(純毛織物)
- 縹通(純毛織物)
- アラシユ及天鵞絨(純毛織物)
- 其ノ他ノ純毛織物
- 著尺セル(混紡及交織毛織物)
- 洋服用サージ(混紡及交織毛織物)
- 羅紗(混紡及交織毛織物)
- フランネル(混紡及交織毛織物)
- 其ノ他ノ婦人子供服地(混紡及交織毛織物)
- 毛布(混紡及交織毛織物 肩掛及膝掛ヲ含ム)
- 地氈(混紡及交織毛織物)

混紡毛織物及交織毛織物製造業

- 其ノ他ノ交織人造絹織物(廣幅)
- 縮緬(交織人造絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 著尺物(交織人造絹織物 小幅 羽尺及袴地ヲ含ム)
- 其ノ他ノ交織人造絹織物(小幅)
- 男物帶地(交織人造絹織物)
- 女物帶地(交織人造絹織物 廣幅)
- 女物帶地(交織人造絹織物 片側)
- リボン及テープ(交織人造絹織物)
- 其ノ他ノ特殊物(交織人造絹織物)
- モスリン(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 著尺セル(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 洋服用サージ(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 羅紗(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 其ノ他ノ婦人子供服地(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 細綾木綿(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 綾木綿(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 縹子(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 金巾(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 粗布(ステープルファイバー織物 廣幅)
- 天竺(ステープルファイバー織物 廣幅)

純人造絹織物製造業

- 縹通(混紡及交織毛織物)
- アラシユ及天鵞絨(混紡及交織毛織物)
- 其ノ他ノ混紡及交織毛織物
- 縮緬(純人造絹織物 廣幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重(純人造絹織物 廣幅)
- 縹子(純人造絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ紋織物(純人造絹織物 廣幅)
- 天鵞絨(純人造絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ純人造絹織物(廣幅)
- 縮緬(純人造絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 著尺物(純人造絹織物 小幅 羽尺及袴地ヲ含ム)
- 其ノ他ノ純人造絹織物(小幅)
- 男物帶地(純人造絹織物)
- 女物帶地(純人造絹織物 廣幅)
- 女物帶地(純人造絹織物 片側)
- リボン及テープ(純人造絹織物)
- 其ノ他ノ特殊物(純人造絹織物)
- 縮緬(交織人造絹織物 廣幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重(交織人造絹織物 廣幅)
- 縹子(交織人造絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ紋織物(交織人造絹織物 廣幅)
- 天鵞絨(交織人造絹織物 廣幅)

交織人造絹織物製造業

- 縹通(混紡及交織毛織物)
- アラシユ及天鵞絨(混紡及交織毛織物)
- 其ノ他ノ混紡及交織毛織物
- 縮緬(純人造絹織物 廣幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重(純人造絹織物 廣幅)
- 縹子(純人造絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ紋織物(純人造絹織物 廣幅)
- 天鵞絨(純人造絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ純人造絹織物(廣幅)
- 縮緬(純人造絹織物 小幅 壁ヲ含ム)
- 著尺物(純人造絹織物 小幅 羽尺及袴地ヲ含ム)
- 其ノ他ノ純人造絹織物(小幅)
- 男物帶地(純人造絹織物)
- 女物帶地(純人造絹織物 廣幅)
- 女物帶地(純人造絹織物 片側)
- リボン及テープ(純人造絹織物)
- 其ノ他ノ特殊物(純人造絹織物)
- 縮緬(交織人造絹織物 廣幅 壁ヲ含ム)
- 羽二重(交織人造絹織物 廣幅)
- 縹子(交織人造絹織物 廣幅)
- 其ノ他ノ紋織物(交織人造絹織物 廣幅)
- 天鵞絨(交織人造絹織物 廣幅)



綿縮(ステープルファイバー織物 廣幅)  
 小倉(ステープルファイバー織物 廣幅)  
 綿ネル生地(ステープルファイバー織物 廣幅)  
 ホプリン(ステープルファイバー織物 廣幅)  
 天鵞絨(ステープルファイバー織物 廣幅 コールテンヲ含ム)  
 蚊帳地(ステープルファイバー織物 廣幅)  
 其ノ他ノ縞木綿及織色無地(ステープルファイバー織物 廣幅)  
 其ノ他ノステープルファイバー織物(廣幅)  
 白木綿(ステープルファイバー織物 小幅)  
 縞木綿(ステープルファイバー織物 小幅)  
 紺木綿(ステープルファイバー織物 小幅)  
 織色木綿(ステープルファイバー織物 小幅)  
 綿縮(ステープルファイバー織物 小幅)  
 蚊帳地(ステープルファイバー織物 小幅)  
 其ノ他ノステープルファイバー織物(小幅)  
 緞通(ステープルファイバー織物)  
 タオル地(ステープルファイバー織物)  
 タオル(ステープルファイバー織物)  
 敷布(ステープルファイバー織物)  
 毛布(ステープルファイバー織物 肩掛及膝掛ヲ含ム)

テープ(ステープルファイバー織物)  
 其ノ他ノ特殊物(ステープルファイバー織物)  
 其ノ他ノ織物  
 綿メリヤス素地  
 ステープルファイバーメリヤス素地  
 其ノ他ノメリヤス素地  
 綿メリヤスシャツ及ヅボン下  
 毛メリヤスシャツ及ヅボン下  
 ステープルファイバーメリヤスシャツ及ヅボン下  
 其ノ他ノメリヤスシャツ及ヅボン下  
 綿メリヤス靴下  
 絹メリヤス靴下  
 毛メリヤス靴下  
 人造絹メリヤス靴下  
 ステープルファイバーメリヤス靴下  
 其ノ他ノメリヤス靴下  
 綿メリヤス手袋  
 絹メリヤス手袋  
 毛メリヤス手袋  
 ステープルファイバーメリヤス手袋  
 其ノ他ノメリヤス手袋  
 綿メリヤス襪股

其ノ他ノ編物、ドロ  
 ショウ、レース  
 類製造業  
 絲組物製造業  
 製綿業  
 眞綿製造業  
 機械捺染業

其ノ他ノ捺染業  
 手捺染絹布  
 手捺染人造絹布  
 手捺染ステープルファイバー布  
 其ノ他ノ手捺染布  
 無地染及絞染絹布  
 無地染及絞染綿布  
 無地染及絞染絹布

毛メリヤス襪股  
 ステープルファイバーメリヤス襪股  
 其ノ他ノメリヤス襪股  
 其ノ他ノ綿メリヤス製品  
 其ノ他ノ毛メリヤス製品  
 其ノ他ノステープルファイバーメリヤス製品  
 其ノ他ノメリヤス製品  
 其ノ他ノ編物、ドロ、ショウ、レース類  
 絲組物  
 打綿  
 眞綿  
 機械捺染綿布  
 機械捺染人造絹布  
 機械捺染ステープルファイバー布  
 其ノ他ノ機械捺染布  
 手捺染絹布  
 手捺染人造絹布  
 手捺染ステープルファイバー布  
 其ノ他ノ手捺染布  
 無地染及絞染絹布  
 無地染及絞染綿布

絲染色、精練及漂白業  
 精練、漂白及整理業  
 起毛業  
 フェルト製造業  
 裁縫業  
 無地染及絞染人造絹布  
 無地染及絞染ステープルファイバー布  
 其ノ他ノ無地染及絞染布  
 染色、精練及漂白綿絲  
 染色、精練及漂白絹絲  
 染色、精練及漂白人造絹絲  
 染色、精練及漂白ステープルファイバー糸  
 其ノ他ノ染色、精練及漂白絲  
 精練及整理綿布  
 精練及整理絹布  
 精練及整理人造絹布  
 精練及整理ステープルファイバー布  
 其ノ他ノ精練及整理布  
 漂白綿布  
 漂白絹布  
 漂白人造絹布  
 其ノ他ノ漂白布  
 起毛布  
 フェルト  
 和服  
 洋服及外套類  
 シヤツ及股引  
 地下足袋